



放射線

鳥居 寛之
小豆川勝見
渡辺雄一郎
著
中川 恵一
執筆協力

科学的に
理解する

基礎からわかる東大教養の講義

丸善出版

「放射線を科学的に理解する

— 基礎からわかる東大教養の講義 —

鳥居寛之・小豆川勝見・渡辺雄一郎 著

中川恵一 執筆協力

丸善出版

本体 2500円＋税

- 1章 放射線とは？《放射線入門》
 - 2章 放射線の性質《放射線物理学 I》
 - 3章 原子力発電で生み出される放射性物質
《原子核物理学・原子力工学》
 - 4章 放射線量の評価《放射線物理学 II》
 - 5章 放射線の測り方《放射線計測学》
 - 6章 環境中での放射性物質《環境放射化学》
 - 7章 放射線の細胞への影響《放射線生物学》
 - 8章 放射線の人体への影響《放射線医学》
 - 9章 放射性物質と農業《植物栄養学・土壤肥料学》
 - 10章 放射線の防護と安全《放射線防護学》
 - 11章 役に立つ放射線《放射線の利用・加速器科学》
- Q&A

放射線を理解するには、物理学・化学・生物学・医学・工学など多くの分野の知識が必要です。しかしこれらすべてを網羅することは難しく、系統立てて学べる機会是非常に少ないのが実情です。

本書は東京大学教養学部で行われた講義をもとに、放射線について多角的に学べるよう配慮しています。日常生活や原発事故にかかわる具体的な例を引きながらやさしくていねいに解説しましたので高校生や一般の方にも広く読んでいただきたいと願っています。

<http://radphys4.c.u-tokyo.ac.jp/~torii/lecture/radiolect-kn.html>

リーディング大学院 多文化共生・総合人間学演習 V

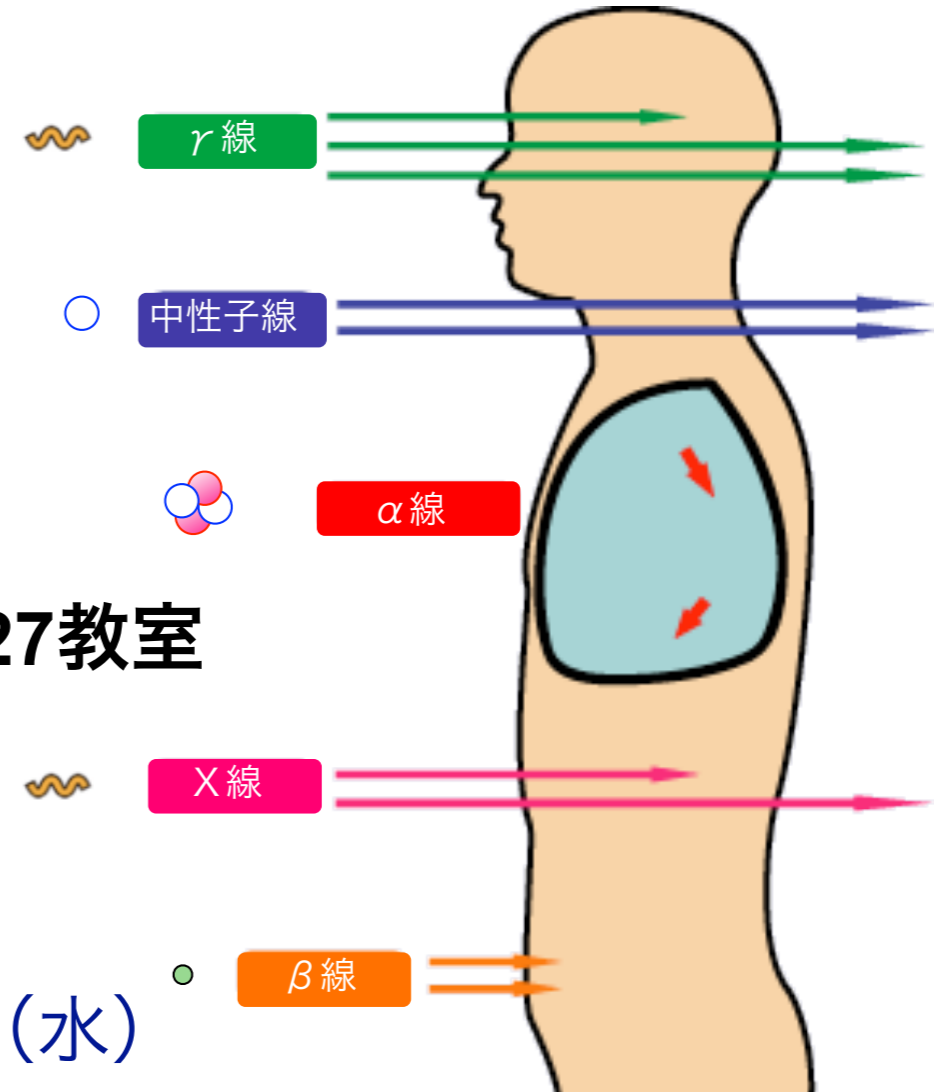
放射線 と 人間社会

2014年度
冬学期

水曜5限

@ 16号館 827教室

2014 / 11 / 26 (水)



第6回

原子力

原子核の安定性、核結合エネルギー、核分裂と核融合

鳥居 寛之

東京大学 教養学部 / 大学院総合文化研究科 物理

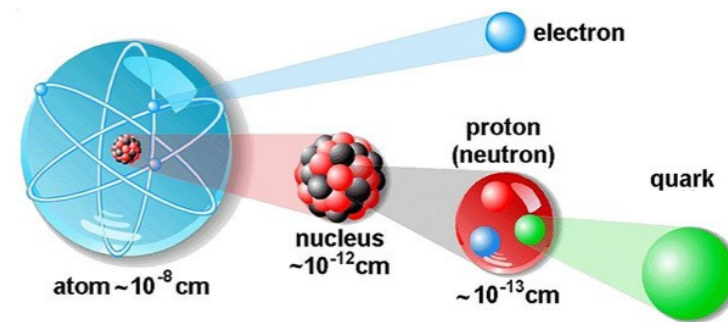
東京大学教養学部 放射線講義 スライドのご案内

書籍「放射線を科学的に理解する — 基礎からわかる東大教養の講義 —」

とあわせて、どうぞご利用下さい。 <http://radphys4.c.u-tokyo.ac.jp/~torii/lecture/torii-radio@radphys4.c.u-tokyo.ac.jp>

2011年度夏学期
自主講義

自主講義
放射線学



2011年度冬学期

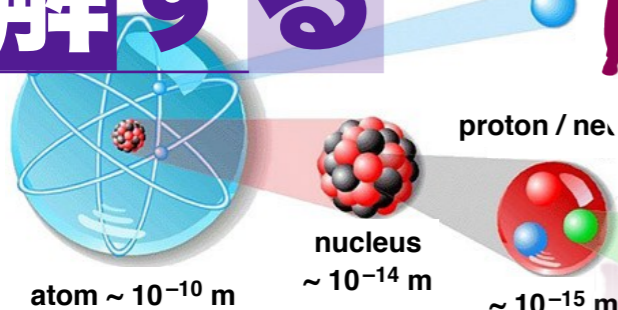
主題科目テーマ講義

2014年度冬学期

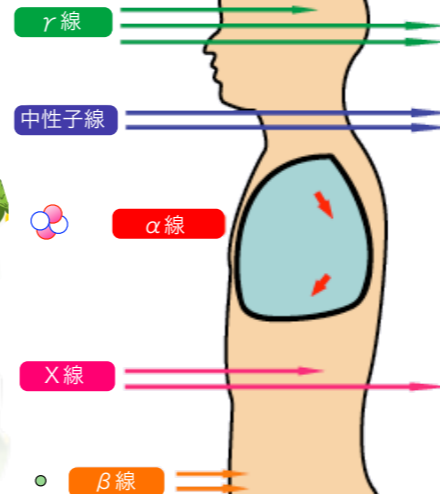
2012年度冬学期

2013年度冬学期

放射線を科学的に理解する



放射線を科学的に理解する



放射線を科学的に理解する

大学教養課程での放射線講義の取り組み



鳥居 寛之

東京大学教養学部

1. はじめに

福島第一原子力発電所の事故は、我々の環境を一変させた。拡散した放射性物質が広範囲に生活を脅かし、人々を不安に陥れた。原発の状況と並んで、放射線については連日報道され、さまざまなメディアで特集を組んで解説がなされたが、必ずしも国民一人ひとりが納得して正しい科学的知識を身につけたか疑問である。我が国では、これまで30年以上にわたって、放射線の基礎的知識に対する教育が疎かにされ、それが科学的リテラシーの欠如となって表れてしまった。

放射線の関わる学問領域は広い。たとえば放射線取扱の国家資格である主任者試験では、物理

2. 自主講義「放射線学」

震災後の混乱のなかで、東京でも正しい科学的知識が求められていた。放射線のことかわからないので教えて欲しいという学生の声を受け、2011年5月から6月にかけて計6回の自主講義を開講し、加えて最後に討論会を設けることにした。対象は東京大学の1,2年生全員を中心とし、教養学部キャンパスにいる学生、院生らも自由聴講とした。チラシやtwitterなどでの宣伝の結果、初回に集まったのは40名で、うち1,2年生は28名。学期途中の開講で単位も出ないなか、学生のみならず、院生、教員や外部聴講者も熱心に耳を傾けていた。

放射線を科学的に理解するための教育

鳥居寛之

〈東京大学教養学部・大学院総合文化研究科 153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 e-mail: torii@radphys4.c.u-tokyo.ac.jp〉

1. はじめに

東日本大震災は我々の価値観をも大きく変える未曾有の災害だった。さらに追い討ちをかけるように原発事故が起こり、被災地域はもとより、全国に影響を及ぼすこととなってしまった。放射線に関する知識不足から多くの人々が混乱し、様々な不確かな、あるいは間違っただけでなく、見解がばらついた科学者に対する信頼も凋落し、世の中の不安感が未だに尾を引いている。放射線への恐怖心から、あるいは「安全」な食品を求めて、福島のみならず東京を離れ、なかには海外に子どもを疎開させた親さえいる。そんななか、私は実験核物理・原子物理学を専門とする物理学者として、学生に対する教育の必要性を感じ、講義活動に奔走した。放射線を理解するには、物理・化学・生命科学・医学・工学など様々な分野の

東京の日常風景も、金町浄水場から基準を超える放射性ヨウ素が検出され、やいなやペットボトルが売り切れ、計画停電で列車運行が影響を受けた。辺り一帯が真っ暗の闇、都会のマンションから、皮肉いときほど美しい星空を仰ぎ見ることができなかった。

テレビでは原発の構造の解説が流れ、マイクロシーベルトとい

の教員による放射線・放射能の勉強会が開かれた。内容は放射線や放射能と

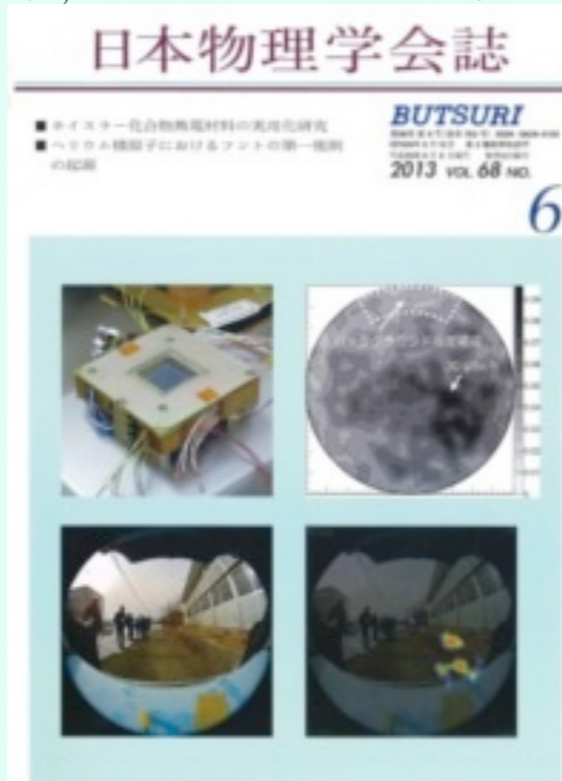


図1 放射線物理学のスライド例と講義風景。



向けていなかったことを反省もしたが、

図2 放射線生物学の講義で放射能の食品基準の説明に聞き入る学生たち

自己紹介

大学 : 平成元年 東京大学理科 1 類入学

平成 5 年 理学部物理学科卒業

大学院 : 平成 10 年 東京大学大学院理学系研究科 博士 (物理学)

現在 : 東京大学 教養学部・大学院総合文化研究科 助教

研究 : **CERN** 研究所で**反陽子原子・反水素合成の衝突・分光実験**

J-PARC (東海村) で**ミュオニウム原子の分光実験**

専門 : 粒子線物理学・素粒子原子物理学

家庭 : 2 児の父 (小 2 の息子、4 歳の娘) 東京在住

放射線関連

講義・講演 : 各地で放射線の講義や講演会

資格 : 第 1 種放射線取扱主任者

委員会 : 日本学術振興会 先導的研究開発委員会

「放射線の影響とクライシスコミュニケーション」委員

平成 24 年度 放射線取扱主任者試験 受験の手引き

この試験は、「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（昭和 32 年 6 月 10 日法律第 167 号）」に基づき、登録試験機関である財団法人原子力安全技術センターが行う国家資格試験です。第 1 種及び第 2 種の放射線取扱主任者免状は、放射線取扱主任者試験に合格し、かつ、所定の講習を修了した者に対し、文部科学大臣より交付されます。

試験日程 第 1 種放射線取扱主任者試験

平成 24 年 8 月 22 日（水）、23 日（木）

第 2 種放射線取扱主任者試験

平成 24 年 8 月 24 日（金）

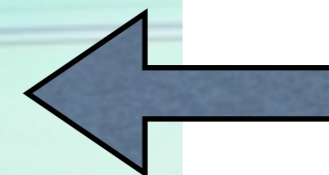
申込受付期間 平成 24 年 5 月 18 日（金）～ 6 月 18 日（月）

郵送の場合、平成 24 年 6 月 18 日の消印まで有効

料金別納及び後納郵便の場合、平成 24 年 6 月 18 日到着分まで有効

試験会場	札幌会場	〔東海大学 札幌キャンパス〕
	仙台会場	〔東北学院大学〕
	東京会場	〔成蹊大学〕
	名古屋会場	〔名城大学 八事キャンパス〕
	大阪会場	〔大阪商業大学〕
	福岡会場	〔九州大学 箱崎キャンパス〕

質疑応答 2 時間



双方向通信

高校生のための
金曜特別講座

2011/11/11 & 18

主催：東京大学教養学部附属 教養教育高度化機構

全国約20の高校に同時双方向配信

延べ 1000人以上が受講

東大オープンコースウェア (OCW)
にて動画配信を準備中



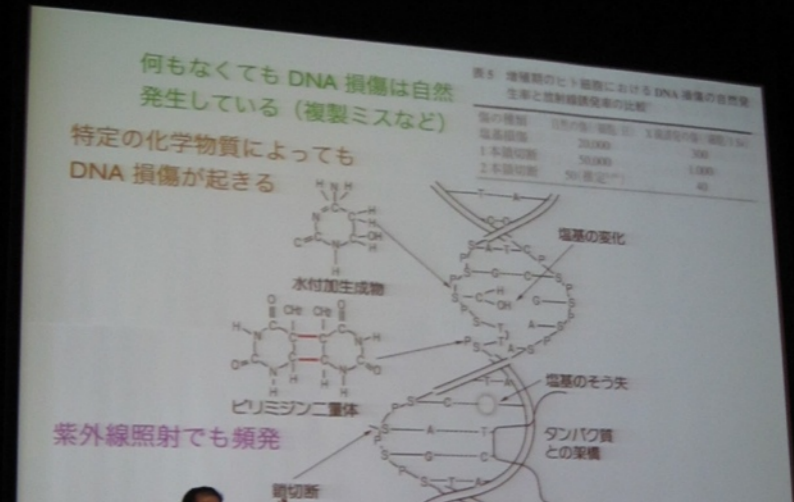
講義 1 時間

2011年11月11日
放射線の科学
《放射線物理学》
● 本日 (11/11) : 放射線物理学 (鳥居)
● 来週 (11/18) : 放射線生物学 & 環境放射化学
(波通先生) (小豆川先生)
東京大学 教養学部 / 大学院総合文化研究科
総合文化研究会 / 広域科学専攻 相関基礎科学系
助教 鳥居 寛之
(放射線物理学・素粒子原子物理学)

基調講演 「放射線と正しく向き合うために」



子どもの笑顔・元気サミット
—被災地の子どもたちのために いま私たちができること—



子どもの笑顔・元気サミット in 福島 「被災地の子どもと放射能」

主催：NPO 法人みやぎ・せんだい子どもの丘、財団法人こども未来財団

2011/11/23 於：福島市「こむこむ」わいわいホール



対話型講演会 @ 福島県

伊達市・南相馬市・郡山市

チーム

2014/8/5-7

「あいんしゅたいん」

企画：NPO 法人あいんしゅたいん



伊達市



郡山市



南相馬市



放射線を科学的に理解する

- 放射線の影響についての様々な意見が乱立している
- 放射線に関する学問は多岐にわたり、一人の専門家でまかないきれない。
 - 原子力工学、原子核物理学
 - 放射線物理学、放射線計測学、放射線化学、放射化学
 - 放射線生物学、放射線医学
 - 環境学、気象学、海洋科学、植物学・土壌学（農学）
 - 食品衛生学
 - 放射線防護学（安全管理学）
 - リスク学、リスクコミュニケーション
 - 社会学（社会科学技術論）、法律

- 1章 放射線とは？ 《放射線入門》
- 2章 放射線の性質 《放射線物理学Ⅰ》
- 3章 原子力発電で生み出される放射性物質
《原子核物理学・原子力工学》
- 4章 放射線量の評価 《放射線物理学Ⅱ》
- 5章 放射線の測り方 《放射線計測学》
- 6章 環境中での放射性物質 《環境放射化学》
- 7章 放射線の細胞への影響 《放射線生物学》
- 8章 放射線の人体への影響 《放射線医学》
- 9章 放射性物質と農業
《植物栄養学・土壌肥料学》
- 10章 放射線の防護と安全 《放射線防護学》
- 11章 役に立つ放射線
《放射線の利用・加速器科学》

Q&A

準教科書



**科学的に
理解する**

基礎からわかる東大教養の講義

丸善出版

「放射線を科学的に理解する

— 基礎からわかる東大教養の講義 —」

鳥居寛之・小豆川勝見・渡辺雄一郎 著

中川恵一 執筆協力

丸善出版

本体 2500円＋税

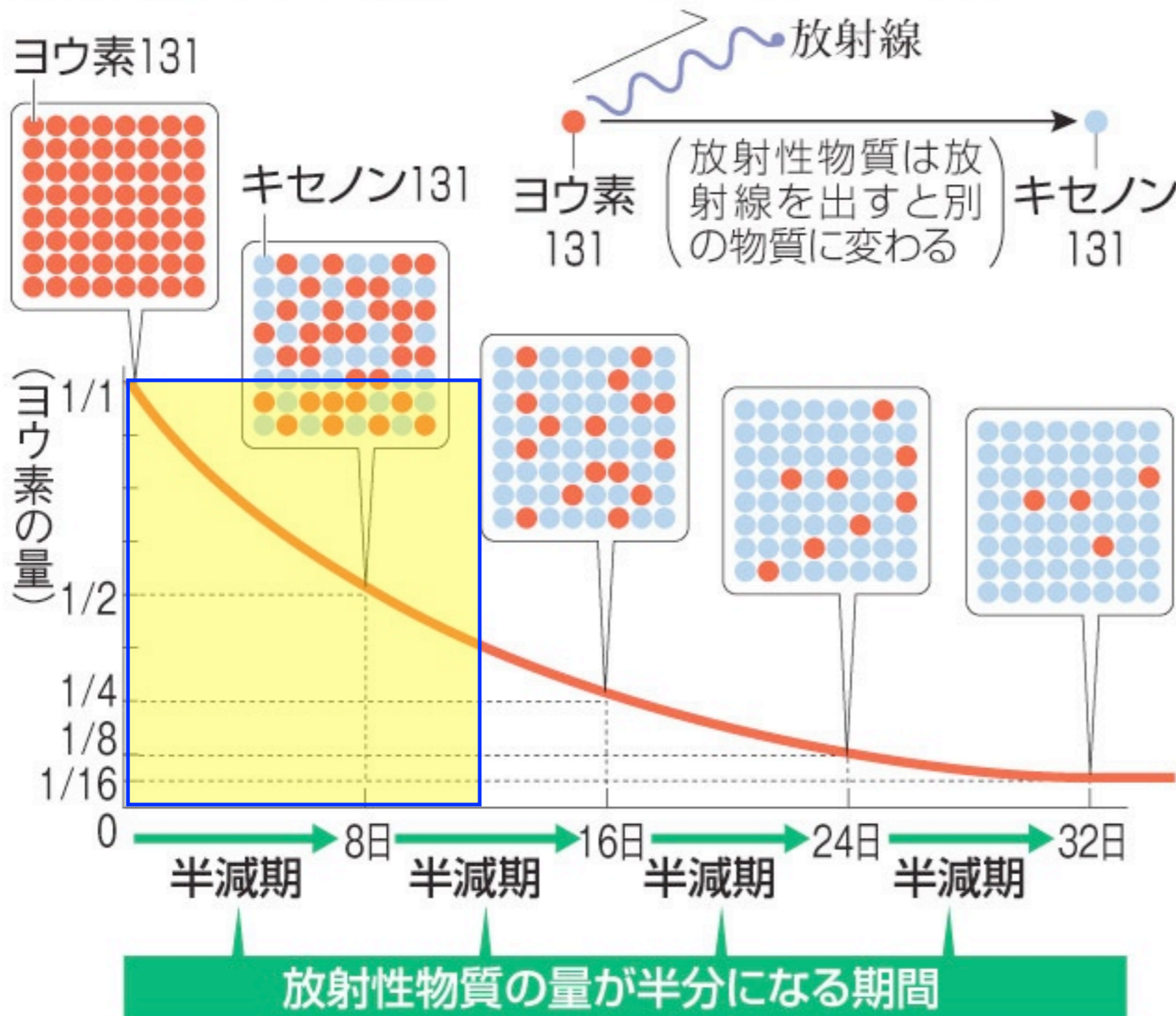
SI (国際単位系)

表2: 単位の倍数

接頭辞	記号	倍数	接頭辞	記号	倍数
デシ (deci)	d	10^{-1}	デカ (deca)	da	10
センチ (centi)	c	10^{-2}	ヘクト (hecto)	h	10^2
ミリ (milli)	m	10^{-3}	キロ (kilo)	k	10^3
マイクロ (micro)	μ	10^{-6}	メガ (mega)	M	10^6
ナノ (nano)	n	10^{-9}	ギガ (giga)	G	10^9
ピコ (pico)	p	10^{-12}	テラ (tera)	T	10^{12}
フェムト (femto)	f	10^{-15}	ペタ (peta)	P	10^{15}
アト (atto)	a	10^{-18}	エクサ (exa)	E	10^{18}
ゼプト (zepto)	z	10^{-21}	ゼタ (zetta)	Z	10^{21}
ヨクト (yocto)	y	10^{-24}	ヨタ (yotta)	Y	10^{24}

(ヨウ素換算63万テラベクレル, <http://bit.ly/fRxmkt> これを放射性ヨウ素131の質量に焼き直すと, およそ1) 100トン 2) 100 キログラム 3) 100 グラム 4) 100ミリグラム, ?)

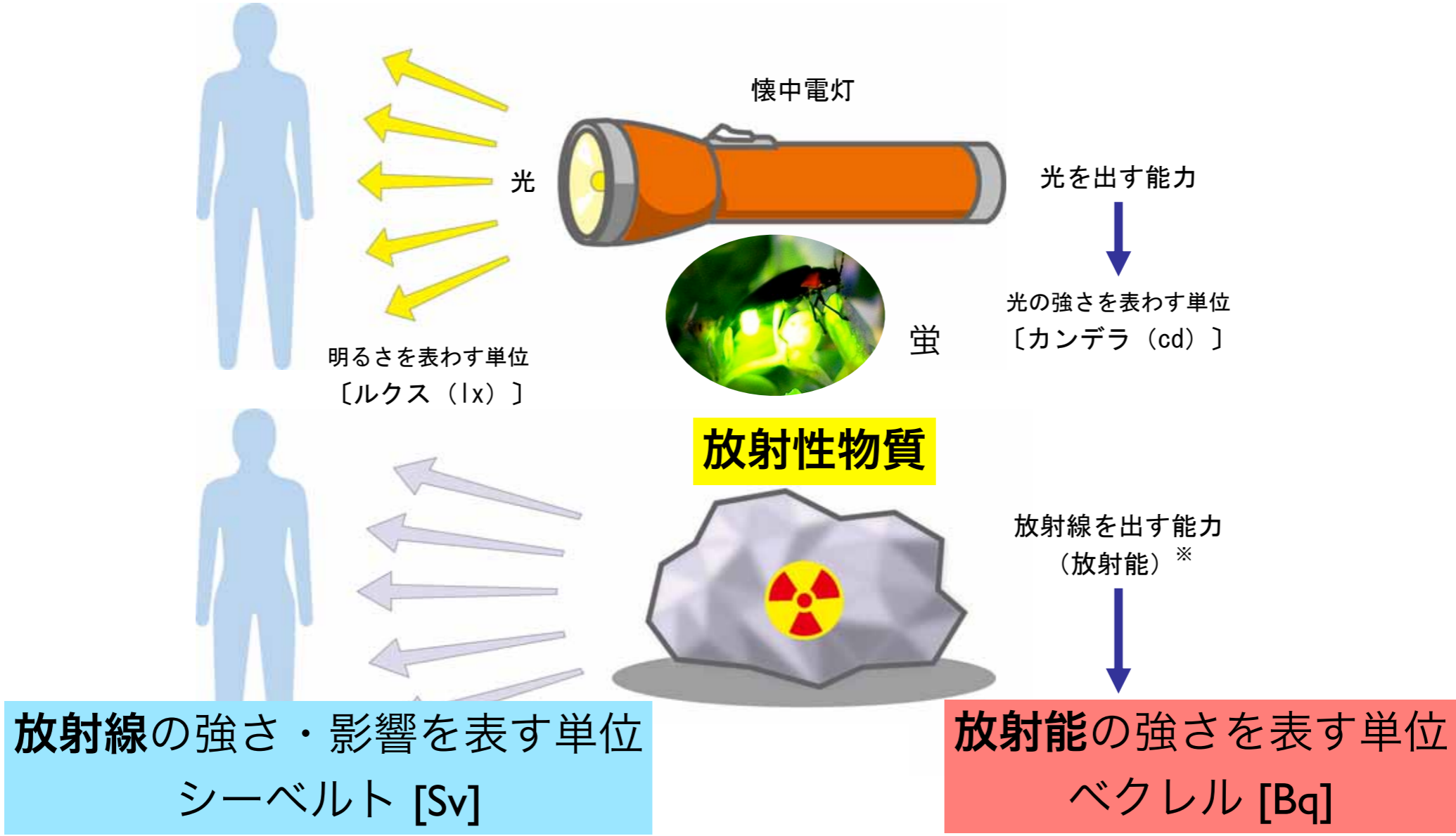
放射性物質の半減期のしくみ(ヨウ素131の例)



注：ヨウ素等価換算は、環境や人への影響を勘案して係数を決めている。ヨウ素以外の核種の質量を計算するには適していない。ヨウ素131については、15万テラベクレルの放出と言われているので、その質量は上の問いに対する計算値の4分の1となる。また、半減期の長いセシウム137などでは、同じベクレル数でも、モル数も質量もヨウ素に比べてずっと大きくなる。

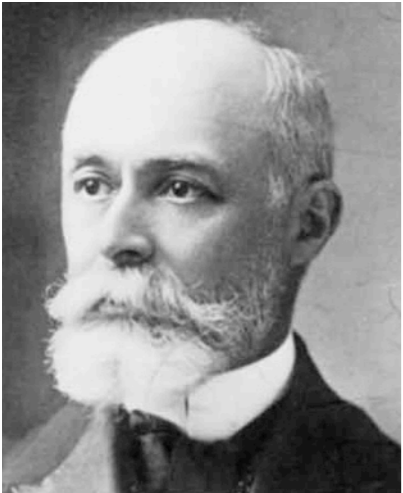
放射性物質とは？

放射能と放射線



6-1

出典：資源エネルギー庁「原子力2010」



放射能 (radioactivity) の単位

$$[Bq] \mid Bq = 1 \text{ dps}, [Ci] \mid Ci = 37 \text{ GBq}$$

Becquerel

decay/disintegration
per second

Curie

1 キュリー = 370億ベクレル





分子
molecule

nm (10^{-9} m) 化学
ナノメートル

eV Chemistry
電子ボルト

原子: atom < atomus < ατομος < a- + témnein + -os
(切ることができない)

原子物理学 Atomic Physics



原子
atom

Å (10^{-10} m)
オングストローム Ångström

eV – keV
数電子ボルト～
キロ電子ボルト

錬金術はなぜ失敗したか



原子核
nucleus

原子核物理学 Nuclear Physics

fm (10^{-15} m)
フェムトメートル

MeV
メガ電子ボルト



陽子
proton

素粒子物理学 Particle Physics

am (10^{-18} m)
アトメートル

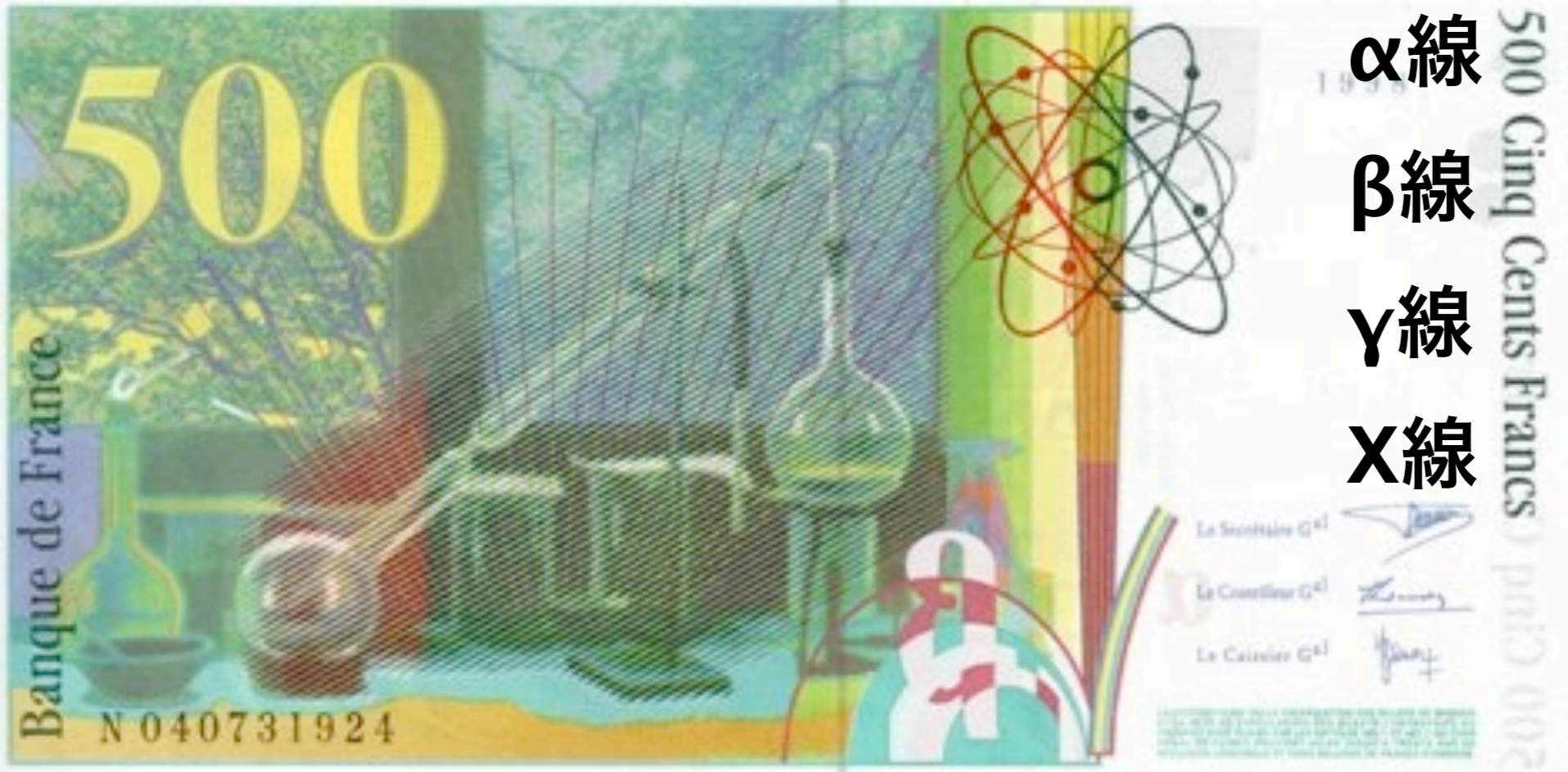
GeV
ギガ電子ボルト



クォーク
quark

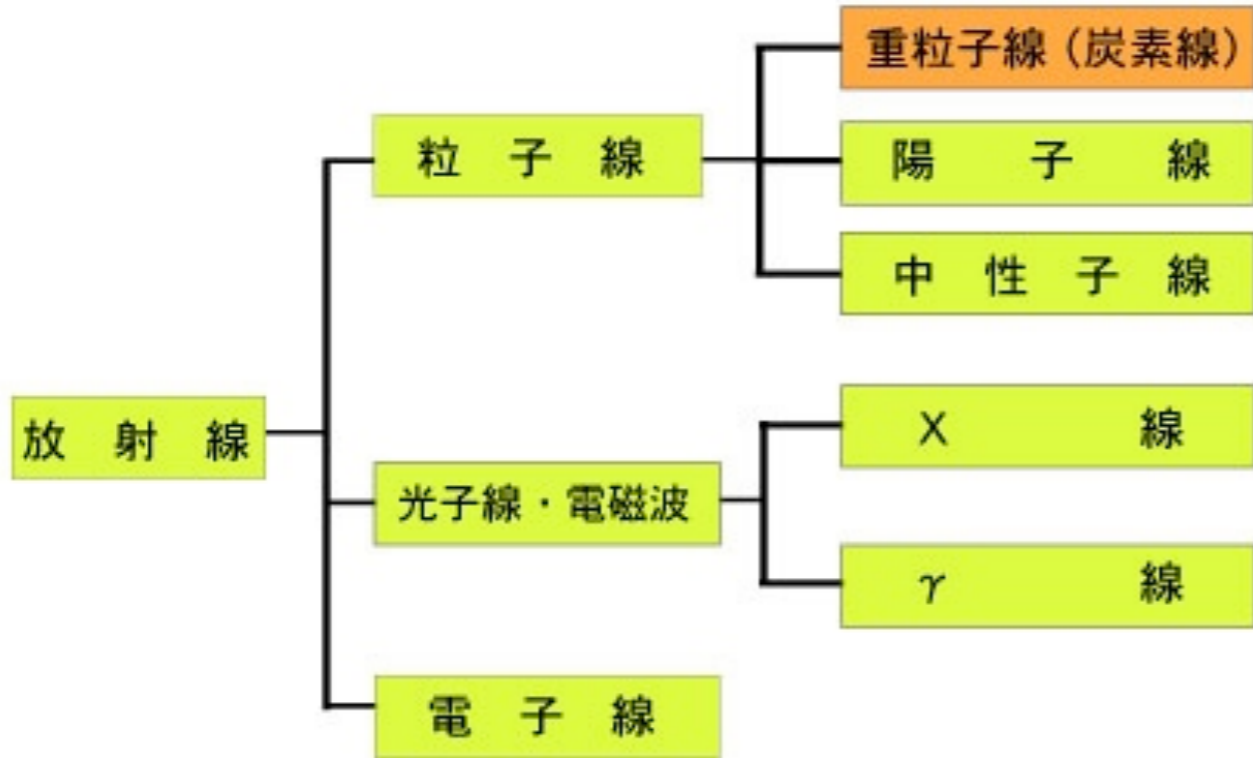


Billet de 500 Francs Français
en circulation: 1993–1999

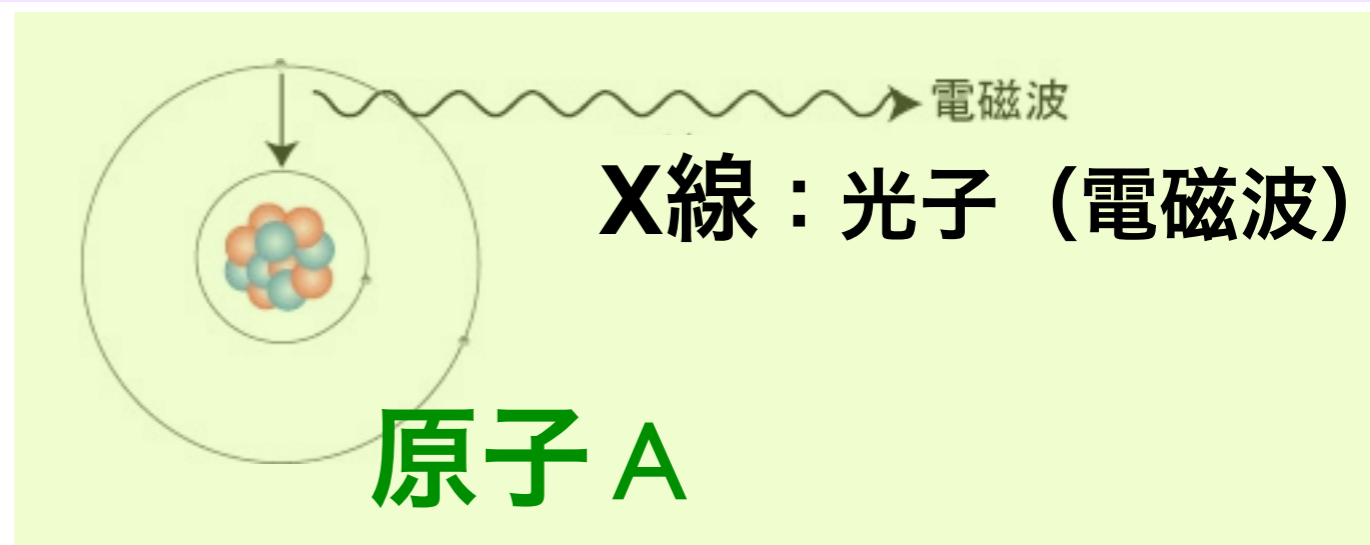
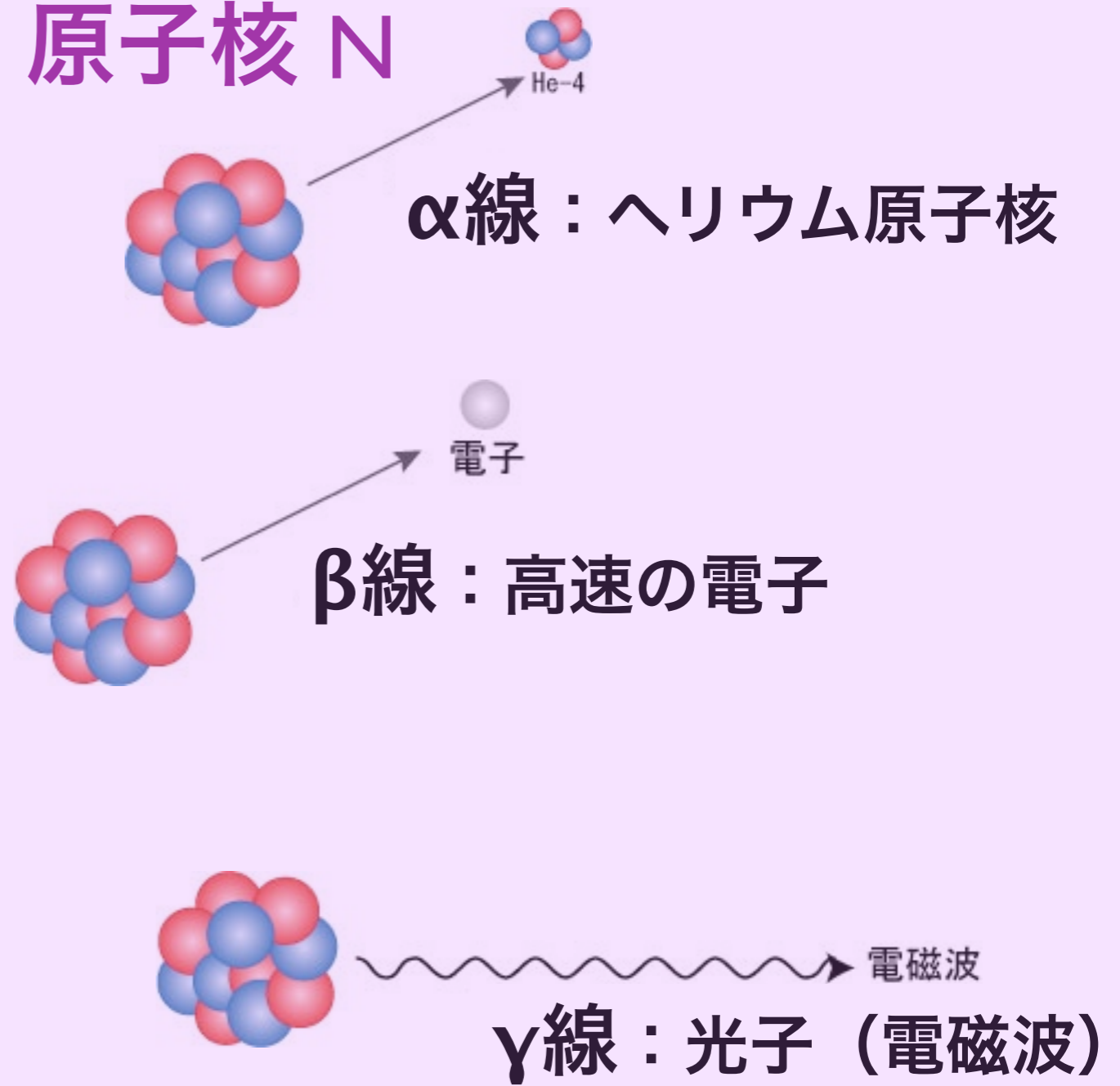


- α線 ヘリウム原子核
- β線 高速の電子
- γ線 光子（電磁波）
- X線 光子（電磁波）

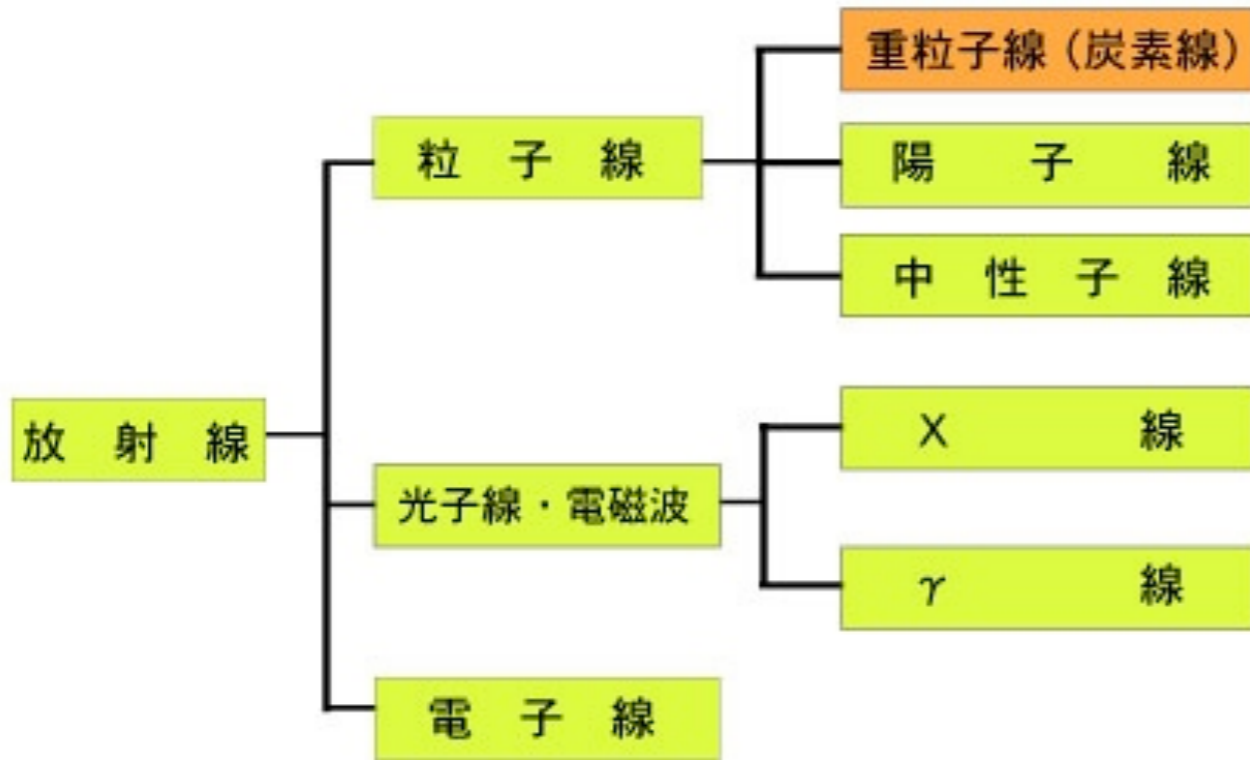
放射線の種類



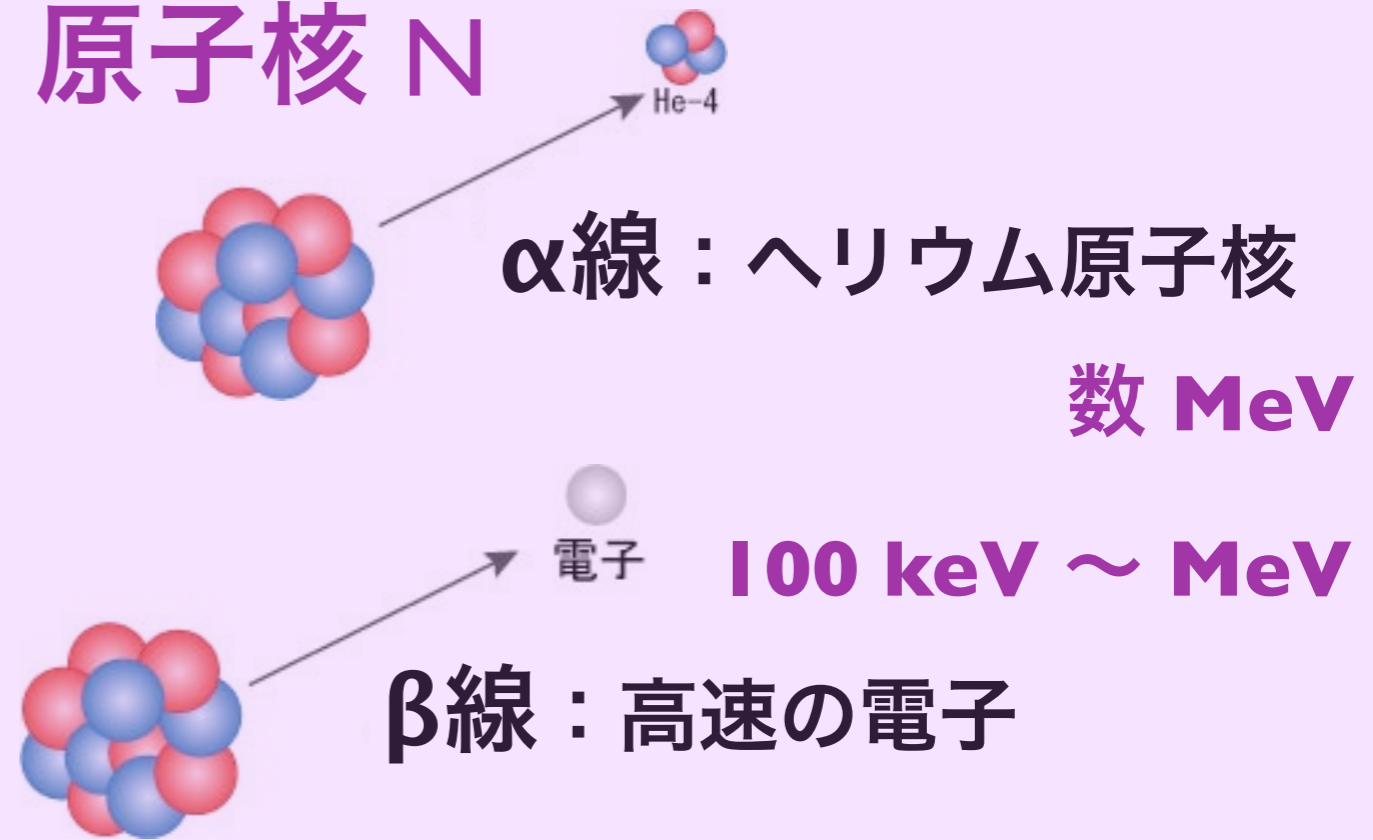
原子核 N



放射線のエネルギー



原子核 N



放射線のもつエネルギーは？

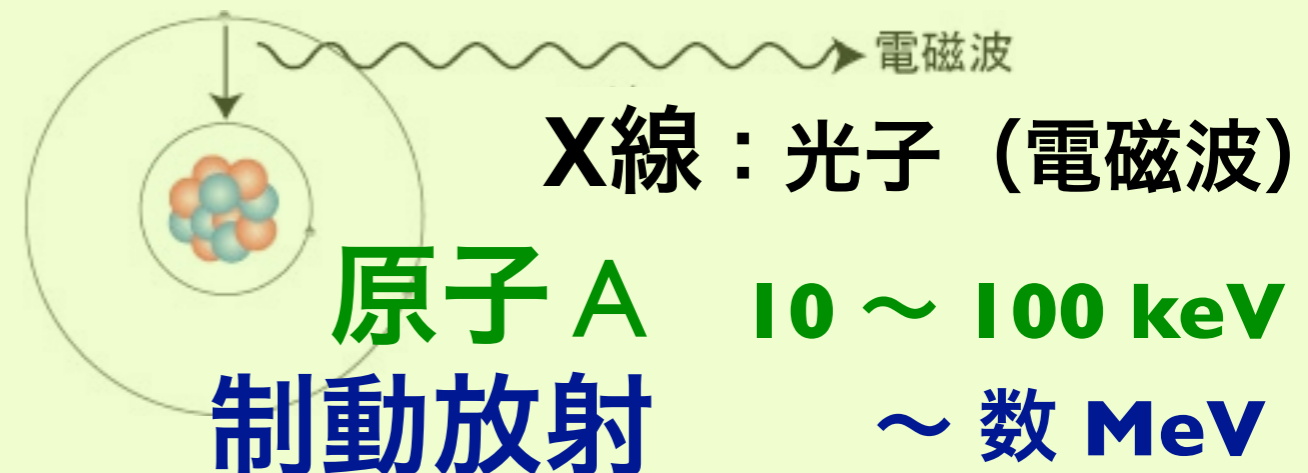
☞ 100 keV ~ 数 MeV (α, β, γ)

Cf. 原子の束縛エネルギーは？

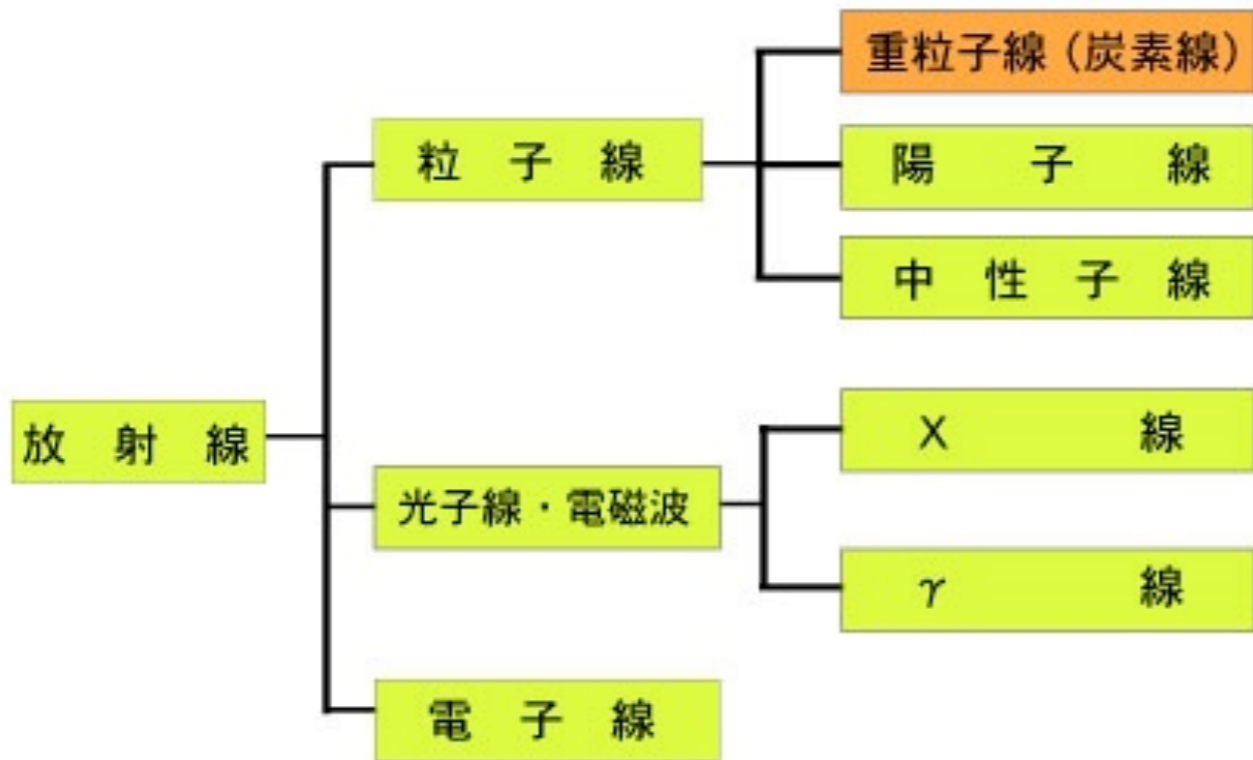
☞ 最外殻電子で 10 eV 程度
(1 eV = 96 kJ/mol)

放射線の速度は？

☞ 光速の数% ~ 100%



放射線の質量と速度 $M_\alpha \approx 4 \text{ GeV}/c^2$



$M_\alpha \approx 4 \text{ GeV}/c^2$

α 線 ~~$1.67 \times 10^{-27} \text{ kg} \times 4$~~

$M_p = 938 \text{ MeV}/c^2$

$M_n = 940 \text{ MeV}/c^2$

β 線 ~~$9.11 \times 10^{-31} \text{ kg}$~~

電子

$m_e = 511 \text{ keV}/c^2$

$\approx 0.5 \text{ MeV}/c^2$

放射線のもつエネルギーは？

☞ **100 keV ~ MeV** for $\alpha/\beta/\gamma$

Cf. 原子の束縛エネルギーは？

荷電粒子の質量は？

$$E = mc^2 \gamma = mc^2 \frac{1}{\sqrt{1-\beta^2}}$$

$$\beta = v/c$$

$$T = E - mc^2$$

$$\approx \frac{1}{2} mv^2 \quad (v \ll c)$$

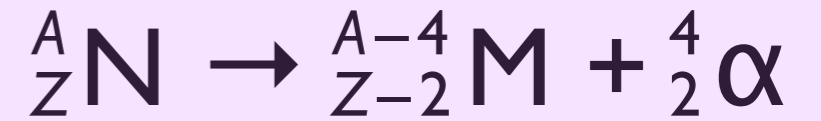
α 壊変 (崩壊)

decay

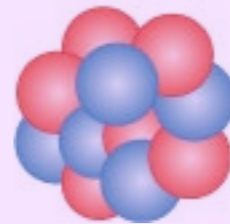
原子核 N



He-4



β⁻ 壊変 (崩壊)



電子

100 keV ~ MeV



γ 壊変 (崩壊)

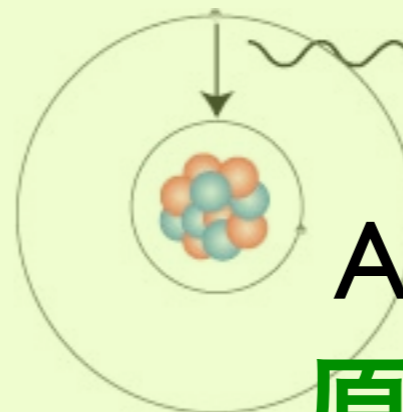


γ線

電磁波

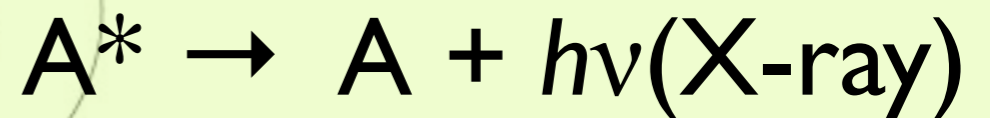


原子の脱励起



X線

電磁波



原子 A 10 ~ 100 keV

原子核物理学

原子 = **atom**

molecule < mole + -cule
(小さな塊)

ラテン語

atom < atomus < ατομος < a- + témnein + -os
(切ることができない)

古典ギリシャ語

an**atomy** < ana- + témnein

tomography < tomo- + -graphy

tom-, -tome, -tomy = to cut

-graphy = writing, drawing

周期表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18																																
1	1 H 1.0079	Atomic Sym Mass																2 He 4.0026																																
2	3 Li 6.941	4 Be 9.0121	<table border="1"> <tr> <td>C 固体</td> <td colspan="5">金属</td> <td colspan="2">非金属元素</td> </tr> <tr> <td>Hg 液体</td> <td>アルカリ金属</td> <td>アルカリ土類金属</td> <td>ランタノイド</td> <td>遷移元素</td> <td>卑金属</td> <td>非金属元素</td> <td>希ガス</td> </tr> <tr> <td>H 気体</td> <td></td> <td></td> <td>アクチノイド</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Rf Unknown</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										C 固体	金属					非金属元素		Hg 液体	アルカリ金属	アルカリ土類金属	ランタノイド	遷移元素	卑金属	非金属元素	希ガス	H 気体			アクチノイド					Rf Unknown								5 B 10.811	6 C 12.010	7 N 14.006	8 O 15.999	9 F 18.998	10 Ne 20.179
C 固体	金属					非金属元素																																												
Hg 液体	アルカリ金属	アルカリ土類金属	ランタノイド	遷移元素	卑金属	非金属元素	希ガス																																											
H 気体			アクチノイド																																															
Rf Unknown																																																		
3	11 Na 22.989	12 Mg 24.305											13 Al 26.981	14 Si 28.085	15 P 30.973	16 S 32.065	17 Cl 35.453	18 Ar 39.948																																
4	19 K 39.098	20 Ca 40.078	21 Sc 44.955	22 Ti 47.867	23 V 50.941	24 Cr 51.996	25 Mn 54.938	26 Fe 55.845	27 Co 58.933	28 Ni 58.693	29 Cu 63.546	30 Zn 65.38	31 Ga 69.723	32 Ge 72.64	33 As 74.921	34 Se 78.96	35 Br 79.904	36 Kr 83.798																																
5	37 Rb 85.467	38 Sr 87.62	39 Y 88.905	40 Zr 91.224	41 Nb 92.906	42 Mo 95.96	43 Tc (97.907)	44 Ru 101.07	45 Rh 102.90	46 Pd 106.42	47 Ag 107.86	48 Cd 112.41	49 In 114.81	50 Sn 118.71	51 Sb 121.76	52 Te 127.60	53 I 126.90	54 Xe 131.29																																
6	55 Cs 132.90	56 Ba 137.32	57-71	72 Hf 178.49	73 Ta 180.94	74 W 183.84	75 Re 186.20	76 Os 190.23	77 Ir 192.21	78 Pt 195.08	79 Au 196.96	80 Hg 200.59	81 Tl 204.38	82 Pb 207.2	83 Bi 208.98	84 Po (208.98)	85 At (209.98)	86 Rn (222.01)																																
7	87 Fr (223)	88 Ra (226)	89-103	104 Rf (261)	105 Db (262)	106 Sg (266)	107 Bh (264)	108 Hs (277)	109 Mt (268)	110 Ds (271)	111 Rg (272)	112 Cn (285)	113 Uut (284)	114 F1 (289)	115 Uup (288)	116 Lv (292)	117 Uus	118 Uuo (294)																																

For elements with no stable isotopes, the mass number of the isotope with the longest half-life is in parentheses.

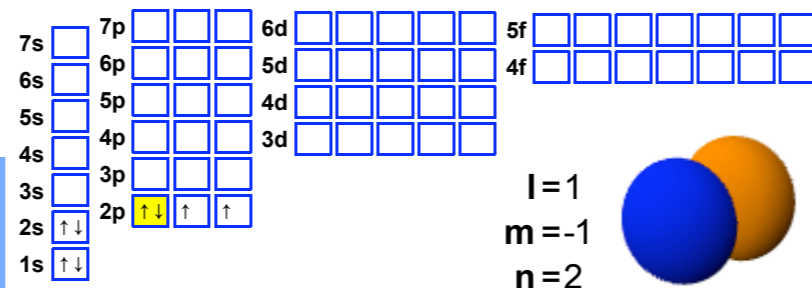
周期表 Design and Interface Copyright © 1997 Michael Dayah. <http://www.ptable.com/> Last updated: May 30, 2008

57 La 138.90	58 Ce 140.11	59 Pr 140.90	60 Nd 144.24	61 Pm (145)	62 Sm 150.36	63 Eu 151.96	64 Gd 157.25	65 Tb 158.92	66 Dy 162.50	67 Ho 164.93	68 Er 167.25	69 Tm 168.93	70 Yb 173.05	71 Lu 174.96
89 Ac (227)	90 Th 232.03	91 Pa 231.03	92 U 238.02	93 Np (237)	94 Pu (244)	95 Am (243)	96 Cm (247)	97 Bk (247)	98 Cf (251)	99 Es (252)	100 Fm (257)	101 Md (258)	102 No (259)	103 Lr (262)

周期表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1	1 H 1	2 He 0																
2	3 Li 1	4 Be 2																
3	11 Na 1	12 Mg 2																
4	19 K 1	20 Ca 2	21 Sc 3	22 Ti 4	23 V 5	24 Cr 6	25 Mn 4	26 Fe 3	27 Co 4	28 Ni 4	29 Cu 2	30 Zn 2	31 Ga 3	32 Ge 4	33 As 5	34 Se 6	35 Br 7	36 Kr 4
5	37 Rb 1	38 Sr 2	39 Y 3	40 Zr 4	41 Nb 5	42 Mo 6	43 Tc 7	44 Ru 6	45 Rh 6	46 Pd 4	47 Ag 4	48 Cd 2	49 In 3	50 Sn 4	51 Sb 5	52 Te 6	53 I 7	54 Xe 6
6	55 Cs 3	56 Ba 2	57-71 Lanthanides	72 Hf 4	73 Ta 5	74 W 6	75 Re 7	76 Os 7	77 Ir 6	78 Pt 6	79 Au 7	80 Hg 2	81 Tl 3	82 Pb 4	83 Bi 5	84 Po 6	85 At 7	86 Rn 6
7	87 Fr 3	88 Ra 2	89-103 Actinides	104 Rf 4	105 Db 5	106 Sg 6	107 Bh 7	108 Hs 7	109 Mt 6	110 Ds 6	111 Rg 7	112 Cn 2	113 Uut 3	114 Fl 4	115 Uup 5	116 Lv 6	117 Uus 7	118 Uuo 6

8
O
酸素
15.9994
[He]2s² 2p⁴



For elements with no stable isotopes, the mass number of the isotope with the longest half-life is in parentheses.

周期表 Design and Interface Copyright © 1997 Michael Dayah. <http://www.ptable.com/> Last updated: May 30, 2008

57 La 3	58 Ce 4	59 Pr 4	60 Nd 3	61 Pm 3	62 Sm 3	63 Eu 3	64 Gd 3	65 Tb 4	66 Dy 3	67 Ho 3	68 Er 3	69 Tm 3	70 Yb 3	71 Lu 3
89 Ac 3	90 Th 4	91 Pa 5	92 U 6	93 Np 6	94 Pu 6	95 Am 4	96 Cm 4	97 Bk 4	98 Cf 4	99 Es 4	100 Fm 3	101 Md 3	102 No 3	103 Lr 3

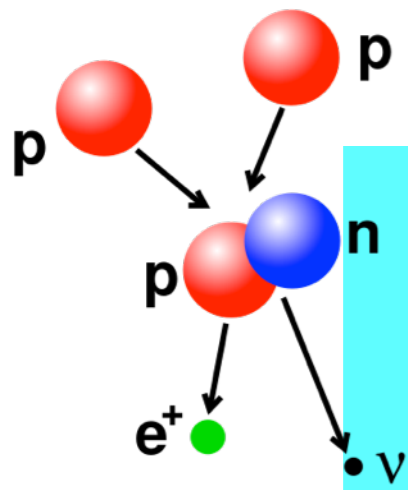
Periodic Table of Elements

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
1	1 H 1 1.00794	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>Atomic</p> <p>Name Hydrogen-3</p> <p>Mass 3.01604927767</p> <p>Binding Energy 2.827266</p> <p>Abundance 0%</p> <p>Half-Life 12.32 y</p> <p>Decay Width 1.174e-30</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>α Alpha decay</p> <p>p Proton emission</p> <p>n Neutron emission</p> <p>SF Spontaneous fission</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>β Beta decay</p> <p>β+ Beta+ decay</p> <p>EC Electron capture</p> <p>□ Stable</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>Selected All</p> </div> </div>																	2 He 2
2	3 Li 2	4 Be 2	5 B 2	6 C 3	7 N 3	8 O 3	9 F 2	10 Ne 3											
3	11 Na 2	12 Mg 3											13 Al 2	14 Si 4	15 P 3	16 S 5	17 Cl 3	18 Ar 7	
4	19 K 3	20 Ca 9	21 Sc 5	22 Ti 6	23 V 4	24 Cr 5	25 Mn 4	26 Fe 7	27 Co 5	28 Ni 8	29 Cu 2	30 Zn 7	31 Ga 2	32 Ge 7	33 As 3	34 Se 9	35 Br 2	36 Kr 9	
5	37 Rb 5	38 Sr 9	39 Y 5	40 Zr 8	41 Nb 5	42 Mo 9	43 Tc 5	44 Ru 10	45 Rh 5	46 Pd 9	47 Ag 6	48 Cd 11	49 In 2	50 Sn 11	51 Sb 3	52 Te 11	53 I 3	54 Xe 13	
6	55 Cs 4	56 Ba 8	57-71	72 Hf 8	73 Ta 7	74 W 7	75 Re 2	76 Os 11	77 Ir 7	78 Pt 9	79 Au 5	80 Hg 11	81 Tl 3	82 Pb 6	83 Bi 3	84 Po 3	85 At 1	86 Rn 2	
7	87 Fr 3	88 Ra 4	89-103	104 Rf 1	105 Db 1	106 Sg 1	107 Bh 2	108 Hs 2	109 Mt 1	110 Ds 1	111 Rg 1	112 Cn 1	113 Uut 1	114 Fl 1	115 Uup 1	116 Lv 1	117 Uus 1	118 Uuo 1	

For elements with no stable isotopes, the mass number of the isotope with the longest half-life is in parentheses.

Periodic Table Design and Interface Copyright © 1997 Michael Dayah. <http://www.ptable.com/> Last updated: May 30, 2008

57 La 3	58 Ce 8	59 Pr 3	60 Nd 7	61 Pm 3	62 Sm 8	63 Eu 4	64 Gd 7	65 Tb 3	66 Dy 8	67 Ho 5	68 Er 11	69 Tm 5	70 Yb 11	71 Lu 4
89 Ac 3	90 Th 6	91 Pa 6	92 U 6	93 Np 3	94 Pu 6	95 Am 3	96 Cm 8	97 Bk 5	98 Cf 7	99 Es 4	100 Fm 4	101 Md 3	102 No 3	103 Lr 1



Periodic Table of Elements

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

陽子 p
 重陽子 pn
 三重陽子 pnn
原子核
 アルファ粒子
 $\alpha = ppnn$
 ${}^3\text{He}^{++} = ppn$

H	Hydrogen	水素	氫 qīng
${}^1\text{H}$ (H)	Protium	軽水素	気 piē
${}^2\text{H}$ (D)	Deuterium	重水素	気 dāo
${}^3\text{H}$ (T)	Tritium	三重水素	気 chuān
He	Helium	ヘリウム	氦 hài
${}^4\text{He}$	Helium-4	ヘリウム4	
${}^3\text{He}$	Helium-4	ヘリウム3	原子

元素周期表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1	1 氢	Atomic Sym																2 氦
2	3 锂	4 铍	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 1 氢 Hydrogen 1.00794 1s¹ </div> <div> α A衰变 p Proton emission n Neutron emission SF Spontaneous fission </div> <div> β β衰变 β+ Beta+ decay EC Electron capture □ Stable </div> </div>															10 氖
3	11 钠	12 镁	Selected All															18 氩
4	19 钾	20 钙	21 钪	22 钛	23 钒	24 铬	25 锰	26 铁	27 钴	28 镍	29 铜	30 锌	31 镓	32 锗	33 砷	34 硒	35 溴	36 氪
5	37 铷	38 锶	39 钇	40 锆	41 铌	42 钼	43 锝	44 钨	45 铼	46 钨	47 铈	48 镧	49 铈	50 铈	51 铈	52 铈	53 铈	54 氙
6	55 铯	56 钡	57-71 镧系	72 铪	73 钽	74 钨	75 铼	76 钨	77 铱	78 铂	79 金	80 汞	81 铊	82 铅	83 铋	84 钋	85 砹	86 氡
7	87 钫	88 镭	89-103 锕系	104 𨭎	105 𨭏	106 𨭐	107 𨭑	108 𨭒	109 𨭓	110 𨭔	111 𨭕	112 𨭖	113 Uut	114 Fl	115 Uup	116 Lv	117 Uus	118 Uuo

铼

镅

这些原理没有一致稳定的同位素,大量的同位素最长的半衰期

元素周期表 设计版权 © 1997 Michael Dayah. <http://www.dayah.com/> d: May 30, 2008

57 镧	58 铈	59 镨	60 钕	61 钐	62 铈	63 铈	64 钆	65 铈	66 铈	67 铈	68 铈	69 铈	70 铈	71 镱
89 锶	90 钇	91 铈	92 铈	93 铈	94 铈	95 铈	96 铈	97 铈	98 铈	99 铈	100 铈	101 铈	102 铈	103 铈

113 Uut (ジャポニウム Jp ??) 生成 2004年 理研 森田浩介氏ら

周期表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1	1 H 1.0079	Atomic Sym Mass																2 He 4.0026
2	3 Li 6.941	4 Be 9.0121	C 固体 Hg 液体 H 気体 Rf Unknown										5 B 10.811	6 C 12.010	7 N 14.006	8 O 15.999	9 F 18.998	10 Ne 20.180
3	11 Na 22.989	12 Mg 24.305	金属 アルカリ金属 アルカリ土類金属 ランタノイド 希ガス										13 Al 26.981	14 Si 28.085	15 P 30.973	16 S 32.065	17 Cl 35.453	18 Ar 39.948
4	19 K 39.098	20 Ca 40.078	21 Sc 44.955	22 Ti 47.867	23 V 50.941	24 Cr 51.996	25 Mn 54.938	26 Fe 55.845	27 Co 58.933	28 Ni 58.693	29 Cu 63.546	30 Zn 65.38	31 Ga 69.723	32 Ge 72.64	33 As 74.921	34 Se 78.96	35 Br 79.904	36 Kr 83.80
5	37 Rb 85.467	38 Sr 87.62	39 Y 88.905	40 Zr 91.224	41 Nb 92.906	42 Mo 95.96	43 Tc (98)	44 Ru 101.07	45 Rh 102.905	46 Pd 106.42	47 Ag 107.868	48 Cd 112.411	49 In 114.818	50 Sn 118.710	51 Sb 121.757	52 Te 127.60	53 I 126.905	54 Xe 131.29
6	55 Cs 132.905	56 Ba 137.327	57-71 Lanthanoids	72 Hf 178.49	73 Ta 180.948	74 W 183.84	75 Re 186.207	76 Os 190.23	77 Ir 192.222	78 Pt 195.084	79 Au 196.967	80 Hg 200.59	81 Tl 204.38	82 Pb 207.2	83 Bi 208.98	84 Po (209)	85 At (210)	86 Rn (222)
7	87 Fr (223)	88 Ra (226)	89-103 Actinoids	104 Rf (261)	105 Db (262)	106 Sg (266)	107 Bh (264)	108 Hs (277)	109 Mt (268)	110 Ds (271)	111 Rg (272)	112 Cn (285)	113 Uut (284)	114 Uuq (289)	115 Uup (288)	116 Uuh (292)	117 Uus (294)	118 Uuo (294)

113 Jp ??
Japonium ??

116 Lv
Livermorium

114 Fl
Flerovium

超重元素
For elements with no stable isotopes, the mass number of the isotope is in parentheses.

周期表 Design and Interface Copyright © 1997 Michael Dayah. <http://www.ptable.com>

57 La 138.90	58 Ce 140.11	59 Pr 140.90	60 Nd 144.24	61 Pm (145)	62 Sm 150.36	63 Eu 151.96	64 Gd 157.25	65 Tb 158.92	66 Dy 162.50	67 Ho 164.93	
89 Ac (227)	90 Th 232.03	91 Pa 231.03	92 U 238.02	93 Np (237)	94 Pu (244)	95 Am (243)	96 Cm (247)	97 Bk (247)	98 Cf (251)	99 Es (252)	100 Fm (257)

米口の共同研究

ロシア合同原子核研究所の原子核反応研究室創設者 Georgy **Flërov**
米国 Lawrence-**Livermore** 国立研究所

放射性物質とは

放射性核種
= 放射性同位体
= 不安定原子核

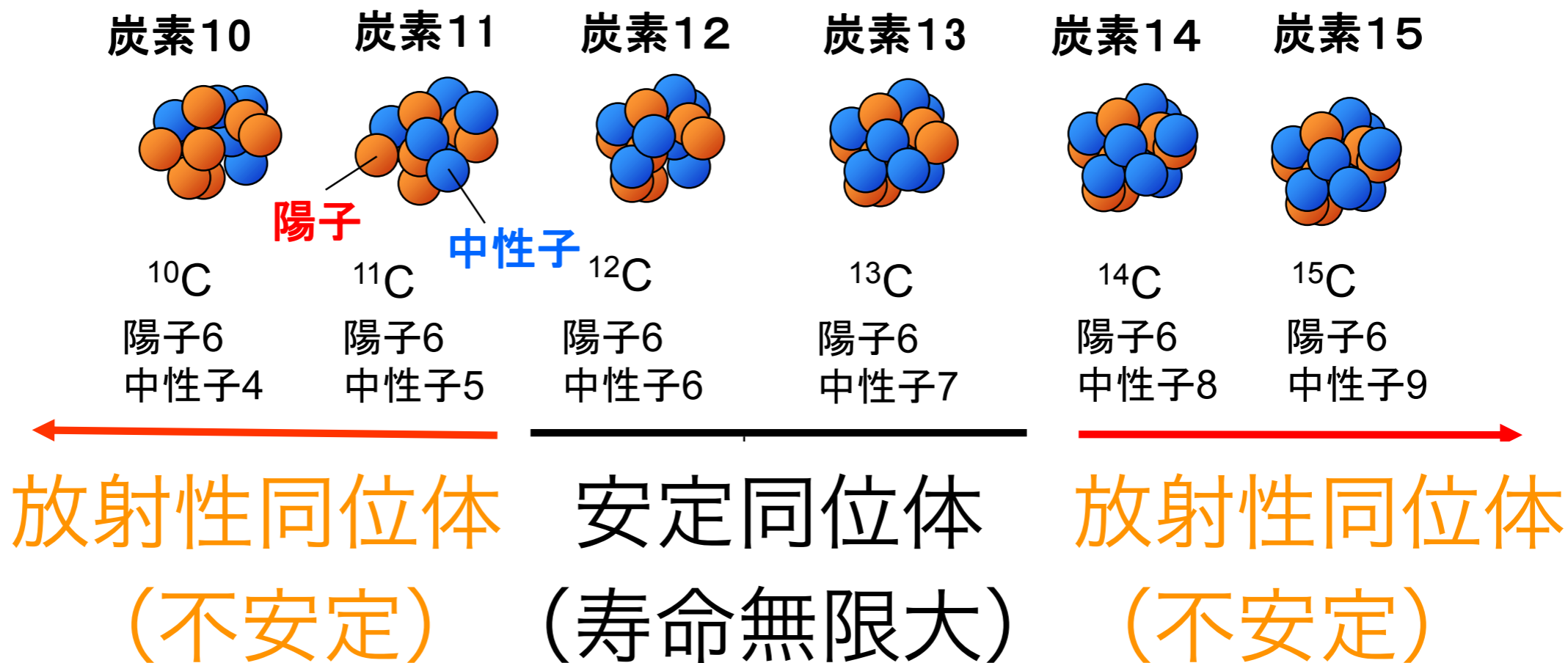
を含む原子からできている物質

$$\text{質量数 } A = Z + N$$



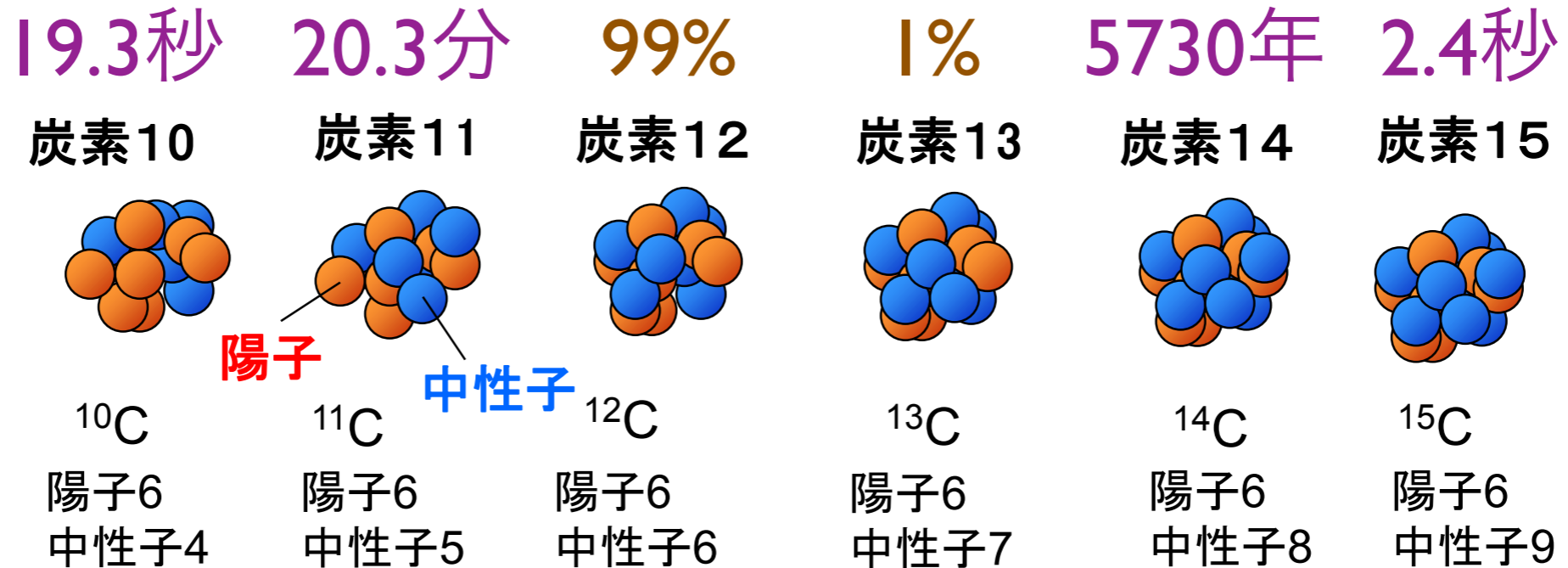
陽子数 Z が同じなら化学的には同じ元素
中性子数 N が違う原子核が多種存在する

炭素原子核の例



同位体(原子番号(=陽子数)は同じで中性子数が異なる**原子核**)

同位体間では化学的性質は同じ



陽子過剰になると？

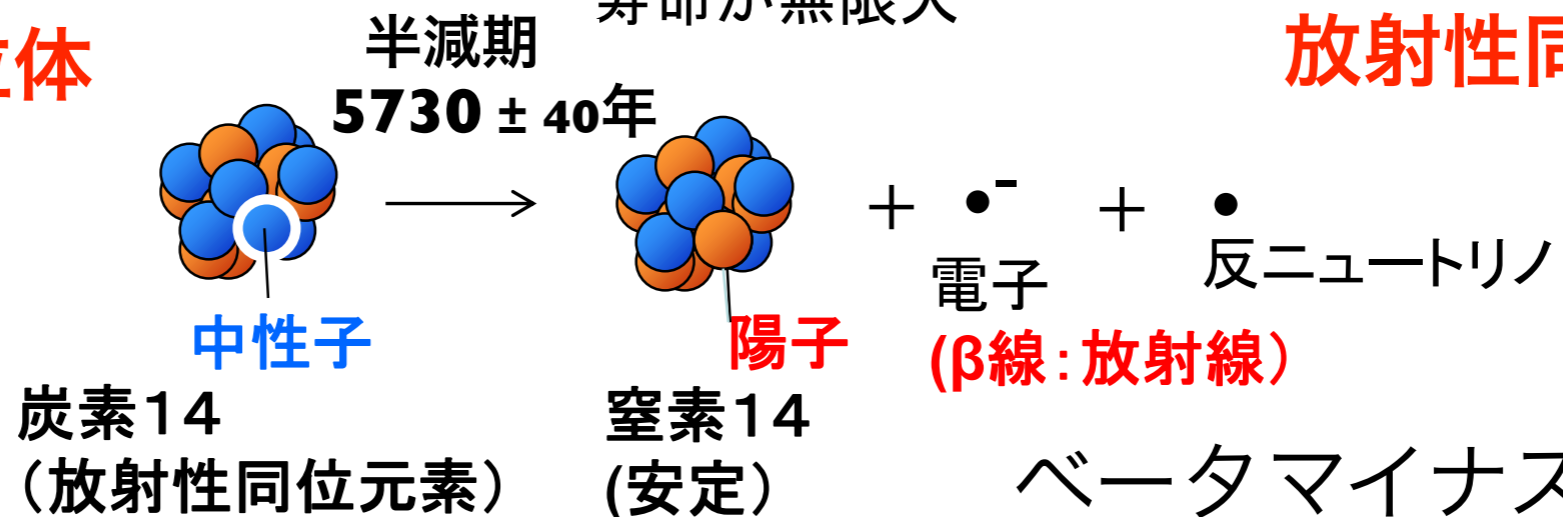
(寿命がある： β^+ 壊変、電子捕獲(EC))

天然に存在=**安定同位体**
寿命が無限大

中性子過剰になると？

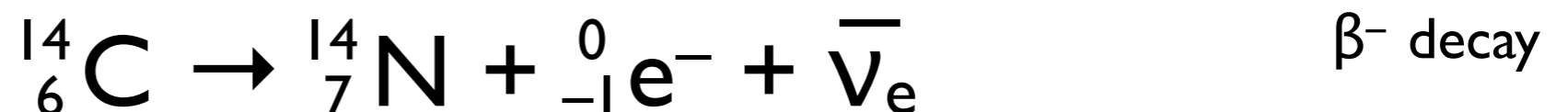
(寿命がある： β^- 壊変)

放射性同位体

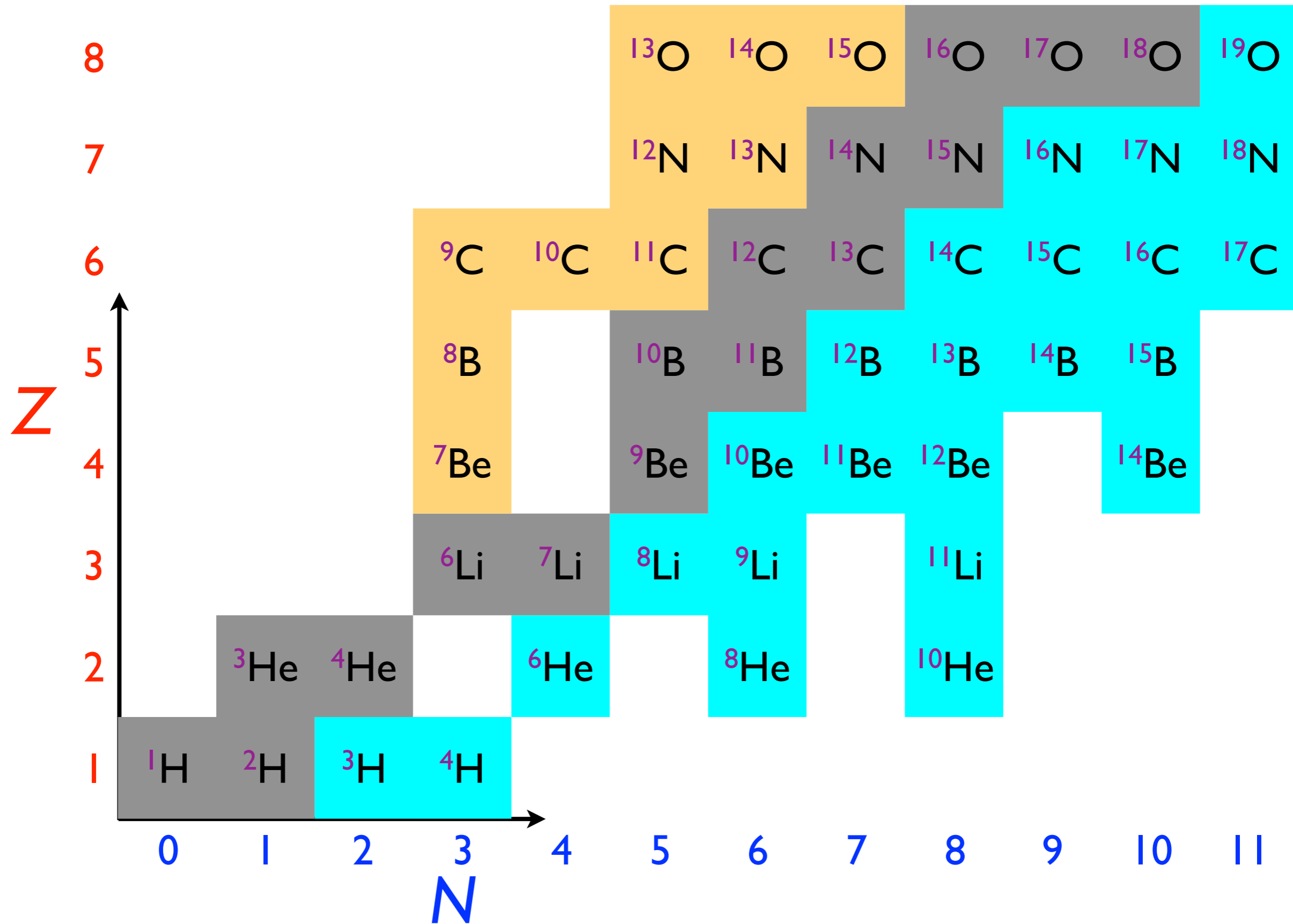


放射性同位体

ベータマイナス壊変(崩壊)



核图表



Nuclear Science

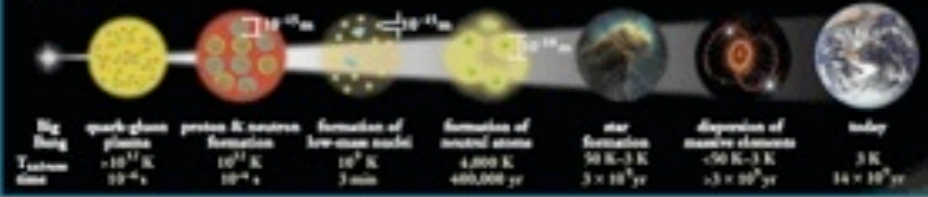
Nuclear Science is the study of the structure, properties, and interactions of the atomic nuclei. Nuclear scientists calculate and measure the masses, shapes, sizes, and decays of nuclei at rest and in collisions. They ask questions, such as "Why do nucleons stay in the nucleus? What combinations of protons and neutrons are possible? What happens when nuclei are compressed or rapidly cooled? What is the origin of the nuclei found on Earth?"

Legend

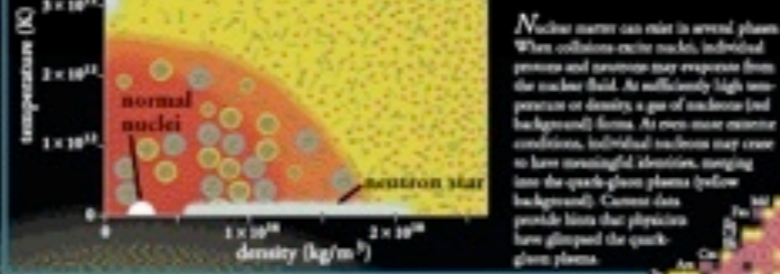
- electron (e^-)
- quark
- photon (γ)
- gluon field
- gluon
- photon (γ)
- neutrino (ν)
- antineutrino ($\bar{\nu}$)
- photon (γ)
- Neutron = $A - Z$
- Proton = Z
- Atomic Number = Z
- Mass Number = A

Expansion of the Universe

After the Big Bang, the universe expanded and cooled. At about 10^{-35} second, the universe consisted of a soup of quarks, gluons, electrons, and neutrinos. When the temperature of the Universe, T_{univ} , cooled to about 10^9 K, this soup condensed into protons, neutrons, and electrons. As time progressed, some of the protons and neutrons formed deuterium, helium, and lithium nuclei. Still later, electrons combined with protons and these low-mass nuclei to form neutral atoms. Due to gravity, clouds of atoms condensed into stars, where hydrogen and helium fused into more massive chemical elements. Expanding stars (supernovae) from the most massive elements and disperse them into space. Our earth was formed from supernova debris.



Phases of Nuclear Matter



Unstable Nuclei

Stable nuclei form a narrow white band on the Chart of the Nuclides. Scientists produce unstable nuclei for from this band and study their decays, thereby learning about the extremes of nuclear conditions. In its present form, this chart contains about 2500 different nuclei. Nuclear theory predicts that there are at least 4000 more to be discovered with $Z \leq 112$.



Radioactivity

Alpha Decay
 $^{238}_{92}\text{U} \rightarrow ^{234}_{90}\text{Th} + ^4_2\text{He}$

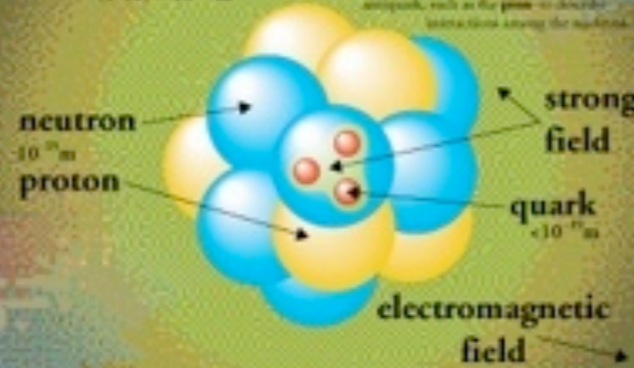
Beta Minus Decay
 $^{14}_6\text{C} \rightarrow ^{14}_7\text{N} + e^- + \bar{\nu}_e$

Beta Plus Decay
 $^{11}_6\text{C} \rightarrow ^{11}_5\text{B} + e^+ + \nu_e$

Gamma Decay
 $^{60}_{27}\text{Co} \rightarrow ^{60}_{27}\text{Co} + \gamma$

Radioactive decay transforms a nucleus by emitting different particles. In alpha decay, the nucleus releases a ^4_2He nucleus—an alpha particle. In beta decay, the nucleus either emits an electron and antineutrino for a proton and neutrino for a neutron. A positron is the antiparticle of the electron. Antineutrino is composed of anti-particles. Both alpha and beta decays change the original nucleus into a nucleus of a different chemical element. In gamma decay, the nucleus lowers its internal energy by emitting a photon—a gamma ray. This decay does not modify the chemical properties of the atom.

The Nucleus



Nuclear Energy

Fission
 $^{235}_{92}\text{U} + n \rightarrow ^{141}_{54}\text{Xe} + ^{90}_{38}\text{Sr} + 2n$

Fusion
 $^2_1\text{H} + ^3_1\text{H} \rightarrow ^4_2\text{He} + n$

Nuclear reactions release energy when the total mass of the products is less than the sum of the masses of the initial nuclei. The "lost mass" appears as kinetic energy of the products ($E = mc^2$). In fusion, a massive nucleus splits into two major fragments that usually eject one or more neutrons. In fusion, low mass nuclei combine to form a more massive nucleus plus one or more ejected particles—neutrons, protons, photons, or alpha particles.

In the early stages of nuclear evolution, of our sun and other stars, hydrogen fuses to form helium, releasing energy in the form of photons (light) and neutrinos. During the later stages of nuclear evolution, more massive nuclei up to and beyond uranium are synthesized by fusion. By measuring the number of reactions that come from the Sun, scientists recently have demonstrated that reactions must have a mass greater than zero.

Chart of the Nuclides

The Chart of the Nuclides presents in graphic form all known nuclei with atomic number, Z , and neutron number, N . Each nuclide is represented by a box colored according to its predominant decay mode. Magic numbers ($2, 8, 20, 28, 50, 82$ and 126) are indicated by a rectangle on the chart. They correspond to major closed shells and show regions of greater nuclear binding energy.



- Color Key**
- Stable
 - Spontaneous fission
 - Alpha particle emission
 - Beta minus emission
 - Beta plus emission or electron capture

Applications

Radioactive Dating
 Recently-invented radioactive isotopes such as ^{14}C are used to date objects that were once living, such as wood. For example, from a study of artifacts found at the site, scientists determined that the landscape was built nearly 4,000 years ago.

Smoke Detectors
 Many smoke detectors use a small amount of the alpha emitter ^{241}Am to ionize the air. Smoke entering the detector reduces the current and sets off the alarm.

Nuclear Medicine
 Radioactive isotopes, such as ^{201}Tl , $^{99\text{m}}\text{Tc}$, and ^{131}I , are commonly used in the diagnosis and treatment of illness. Positron emission tomography (PET) uses ^{18}F and is used in Positron Emission Tomography (PET) to generate images of brain activity.

Space Exploration
 Exposure and alpha particles to identify chemical elements present in Martian rocks. On Earth, nuclear reactors are used to study some form, structural components or an environment.

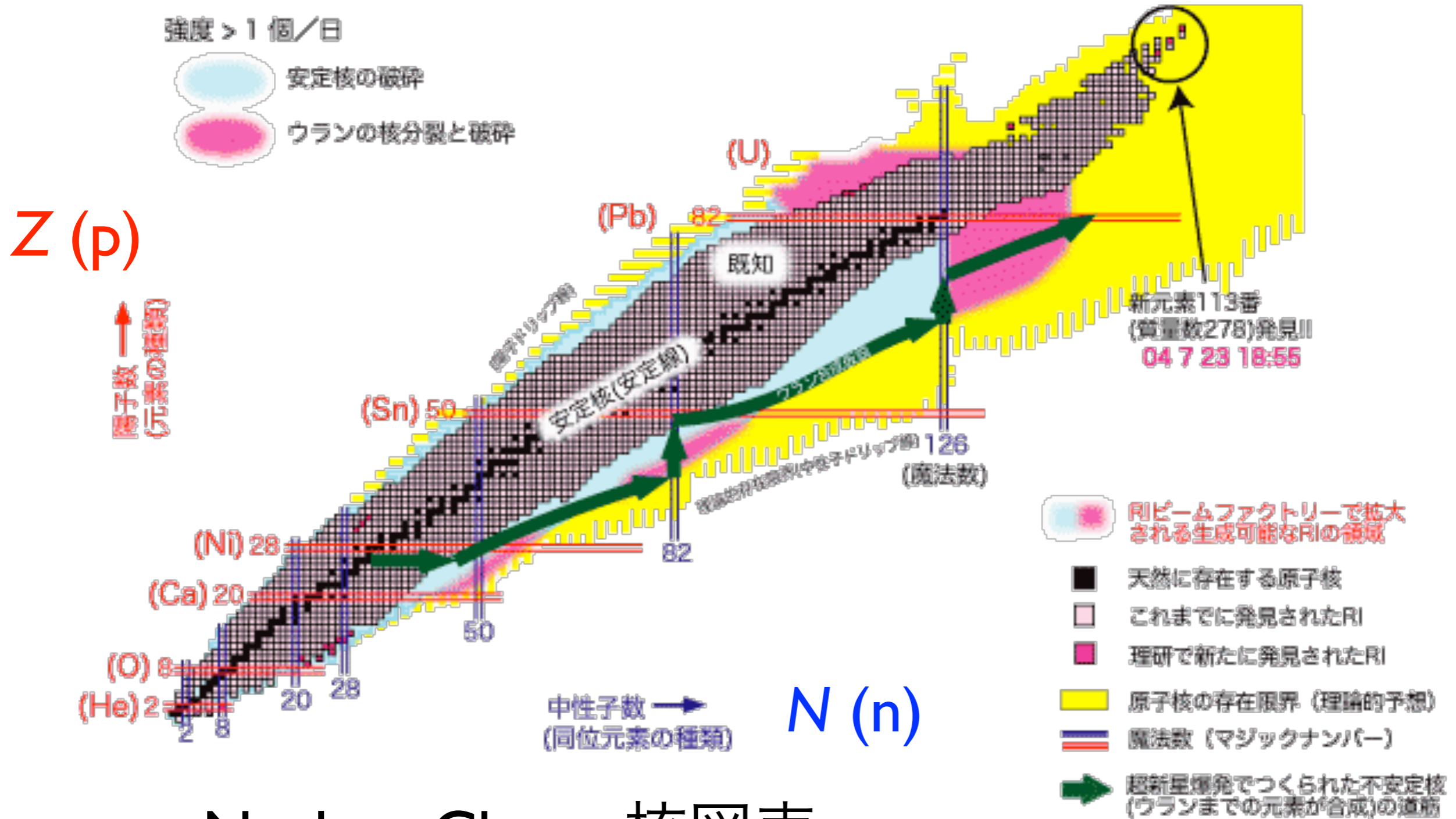
Nuclear Reactors
 Nuclear reactions are the basis of ^{235}U or ^{239}Pu nuclei to produce electric power. Reactors and other nuclear applications generate radioactive waste. Disposal of this waste is a subject of current research.

Magnetic Resonance Imaging
 Magnetic Resonance Imaging (MRI) makes use of atomic transitions involving the magnetic field of a nucleus to study the local chemical environment. This technique accurately maps the density of hydrogen to produce three-dimensional images of the human body.

www.CPEPweb.org



RIKEN



Nuclear Chart 核図表

核種の数

安定核種

約300種

実験的に確認

3000種

理論的に予想

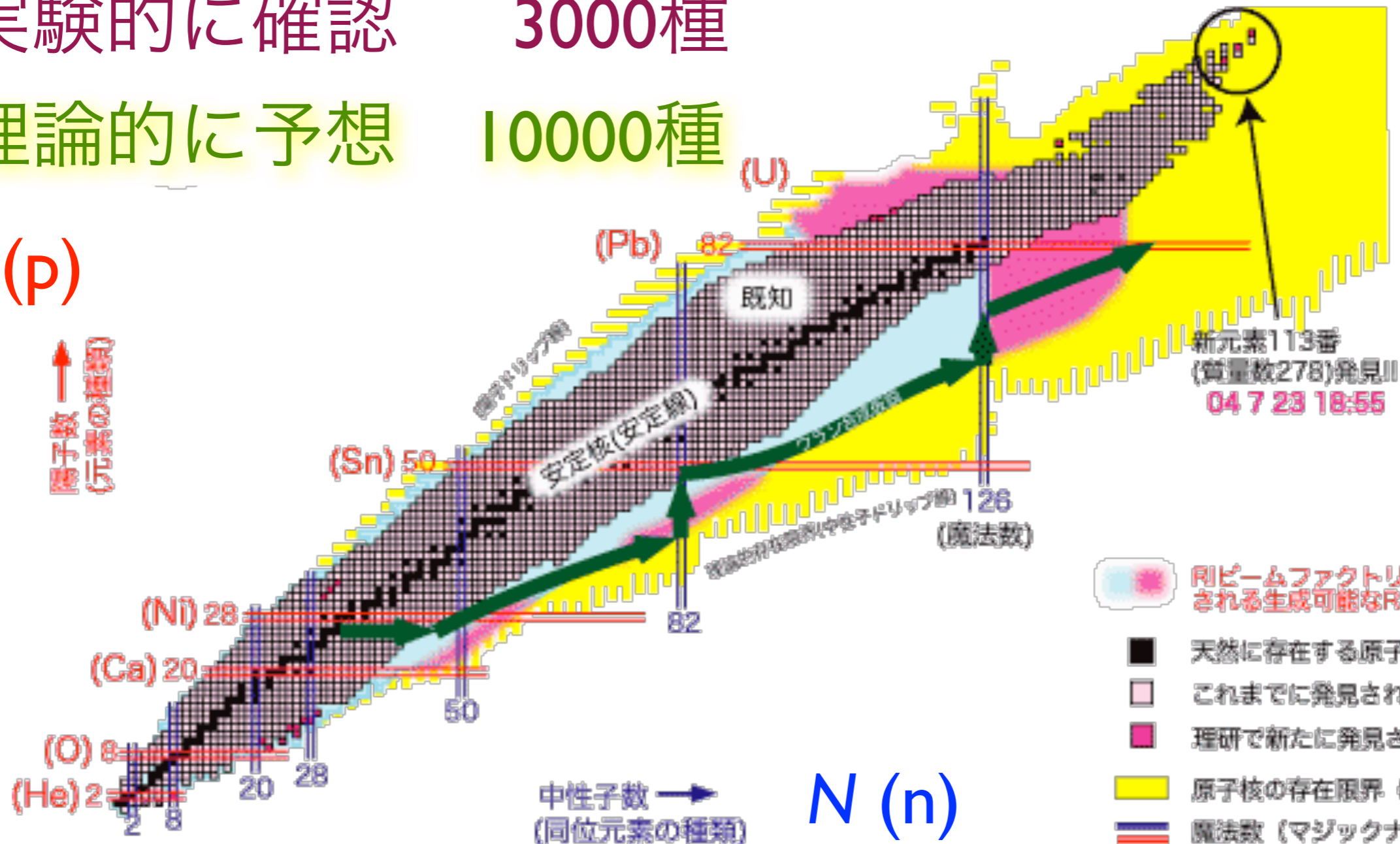
10000種

原子核物理学

Nuclear Physics

Z (p)

↑ 陽子数
(元素の種類)



新元素113番
(質量数278)発見!!
04 7 23 18:55

- Rfビームファクトリーで拡大される生成可能なRfの領域
- 天然に存在する原子核
- これまでに発見されたRf
- 理研で新たに発見されたRf
- 原子核の存在限界 (理論的予想)
- 魔法数 (マジックナンバー)
- 超新星爆発でつくられた不安定核 (ウランまでの元素が合成)の道筋

Nuclear Chart 核図表

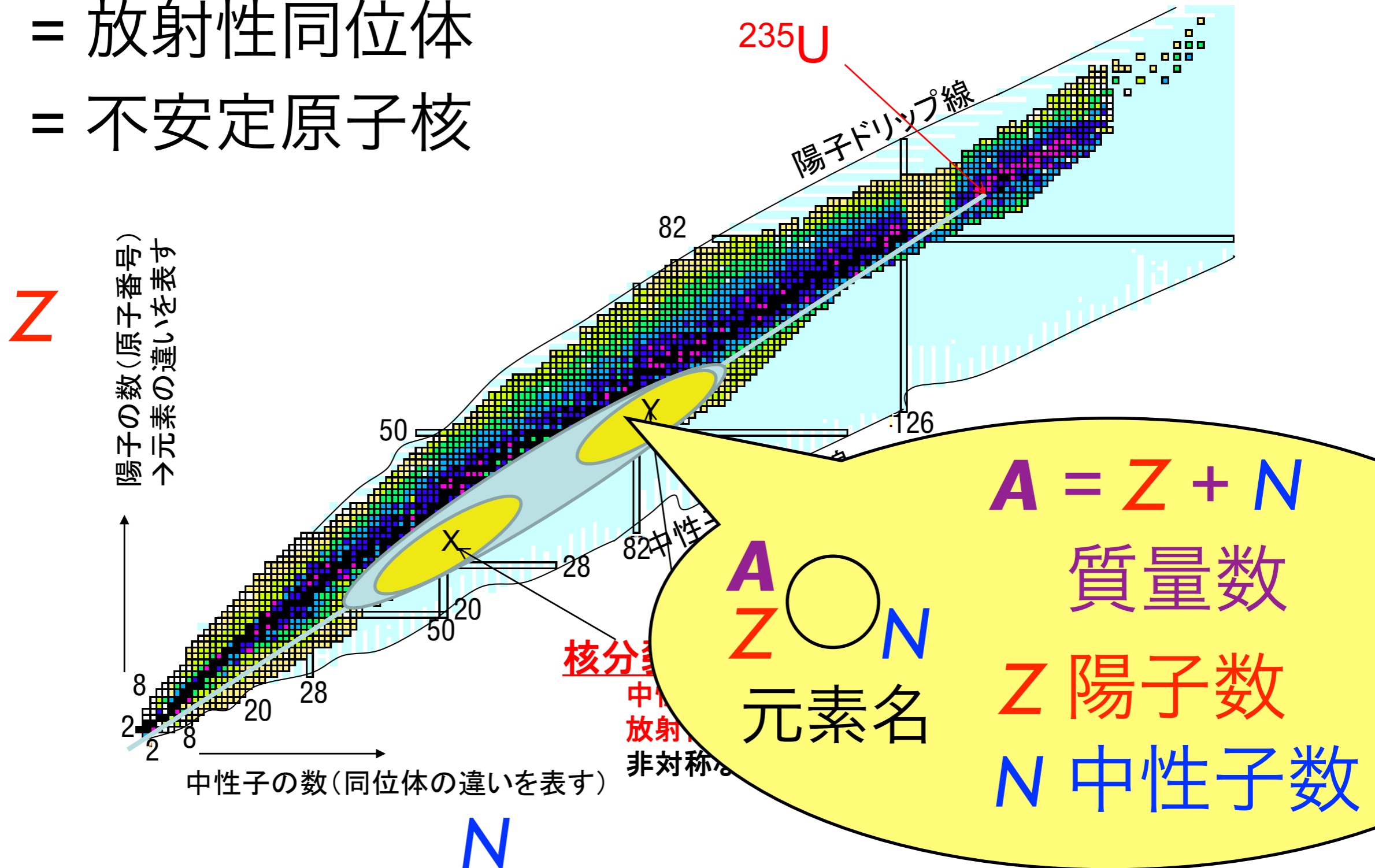
放射性物質とは

放射性核種

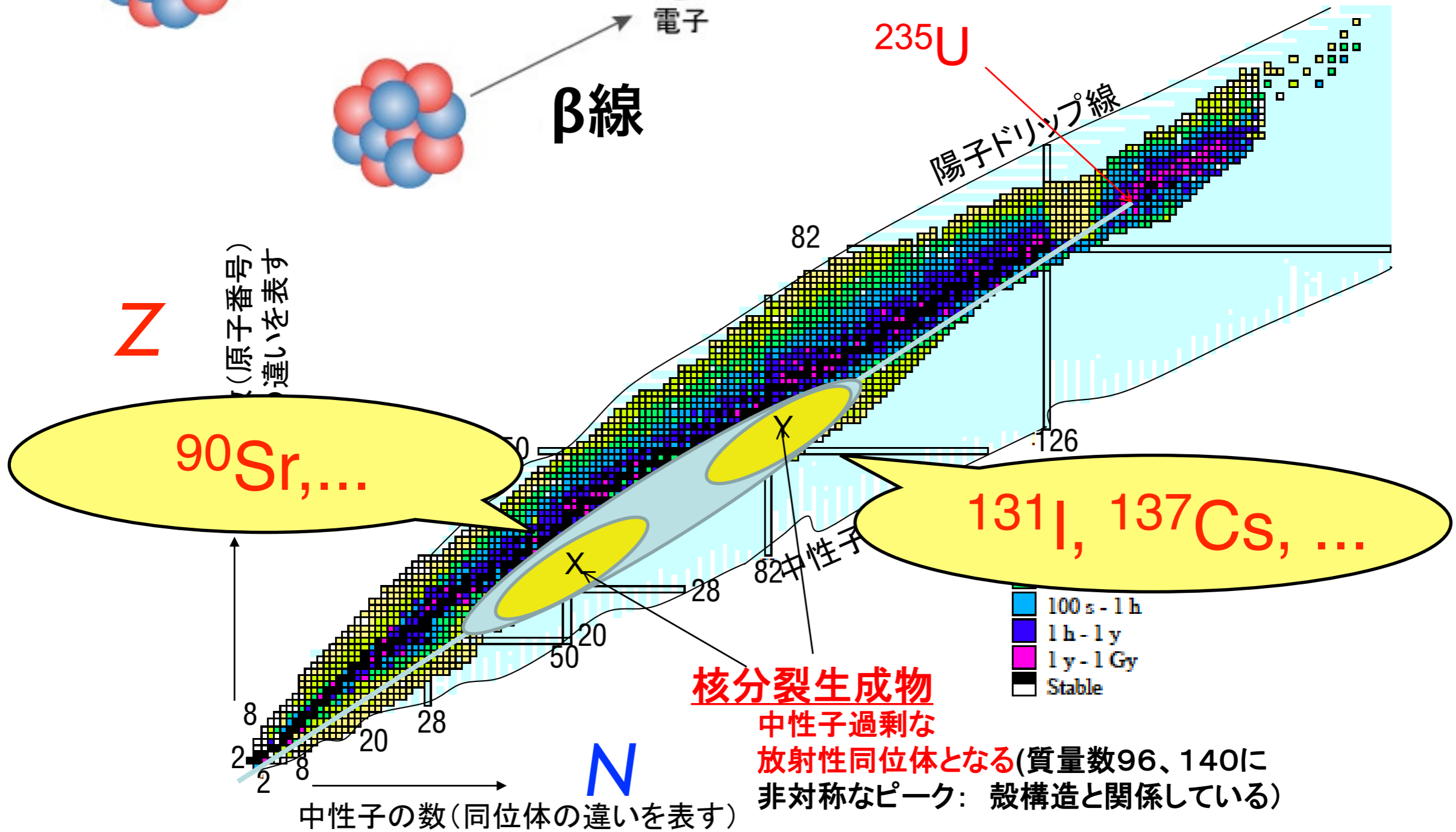
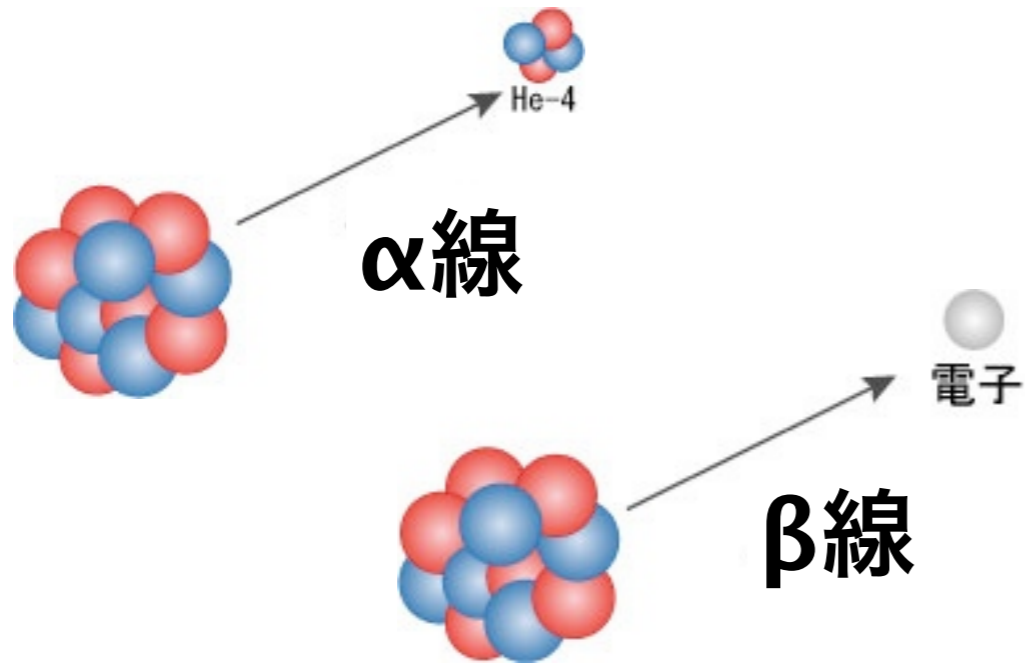
= 放射性同位体

= 不安定原子核

核図表



放射能とは 放射性物質が放射線を出す能力のこと。



Nuclear Chart 核図表

関連する核種の分類

isotope	同位体	Z	${}^A_Z N_N$	${}^{A'}_{Z'} N_{N'}$	${}^{A''}_{Z''} N_{N''}$
isotone	同調体 (同中性子体)	N	${}^A_Z N_N$	${}^{A'}_{Z'} N_N$	${}^{A''}_{Z''} N_N$
isobar	同重体	A	${}^A_Z N_N$	${}^A_{Z'} N_{N'}$	${}^A_{Z''} N_{N''}$
mirror nuclei	鏡映核, 鏡像核	$A, Z \leftrightarrow N$	${}^A_Z N_N$	${}^A_{Z'} N_{N'}$	$Z' = N$ $N' = Z$
isodiapher	同余体	$N - Z$	${}^A_Z N_N$	${}^{A-2x}_{Z-x} N_{N-x}$	
isomer	核異性体	Z, N	${}^A_Z N_N$	${}^{Am_1}_{Z'} N_N^{(*)}$	${}^{Am_2}_{Z'} N_N^{(*)}$

原子核物理学

Nuclear Physics

β 崩壊

isobar
同重体

α 崩壊

isodiapher
同余体

isotone
同調体

アイソトープ
isotope
同位体

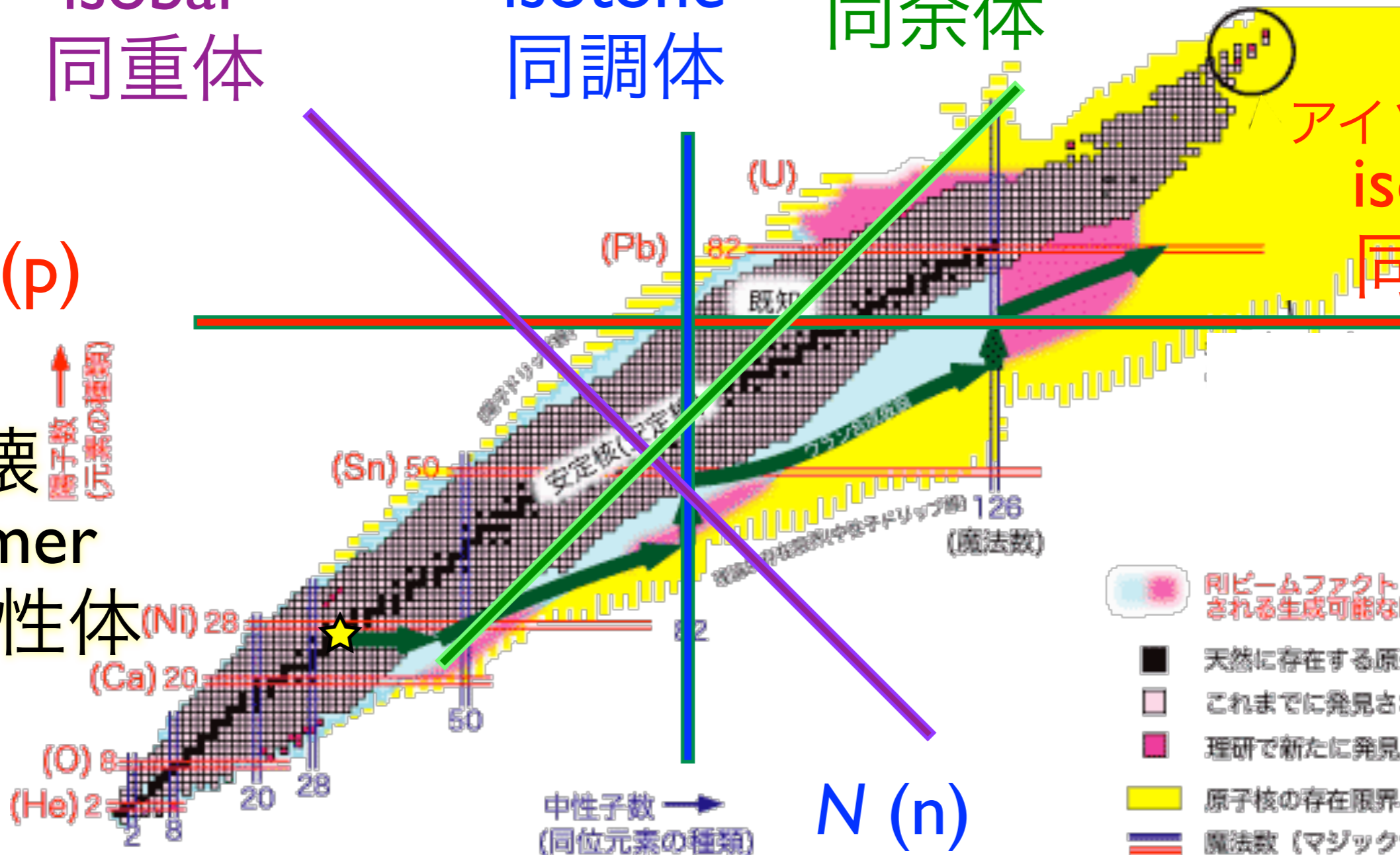
$Z (p)$

γ 崩壊

isomer

核異性体

↑ 中性子の種類
↑ 陽子の種類

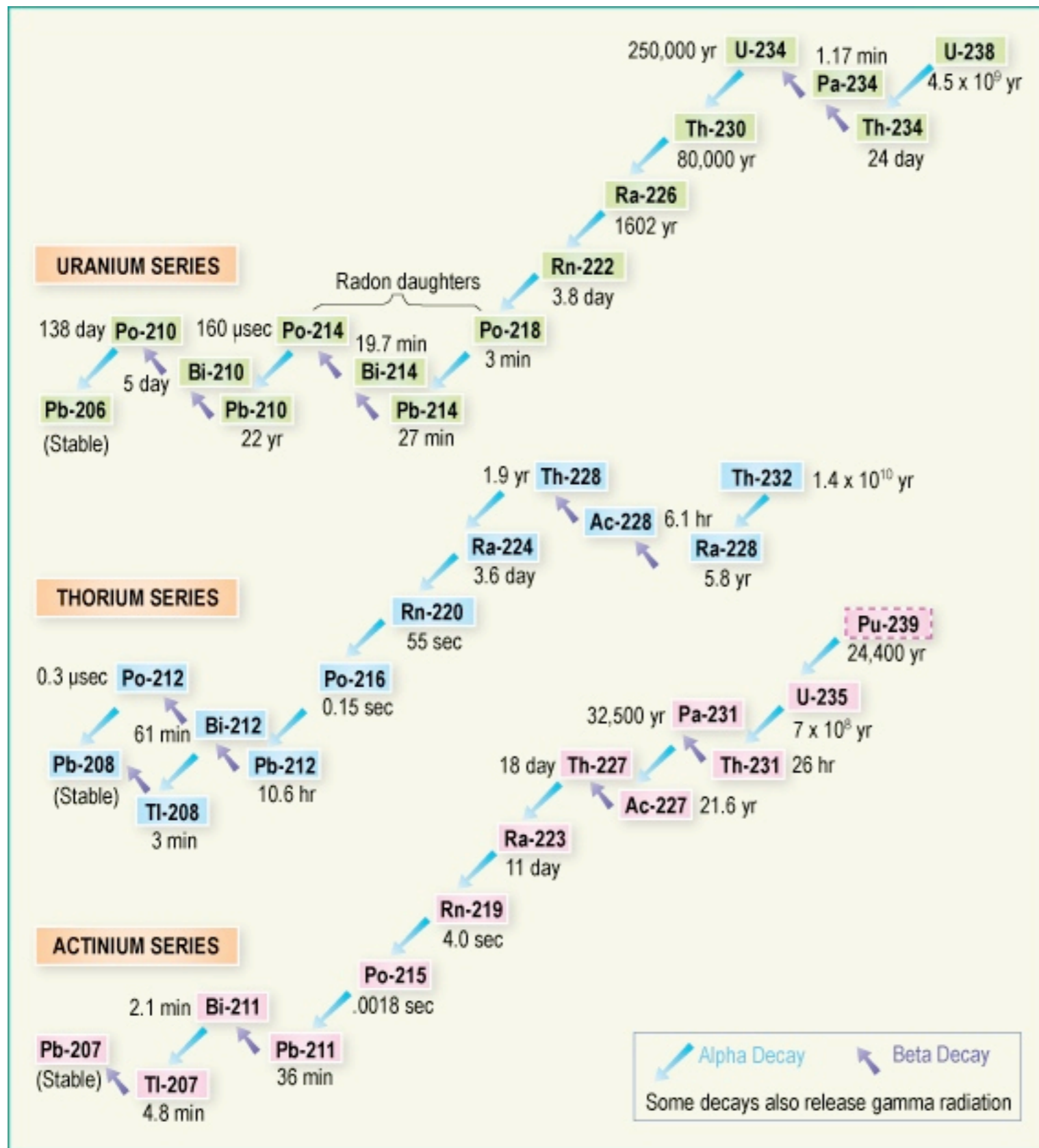


中性子数 →
(同位元素の種類)

$N (n)$

- RIビームファクトリーで拡大される生成可能なRIの領域
- 天然に存在する原子核
- これまでに発見されたRI
- 理研で新たに発見されたRI
- 原子核の存在限界 (理論的予想)
- 魔法数 (マジックナンバー)
- 超新星爆発で作られた不安定核 (ウランまでの元素が合成)の道筋

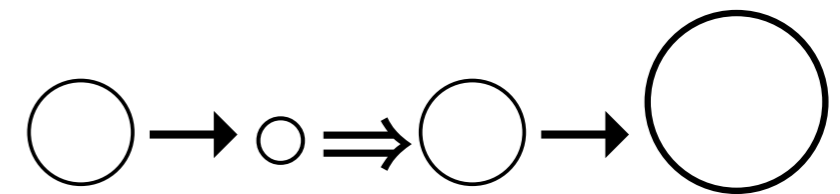
Nuclear Chart 核図表



壊変 (崩壊) 系列

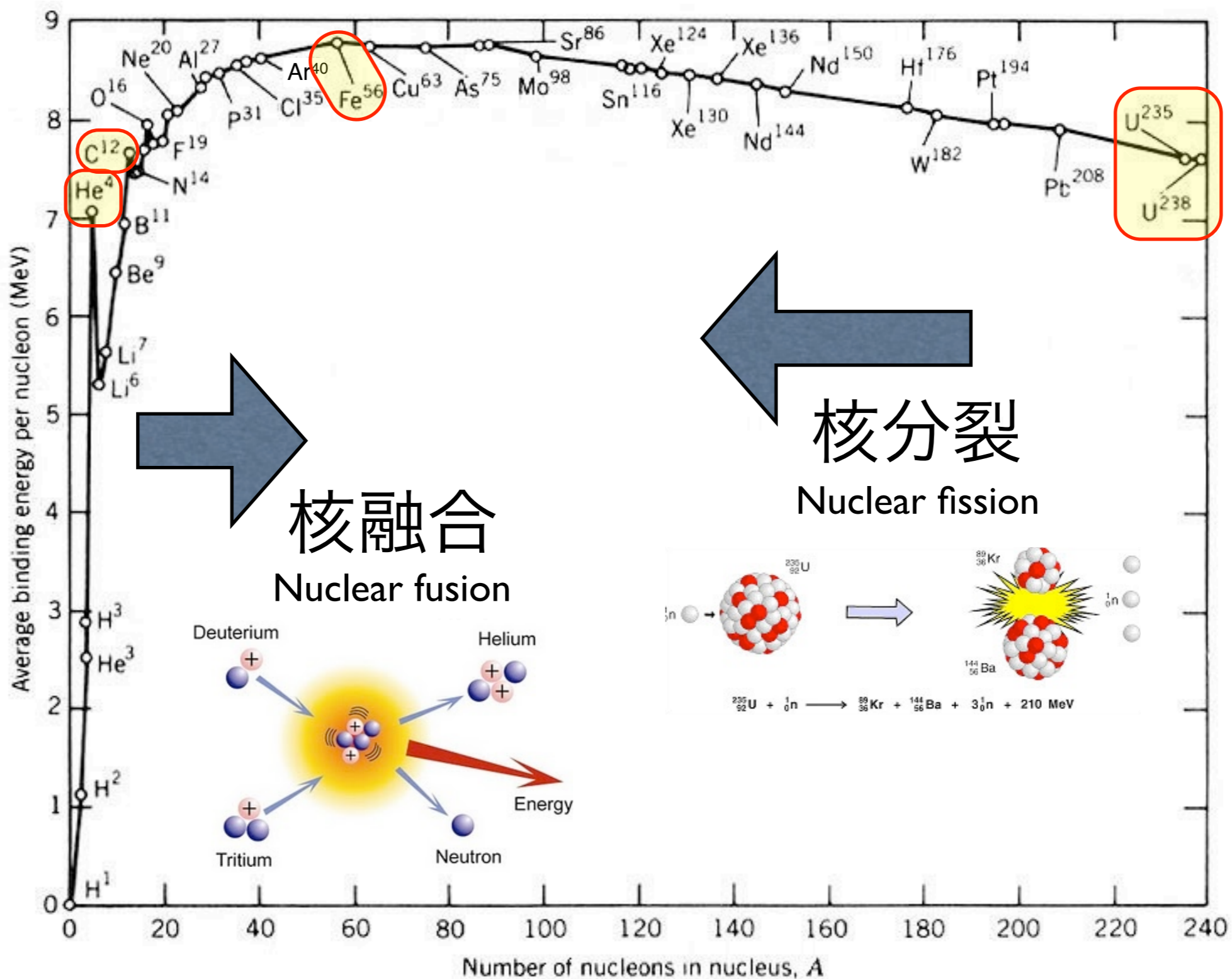
- (4n) トリウム系列
- (4n+1) ネプツニウム系列
- (4n+2) ウラン系列
- (4n+3) アクチニウム系列

放射平衡



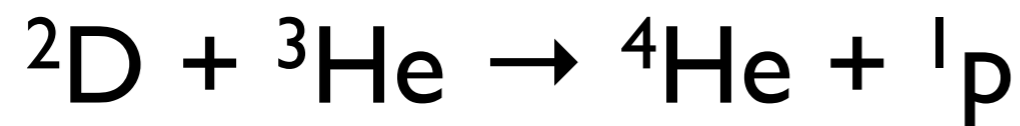
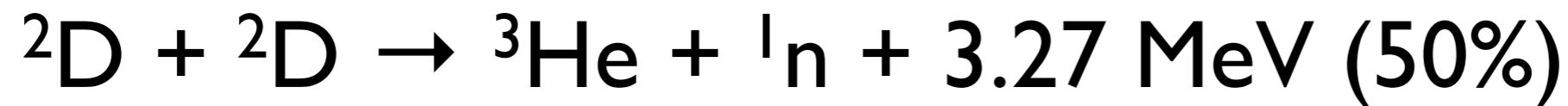
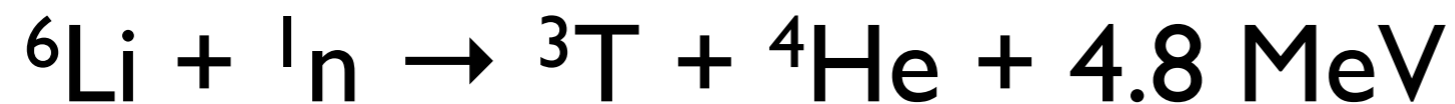
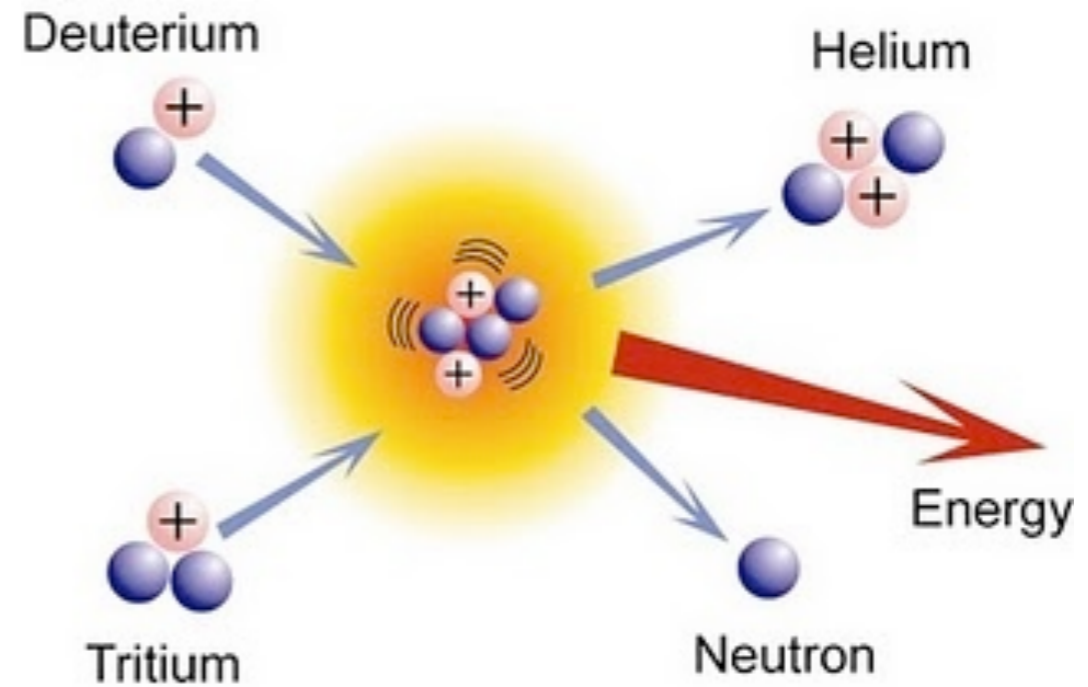
最も安定な原子核は？

核子あたりの結合エネルギー (MeV)



核融合

Nuclear fusion



Weizsäcker-Bethe の (半経験的) 質量公式

$$M_{\text{nucl}}(Z, N) = Z M_p + N M_n - E_B / c^2 \quad \text{液滴モデル}$$

$$M_{\text{atom}}(Z, N) = Z M_H + N M_n - E_B / c^2 \quad (\text{電子の束縛エネルギーは無視})$$

$$E_B / c^2 = \Delta M \quad (\text{質量欠損})$$

$$E_B(Z, N) = a_v A - a_s A^{2/3} - a_c Z^2 / A^{1/3} - \frac{a_a}{4} (N - Z)^2 / A - \delta$$

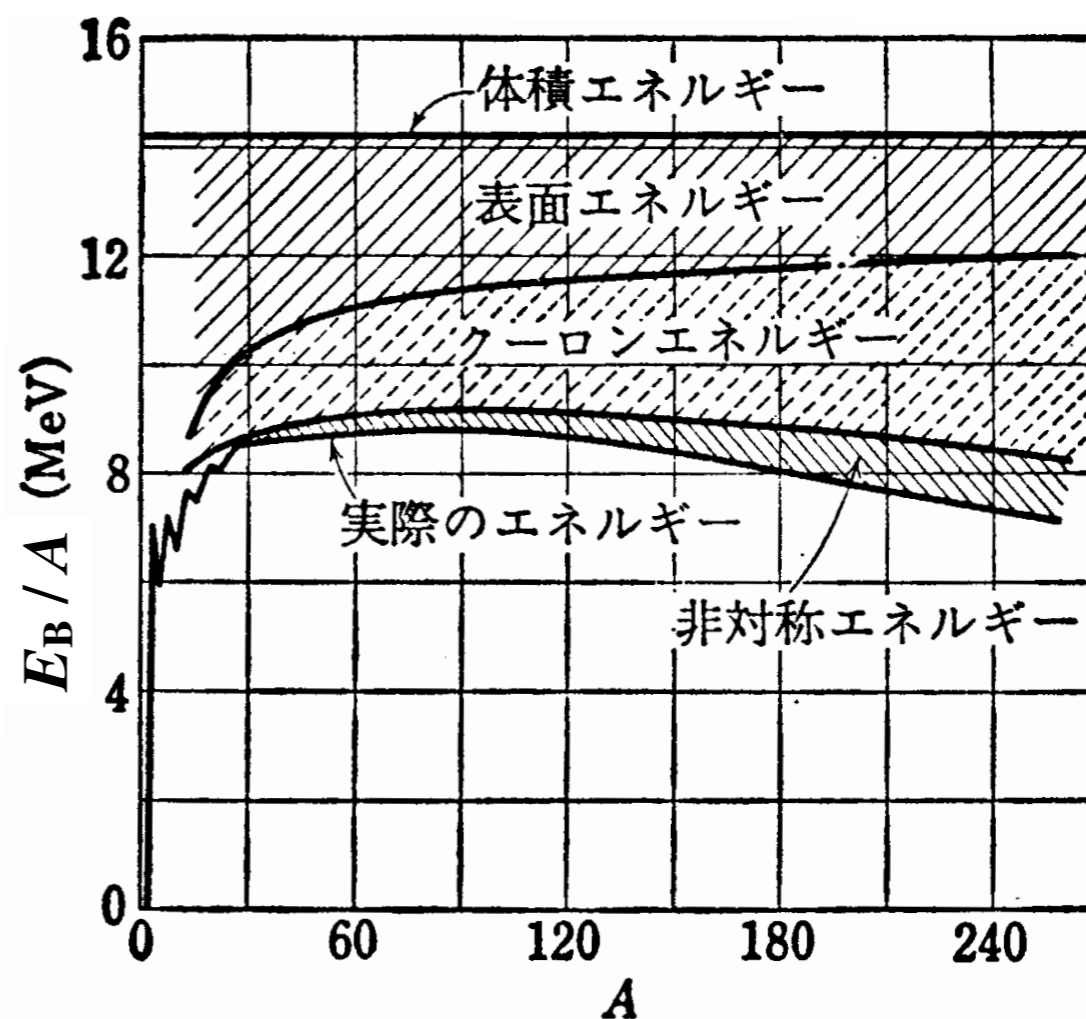
体積エネルギー

クーロンエネルギー

対称エネルギー

対エネルギー

表面エネルギー



「全原子核の地図」核図表とは

核図表の見かた

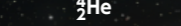
縦軸は陽子数であり、元素の種類でもあります。下から上に向かって陽子数が増えていくため、周期表の順番と一緒です。横軸は中性子数で左から右に向かって中性子の数が増えていきます。つまり横一線では同じ陽子数で、違う中性子数で構成される同位元素になります。

黒い所は安定核⁶ といひ、天然に存在する原子核です。オレンジ色の所はこれまでに発見・合成された原子核です。白い所は理論的に存在するとされる原子核で未発見の原子核です。高さは結合エネルギー⁷ を表して、高いほど原子核が不安定といえます。

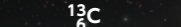
原子核の表記方法

陽子数 + 中性子数 / 陽子数 元素記号

例えばヘリウム 4 では

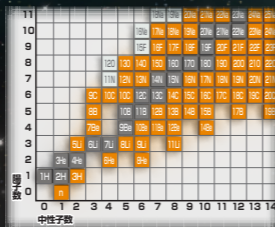


例えば炭素 13 では



と表す。(※右の核図表では陽子数は省略)

真上からみた立体核図表



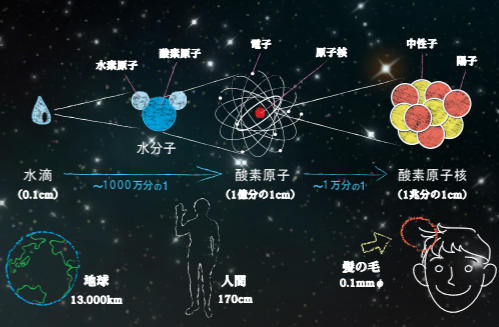
核図表

Chart of Nuclides

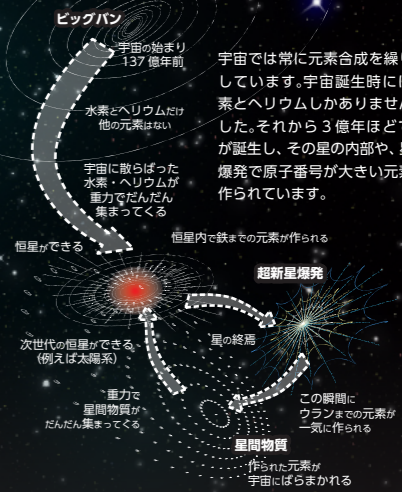
今から 137 億年前、ビッグバンによって私たちの宇宙は生まれました。でもその時に存在した元素は水素とヘリウムだけ。それから 3 億年ほど経て星が生まれると、その中で重い元素が創られ始め、星の終焉に起きる超新星爆発では、より重い元素が一気に創られたと考えられています。私たちの体を含め、宇宙を構成する物質は全てこれらの元素から来ています。一方、元素の本体は陽子と中性子からなる原子核です。陽子と中性子の微妙なバランスからなる原子核の成り立ちを調べることは、物質の起源を調べることにほかなりません。ここに示す核図表は全ての原子核を示した地図であり、元素合成と宇宙の歴史も刻まれています。原子核は果たしてどのように生まれたのか、またどのようなものなのか、核図表と一緒に見てみましょう。

原子核の大きさ

原子の大きさは約 1000 万分の 1 mm。最新鋭の顕微鏡でぎりぎり見える大きさです。しかし元素の本体は原子の中心にある原子核です。原子核の大きさは原子のさらに 10 万分の 1 ですから、まったく見ることは出来ません。たとえ見えなくても私たちは原子核が陽子 (+ の電気を持つ) と中性子 (電気を持たない) という 2 種類の粒子の塊であることを知っています。



私たちの体は星くずでできている



1 2 原子核=陽子+中性子

中性子 陽子

ウラン 235

ヘリウム 4

陽子数 (元素の種類)

中性子数 (横軸は同じ元素)

結合エネルギー

陽子数と中性子数のバランスが大切です。それとともに、陽子・中性子が好む数字があり、これを魔法数と呼びます。今知られているのは 2, 8, 20, 28, 50, 82, 126 です。例えば、カルシウムは陽子数 20 ですから魔法数です。そのため、バランスが崩れる程、中性子が多くなると、不安定な原子核があるのが分かります。

陽子数と中性子数のバランスが崩れる程、不安定な原子核があるのが分かります。

陽子数と中性子数のバランスが崩れる程、不安定な原子核があるのが分かります。

3 4 原子核の崩壊—アルファ崩壊、ベータ崩壊

原子核はともにも固く簡単には壊れません。しかし不安定核はより安定な原子核へと自らを変化させます。その際に起きる現象を「崩壊」と呼びます。崩壊にはアルファ崩壊 (α)、ベータ崩壊 (β)、ガンマ崩壊 (γ) の 3 種類あります。α崩壊は左図のように、原子核からヘリウム原子核 (陽子 2, 中性子 2) が飛び出す現象です。当然軽くなり原子番号が 2 つ減ります。また飛び出したヘリウム原子核を α線と呼びます。β崩壊は左下図のように、原子核内の中性子が陽子に変化する反応です。その時、電子と反ニュートリノを放出します。重さはほぼ変わりませんが、陽子が減りますから、原子番号が 1 つ増えます。飛び出した電子を β線と呼びます。なお崩壊した直後の原子核は興奮して熱くなっています。これが冷える時に光を出します。この光を γ線と呼びます。

α崩壊

β崩壊

陽子数と中性子数のバランスが崩れる程、不安定な原子核があるのが分かります。

※1 「核図表」：核図表は陽子数と中性子数のバランスが崩れる程、不安定な原子核があるのが分かります。というのと、陽子・中性子が好む数字があり、これを魔法数と呼びます。今知られているのは 2, 8, 20, 28, 50, 82, 126 です。例えば、カルシウムは陽子数 20 ですから魔法数です。そのため、バランスが崩れる程、不安定な原子核があるのが分かります。

5 6 塊だけじゃない—色々な原子核

原子核には色々な形状が存在することがわかっています。球状だけでなく、バナナ型やミカン型など様々です。特に上記に示した原子核は特徴的です。中性子スピンは過剰な中性子が原子核の外にしみ出して中性子だけの皮を作っています。中性子ハローはしみ出した中性子が大きく広がってしまひ、おぼろげに存在します。

中性子ハロー

中性子スピン

陽子数と中性子数のバランスが崩れる程、不安定な原子核があるのが分かります。

7 魔法数 (マジックナンバー)

魔法数は 2, 8, 20, 28, 50, 82, 126 です。例えば、カルシウムは陽子数 20 ですから魔法数です。そのため、バランスが崩れる程、不安定な原子核があるのが分かります。

魔法数

陽子数と中性子数のバランスが崩れる程、不安定な原子核があるのが分かります。

※2 「陽子数」：陽子数は陽子だけの塊で出来ています。プラス電荷を持つ陽子。電荷を持たない中性子です。通常は陽子と中性子で構成されています。その陽子の電子は陽子の約 2000 分の 1 という軽さです。

ウラン 238, トリウム 234, ヘリウム 4, ウラン 235, ヘリウム 4, ナトリウム 27-32, ナトリウム 11, ベリリウム 11, 14, ホウ素 17, 19, リチウム 6, リチウム 11, ベリリウム 11, 14, ホウ素 17, 19, 炭素 12, 13, 酸素 16, 17, 窒素 14, 15, フッ素 19, ネオン 20, ナトリウム 23, マグネシウム 24, アルミニウム 27, シリコン 28, リチウム 6, リチウム 7, ベリリウム 9, 10, ホウ素 10, 11, 炭素 12, 13, 窒素 14, 15, フッ素 19, ネオン 20, ナトリウム 23, マグネシウム 24, アルミニウム 27, シリコン 28, カリウム 39, カルシウム 40, 44, 48, 50, 52, 54, 56, 58, 60, 64, 66, 68, 70, 72, 74, 76, 78, 80, 82, 84, 86, 88, 90, 92, 94, 96, 98, 100, 102, 104, 106, 108, 110, 112, 114, 116, 118, 120, 122, 124, 126, 128, 130, 132, 134, 136, 138, 140, 142, 144, 146, 148, 150, 152, 154, 156, 158, 160, 162, 164, 166, 168, 170, 172, 174, 176, 178, 180, 182, 184, 186, 188, 190, 192, 194, 196, 198, 200, 202, 204, 206, 208, 210, 212, 214, 216, 218, 220, 222, 224, 226, 228, 230, 232, 234, 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250, 252, 254, 256, 258, 260, 262, 264, 266, 268, 270, 272, 274, 276, 278, 280, 282, 284, 286, 288, 290, 292, 294, 296, 298, 300, 302, 304, 306, 308, 310, 312, 314, 316, 318, 320, 322, 324, 326, 328, 330, 332, 334, 336, 338, 340, 342, 344, 346, 348, 350, 352, 354, 356, 358, 360, 362, 364, 366, 368, 370, 372, 374, 376, 378, 380, 382, 384, 386, 388, 390, 392, 394, 396, 398, 400, 402, 404, 406, 408, 410, 412, 414, 416, 418, 420, 422, 424, 426, 428, 430, 432, 434, 436, 438, 440, 442, 444, 446, 448, 450, 452, 454, 456, 458, 460, 462, 464, 466, 468, 470, 472, 474, 476, 478, 480, 482, 484, 486, 488, 490, 492, 494, 496, 498, 500, 502, 504, 506, 508, 510, 512, 514, 516, 518, 520, 522, 524, 526, 528, 530, 532, 534, 536, 538, 540, 542, 544, 546, 548, 550, 552, 554, 556, 558, 560, 562, 564, 566, 568, 570, 572, 574, 576, 578, 580, 582, 584, 586, 588, 590, 592, 594, 596, 598, 600, 602, 604, 606, 608, 610, 612, 614, 616, 618, 620, 622, 624, 626, 628, 630, 632, 634, 636, 638, 640, 642, 644, 646, 648, 650, 652, 654, 656, 658, 660, 662, 664, 666, 668, 670, 672, 674, 676, 678, 680, 682, 684, 686, 688, 690, 692, 694, 696, 698, 700, 702, 704, 706, 708, 710, 712, 714, 716, 718, 720, 722, 724, 726, 728, 730, 732, 734, 736, 738, 740, 742, 744, 746, 748, 750, 752, 754, 756, 758, 760, 762, 764, 766, 768, 770, 772, 774, 776, 778, 780, 782, 784, 786, 788, 790, 792, 794, 796, 798, 800, 802, 804, 806, 808, 810, 812, 814, 816, 818, 820, 822, 824, 826, 828, 830, 832, 834, 836, 838, 840, 842, 844, 846, 848, 850, 852, 854, 856, 858, 860, 862, 864, 866, 868, 870, 872, 874, 876, 878, 880, 882, 884, 886, 888, 890, 892, 894, 896, 898, 900, 902, 904, 906, 908, 910, 912, 914, 916, 918, 920, 922, 924, 926, 928, 930, 932, 934, 936, 938, 940, 942, 944, 946, 948, 950, 952, 954, 956, 958, 960, 962, 964, 966, 968, 970, 972, 974, 976, 978, 980, 982, 984, 986, 988, 990, 992, 994, 996, 998, 1000.

※3 「安定核」：崩壊しない原子核のことを安定核といひます。ただし、ウランなどのように半減期が地球の年齢よりも長くと推定可能なものは、この表では安定核として示されています。

9 日本史上初の元素発見「113番元素」

仁科センターの森田浩介研究員らのグループは世界でこれまで未確認だった新しい 113 番元素の発見に成功しました。新元素の発見は、目的とする原子核のできる確率が極端に小さいためとても困難で、世界中でその発見を競っています。113 番元素の場合、亜鉛とビスマスの原子核同士を 100 兆回も衝突させる必要がありました。この発見により、日本で初めて元素の名前を付ける権利を得ることができそうです。

日本史上初の元素発見「113番元素」

10 鉄はターニングポイント

核図表で最も安定した元素は鉄 56 です。したがって鉄は谷の中で最も低い位置にあります。宇宙での元素合成は水素・ヘリウムを材料としてまずは恒星内の核融合反応によって進みます。あたかも山の頂にあるような水素から鉄までは谷を下るように入合成されるのです。しかし鉄より先は登りですから、何らかの力を借りる必要があります。その一つとして超新星爆発の力を借りて谷を登るように入合成されていると考えられています。

鉄はターニングポイント

※4 「同位元素」：同位元素とは陽子数が同じで、中性子数が異なる原子核のことをいひます。例えば炭素 12 と炭素 13 は同位元素です。

11 不安定核を介して鉄より重い元素が出来る

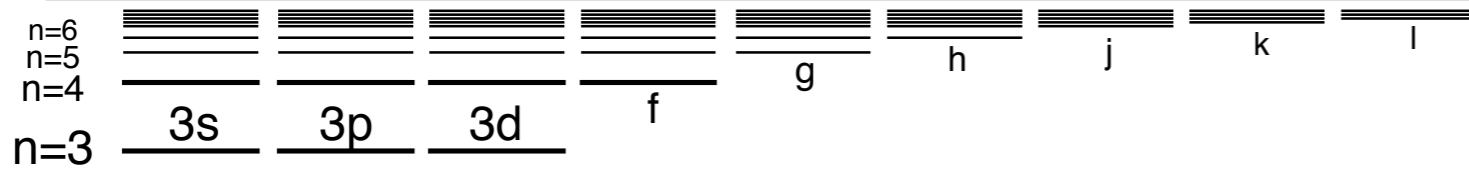
鉄までの原子核は恒星内で生まれました。鉄より重い元素はどのようにしてできたのでしょうか。これまでの研究でその半分位は超新星爆発によってできたと考えられています。この時の爆発的な元素合成の道筋が左図の青色のラインで、r 過程と呼ばれます。超新星爆発の際に発生する大量の中性子を通常の原子核が沢山取り込み、一気に重たい中性子過剰核へと変貌。途中から中性子の取り込みと中性子が陽子になる反応 (ベータ崩壊) のバランスで複雑なラインを描くことになると考えられています。爆発が落ち着き中性子の供給が止まると、ベータ崩壊によってまた谷を下るように入安定核へと変化する道筋を緑色のラインで示しました。r 過程は、この中性子過剰核を作り、それを調べる事ができます。

不安定核を介して鉄より重い元素が出来る

※5 「ハイゼンベルグ」：ドイツの理論物理学者、ヴェルナー・カール・ハイゼンベルグ。行列力学と不確定性原理によって量子力学を完成させた一人です。

連続状態 continuum

原子のエネルギー準位



電子質量 $m_e = 511 \text{ keV}$

束縛状態 bound states

離散的エネルギー準位 discrete energy levels

覚えにくい

$$-E_B = -\frac{2\pi^2 k_0^2 m_e e^4}{h^2} \frac{Z^2}{n^2} = -\frac{m_e e^4}{8 \epsilon_0^2 h^2} \frac{Z^2}{n^2}$$

$$-E_B = -hc R_\infty \frac{Z^2}{n^2} \quad R_\infty : \text{リュードベリ定数}$$

$$\hbar \equiv \frac{h}{2\pi}, \quad \alpha \equiv \frac{e^2}{4\pi\epsilon_0 \hbar c} \approx \frac{1}{137} \quad h : \text{プランク定数}$$

α : 微細構造定数

(無次元量)

$$n=1 \quad \frac{1s}{-13.6 \text{ eV}} \quad \text{(水素原子)}$$

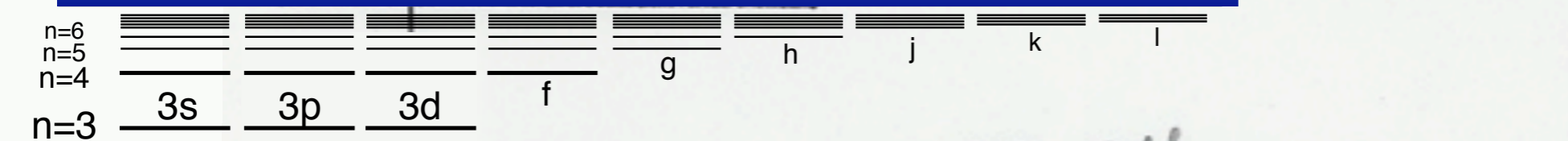
$$E_B(\text{H}) = \frac{M}{M+m} E_B$$

$$-E_B = -\frac{1}{2} m_e c^2 \alpha^2 \frac{Z^2}{n^2}$$

Z 大 $\rightarrow E_B = h\nu$ 大 : X線

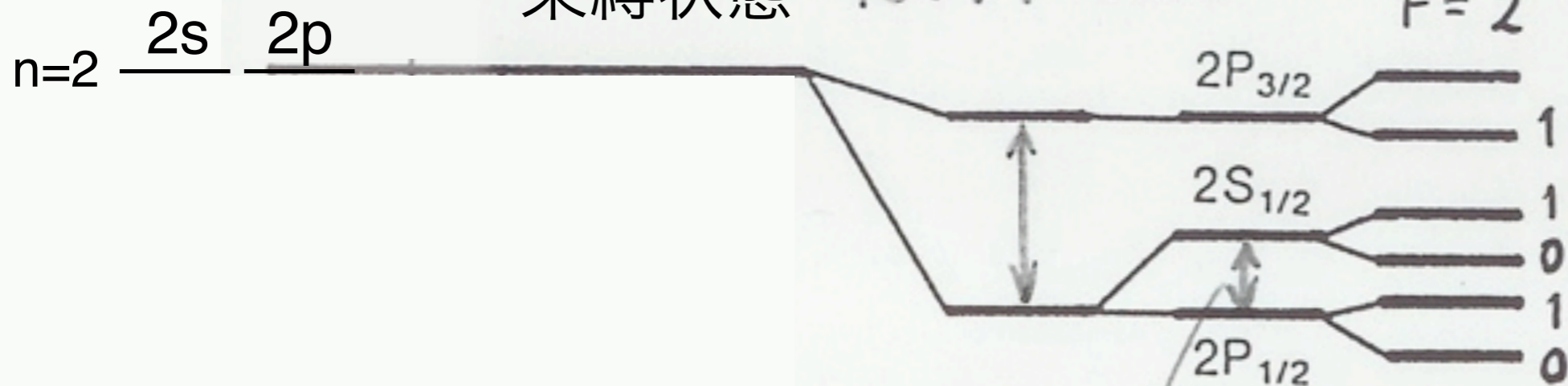
$$v_e = c \alpha \frac{Z}{n}$$

連続状態 continuum



束縛状態

10.97 GHz



↕ 24 MHz

↕ 178 MHz

↕ 59 MHz

1.06 GHz

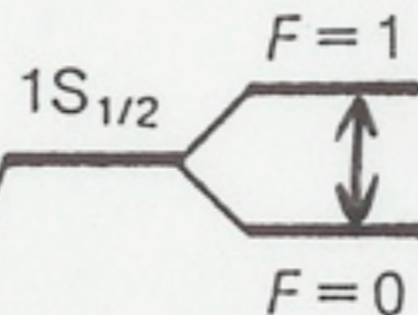
n=1 1s -13.6 eV

Bohr

Dirac

Lamb

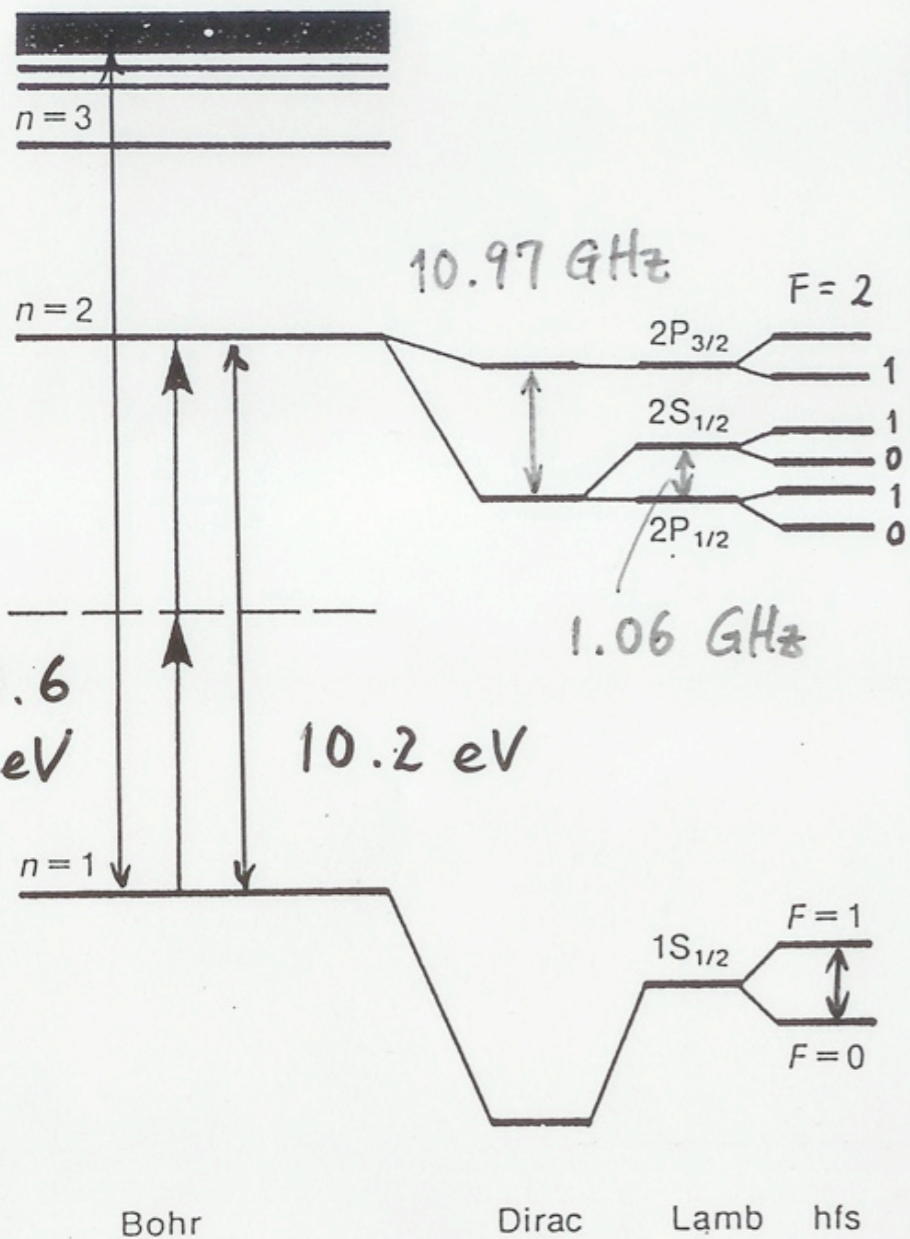
HFS



1.42 GHz

水素原子
氢原子

HYDROGEN



$$\frac{97492}{\text{cm}^{-1}}$$

$$\frac{82259.279}{\text{cm}^{-1}}$$

$$\frac{82258.949}{\text{cm}^{-1}}$$

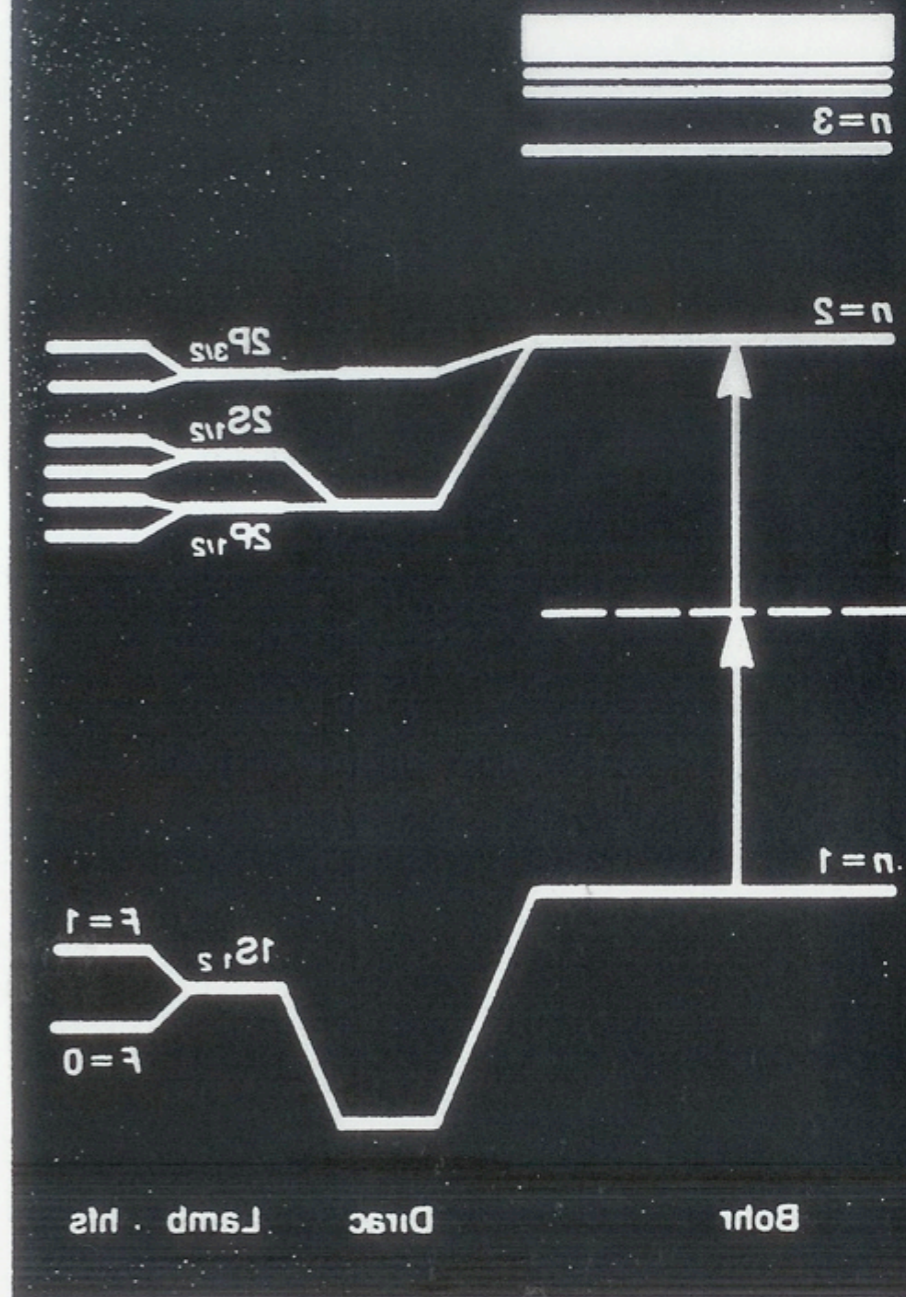
$$\frac{82258.913}{\text{cm}^{-1}}$$

\updownarrow 24 MHz
 \updownarrow 178 MHz
 \updownarrow 59 MHz

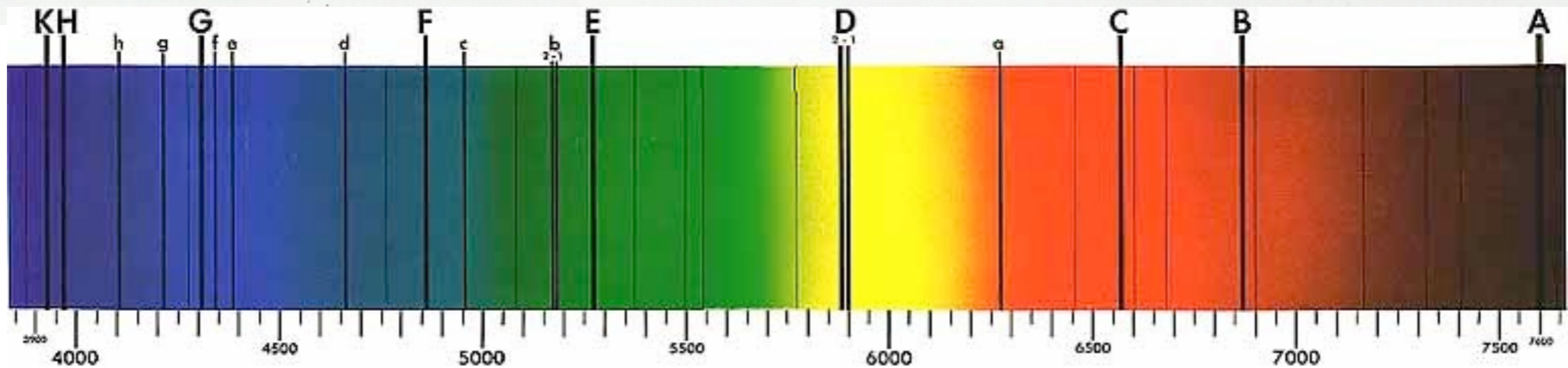
1.42 GHz

0.000

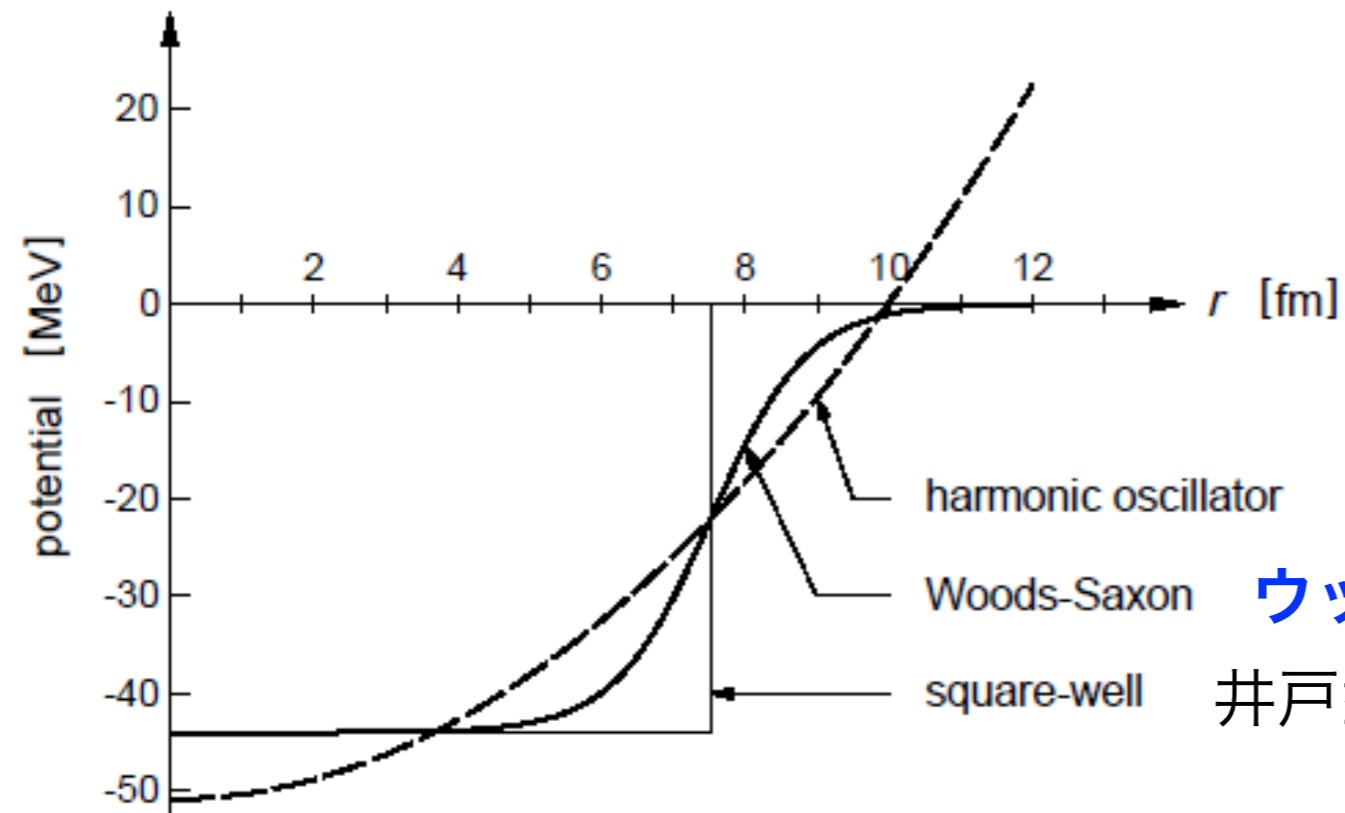
АНТИДРОГЕН



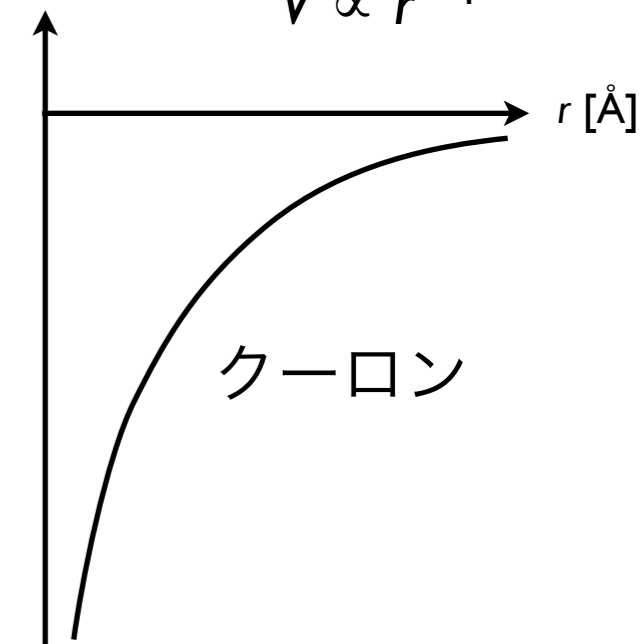
Bohr Dirac Lamb hfs



原子核のポテンシャル



cf. 原子のポテンシャルは
 $V \propto r^{-1}$



原子核の大きさは $r = 1.2 A^{1/3} \text{ fm}$ ($1 \text{ fm} = 10^{-15} \text{ m}$)

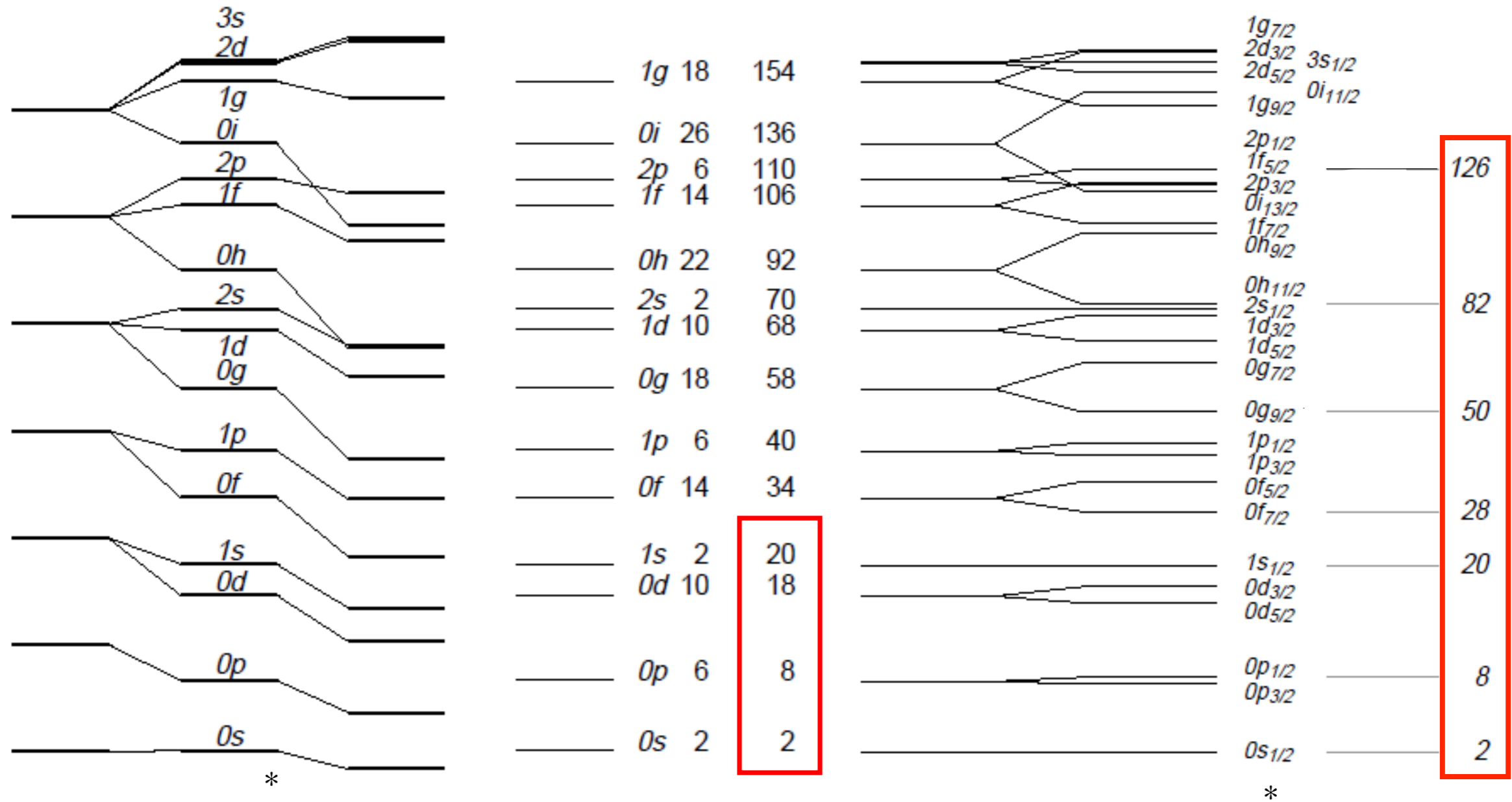
原子核は密度一定 (密度の飽和性)

核力 = 「強い相互作用」 “**Strong Interaction**”

力の到達距離は核子のサイズ

β 壊変 : 「弱い相互作用」 “**Weak Interaction**”

原子核構造の殻模型 Shell model



魔法数

magic number

+ スピン軌道結合

(実際の原子核では準位の順番が少し異なる)

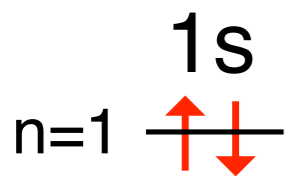
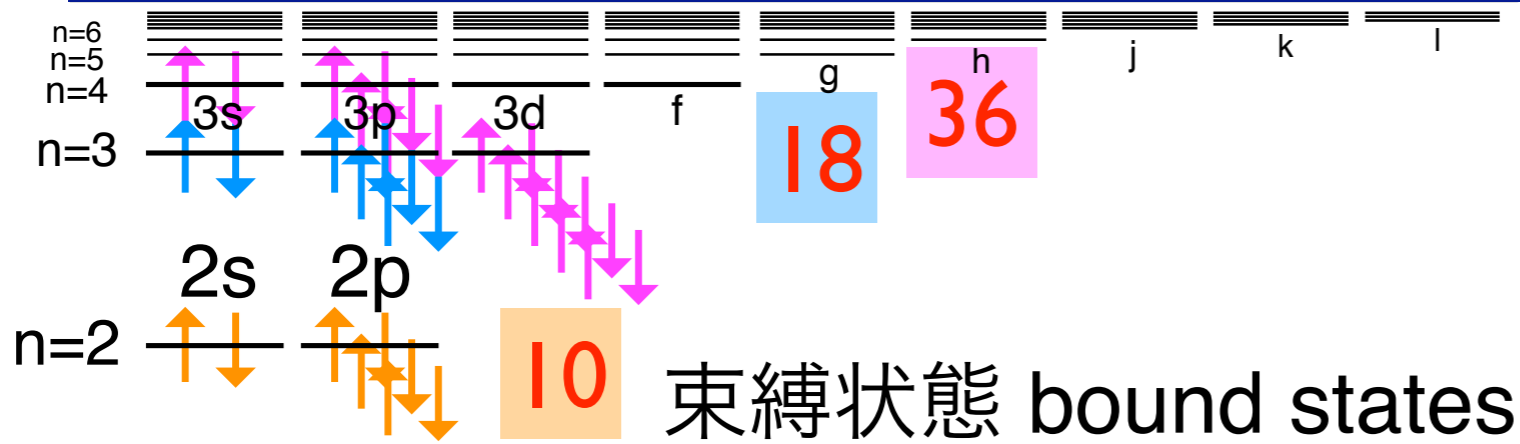
調和振動子 ウッズ・サクソン型
ウッズ・サクソン型

ウッズ・サクソン型ポテンシャル

(*) 主量子数はこの図より1つ大きく取る場合の方が一般的

原子のエネルギー準位

連続状態 continuum



2

魔法数
magic number

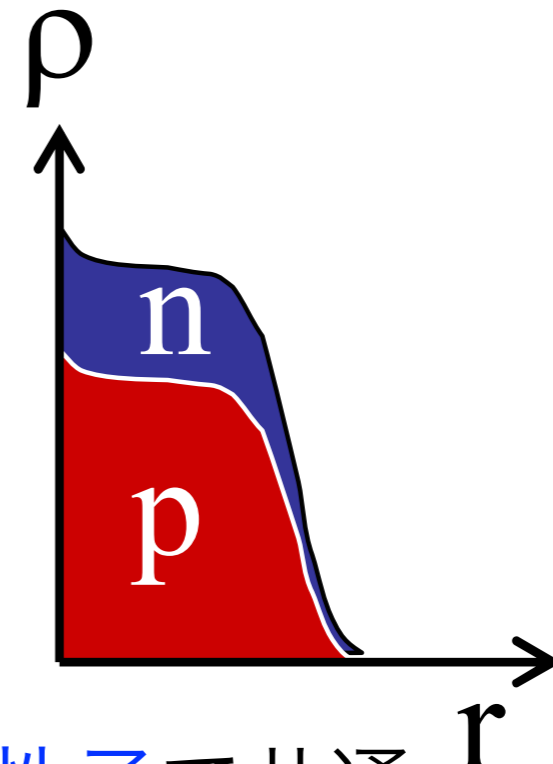
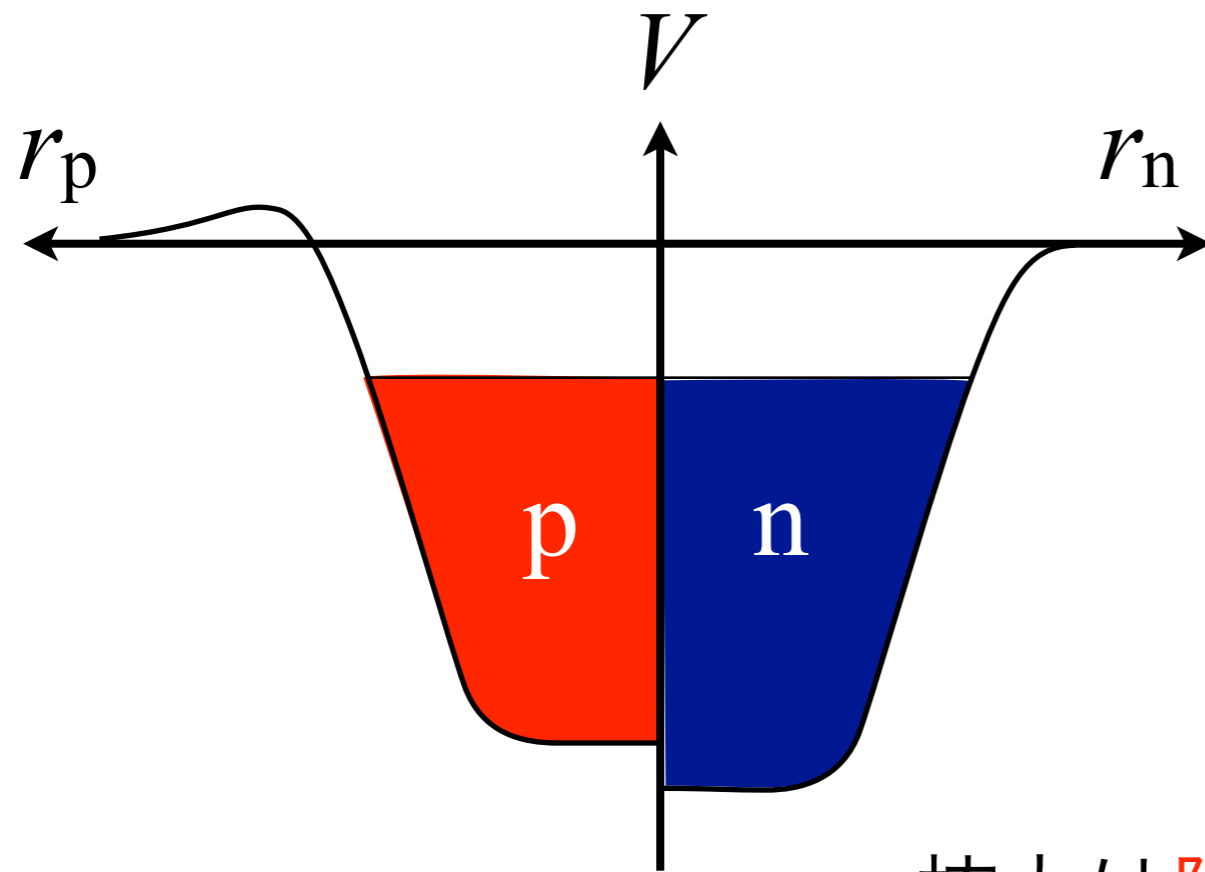
閉殻
closed shell

魔法数	電子配置	元素
2	1s ²	He
10	1s ² 2s ² 2p ⁶	Ne
18	[Ne] 3s ² 3p ⁶	Ar
36	[Ar] 4s ² 3d ¹⁰ 4p ⁶	Kr
54	[Kr] 5s ² 4d ¹⁰ 5p ⁶	Xe
86	[Xe] 6s ² 4f ¹⁴ 5d ¹⁰ 6p ⁶	Rn

貴ガス

原子核のポテンシャル

密度分布



核力は陽子と中性子で共通

陽子のポテンシャルは

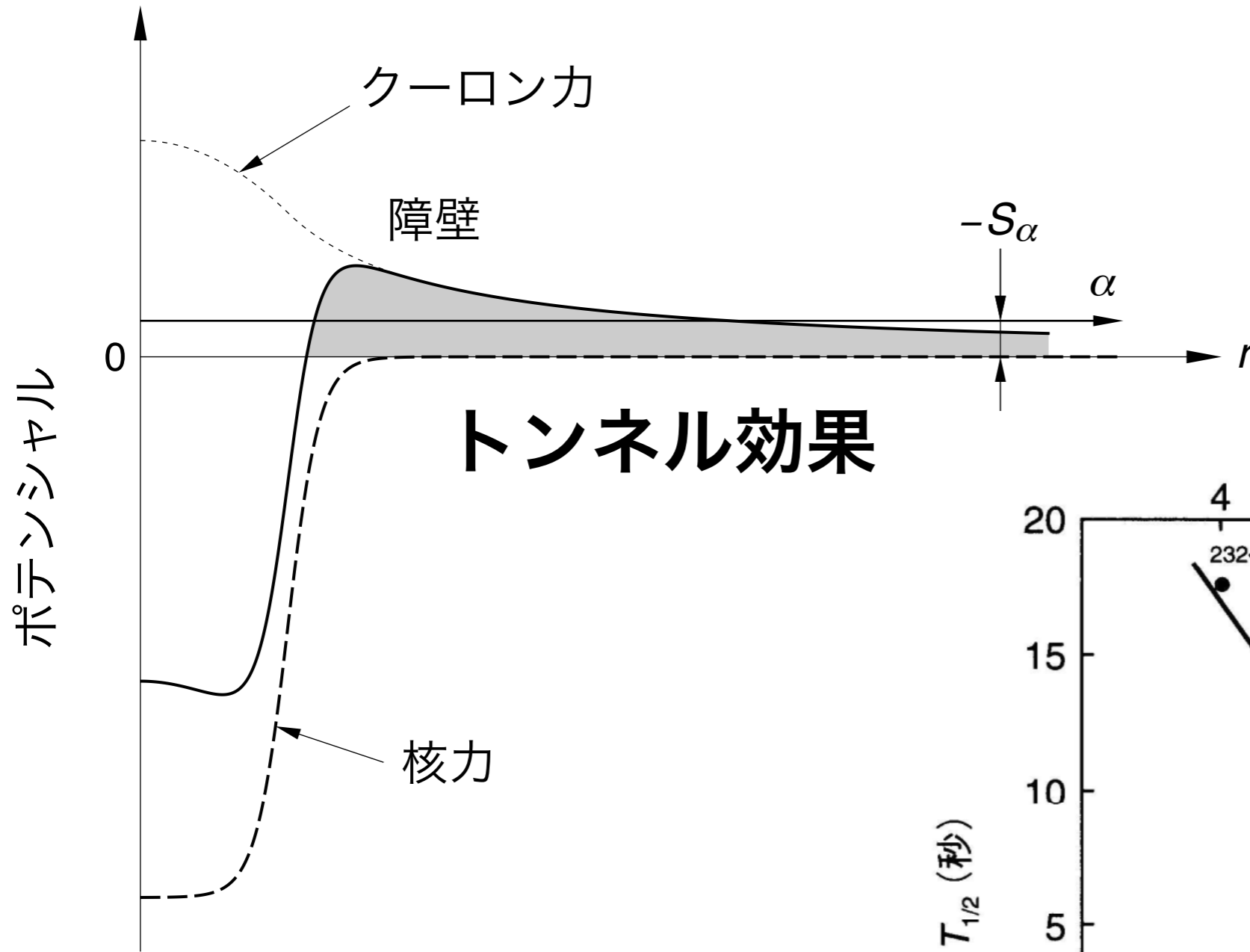
クーロン反発により上昇。 $\propto Z^2 / A^{1/3}$

(特に重い原子核で) 中性子の方が数多く入る。

陽子数も中性子数も魔法数となる (二重閉殻、double magic)

原子核は特に安定。 e.g. ${}^4_2\text{He}_2$ ${}^{16}_8\text{O}_8$ ${}^{40}_{20}\text{Ca}_{20}$ ${}^{48}_{20}\text{Ca}_{28}$ ${}^{208}_{82}\text{Pb}_{126}$

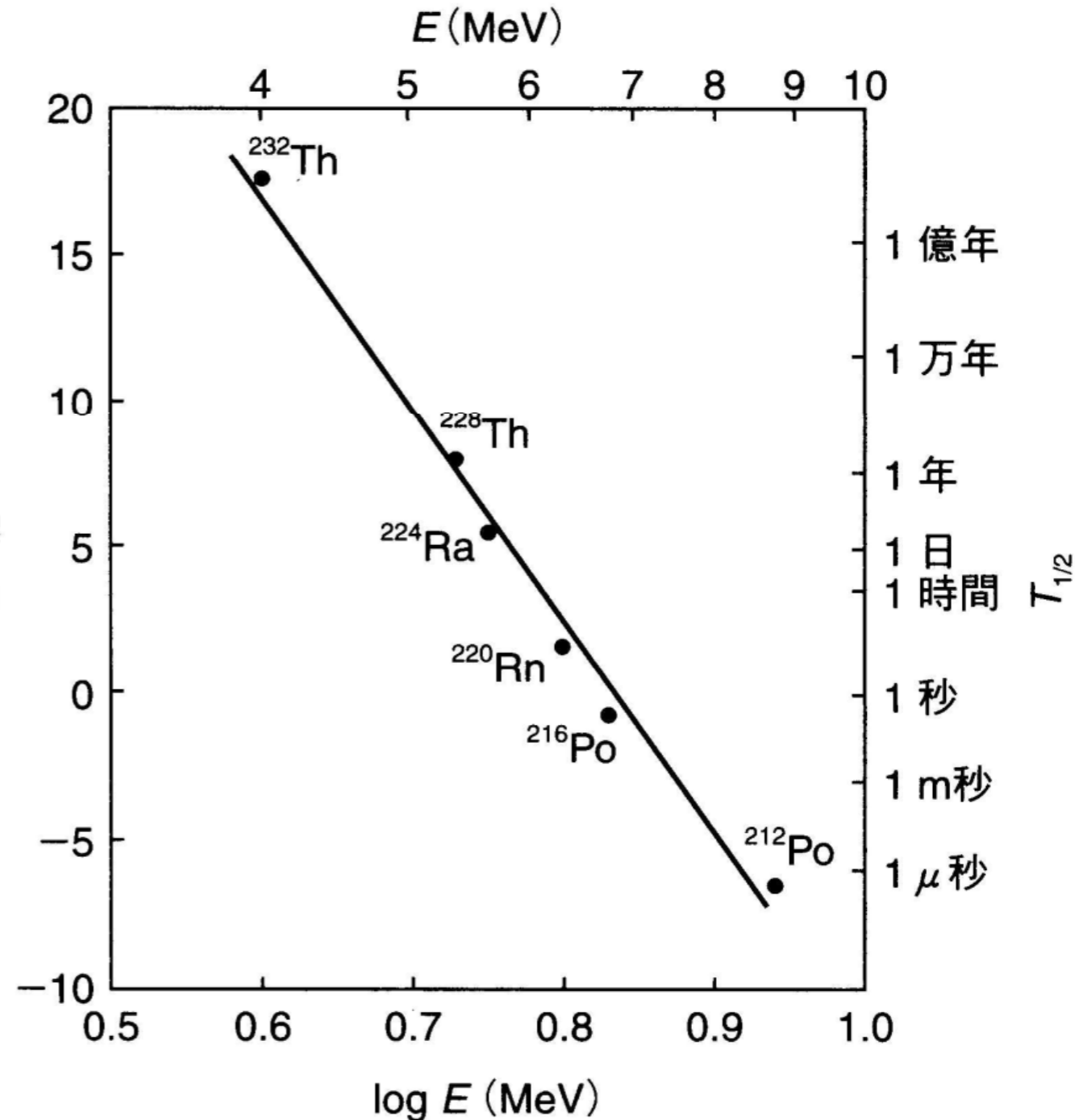
α 壊変 (崩壊)



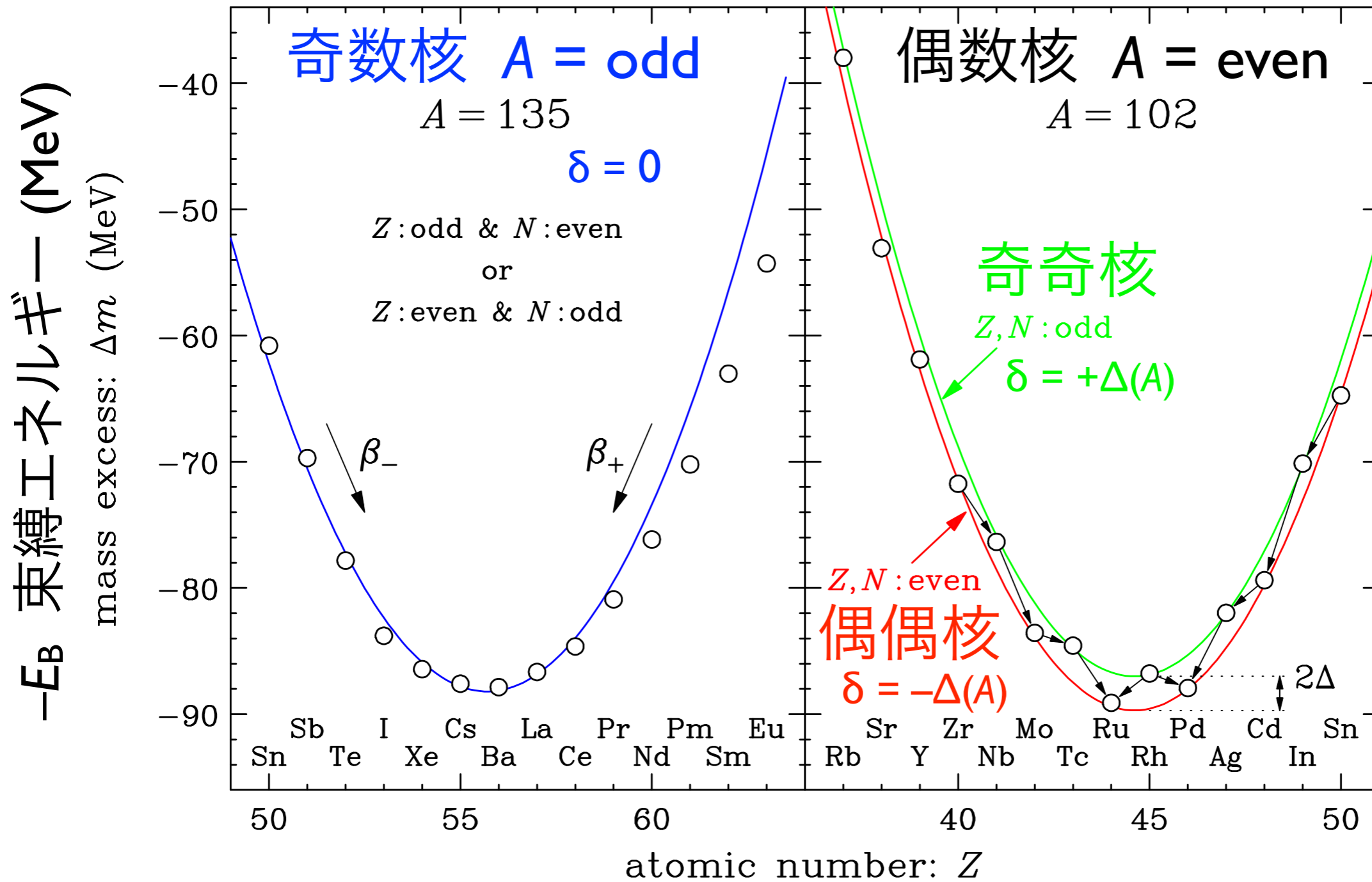
トンネル効果

Geiger-Nuttall law Gamow's theory

^{232}Th の壊変に伴って生じる α 放出核種の半減期 $T_{1/2}$ と α 線の最大エネルギー E の関係。縦軸、横軸とも二つの表示単位で示されている



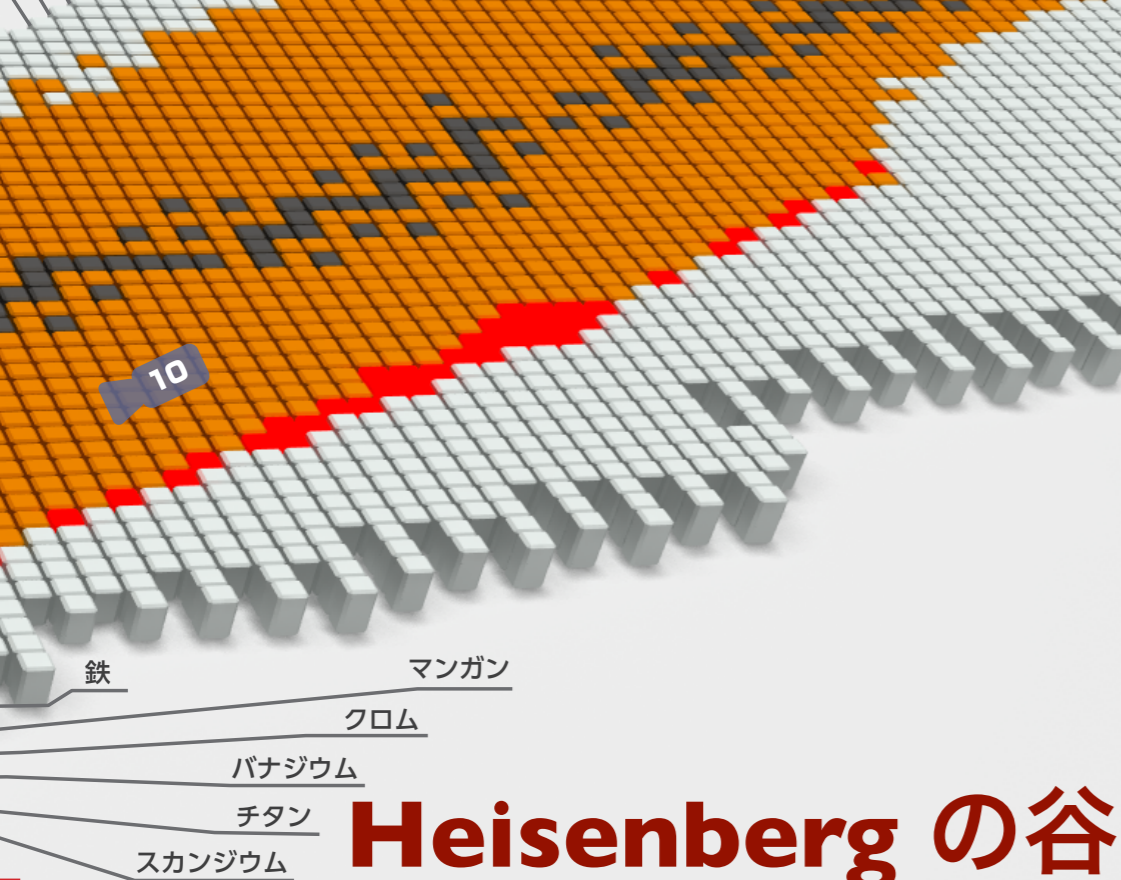
原子核束縛エネルギーの偶奇依存性



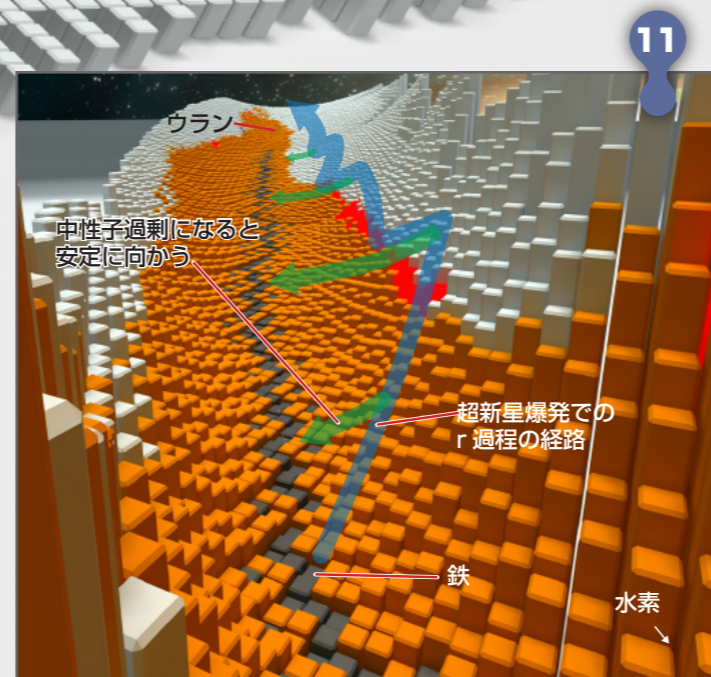
$$-E_B = \dots + \frac{a_a}{4} (N - Z)^2 / A + \delta$$

対称エネルギー

対エネルギー



Heisenberg の谷



不安定核を介して鉄より重い元素が出来る

鉄までの原子核は恒星内で生まれました。鉄より重い元素はどのようにしてできたのでしょうか。これまでの研究でその半分位は超新星爆発によってできたと考えられています。この時の爆発的な元素合成の道筋が左図の青色のラインで、r過程と呼ばれます。超新星爆発の際に発生する大量の中性子を通常の原子核が沢山取り込み、一気に重たい中性子過剰核へと変貌。途中から中性子の取り込みと中性子が陽子になる反応（ベータ崩壊）のバランスで複雑なラインを描くことになると考えられています。爆発が落ち着き中性子の供給が止まると、ベータ崩壊によってまさに谷を下るように安定核へと変化する道筋を緑色のラインで示しました。RIBF^{*8}ではこの中性子過剰核を作り、それを調べる事ができます。

安定の島

来、超重原子核は非常に不安定ですが、理論的にような離れた位置に安定核が存在するかもしれない。このあたりに魔法数が存在すると思われているからです。周りは全て不安定原子核の海のことから、安定の島と呼ばれています。

再び安定した原子核が現れるかもしれない！

ウラン^{235,238} (最も重い安定核)

9 日本史上初の元素発見「113番元素」

原子核の構成要素
● 中性子
● 陽子

総研加速器リアクト (RIAC) からのビーム
入射粒子 原子番号30番 亜鉛
標的核 原子番号83番 ビスマス
核反応
励起状態 (高温の複合核) $^{294}113^*$
中性子を放出して冷却
基底状態の核 (目的核種) $^{294}113$
アルファ崩壊
目的核種の娘核 $^{290}111$

時間経過

仁科センターの森田浩介研究员らのグループは世界でこれまで未確認だった新しい113番元素の発見に成功しました。新元素の発見は、目的とする原子核のできる確率が極端に小さいためとても困難で、世界中でその発見を競っています。113番元素の場合、亜鉛とビスマスの原子核同士を100兆回も衝突させる必要がありました。この発見により、日本で初めて元素の名前を付ける権利を得ることができそうです。

10 鉄はターニングポイント

核図表で最も安定した元素は鉄56です。したがって鉄は谷の中で最も低い位置にあります。宇宙での元素合成は水素・ヘリウムを材料としてまずは恒星内の核融合反応によって進みます。あたかも山の頂にあるような水素から鉄までは谷を下るように合成されるのです。しかし鉄より先は登りですから、何らかの力を借りる必要があります。その一つとして超新星爆発の力を借りて谷を登るように合成されていたと考えられています。

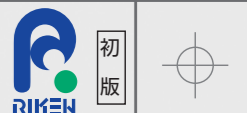
(※大きな核図表は紙面の都合で谷のスケールを低く調整しており、一方この核図表は一般的な「ハイゼンベルクの谷」を表現しています。)

などのように半減期が地球の年齢よりも長
ったときに失われるエネルギーを結合エネ

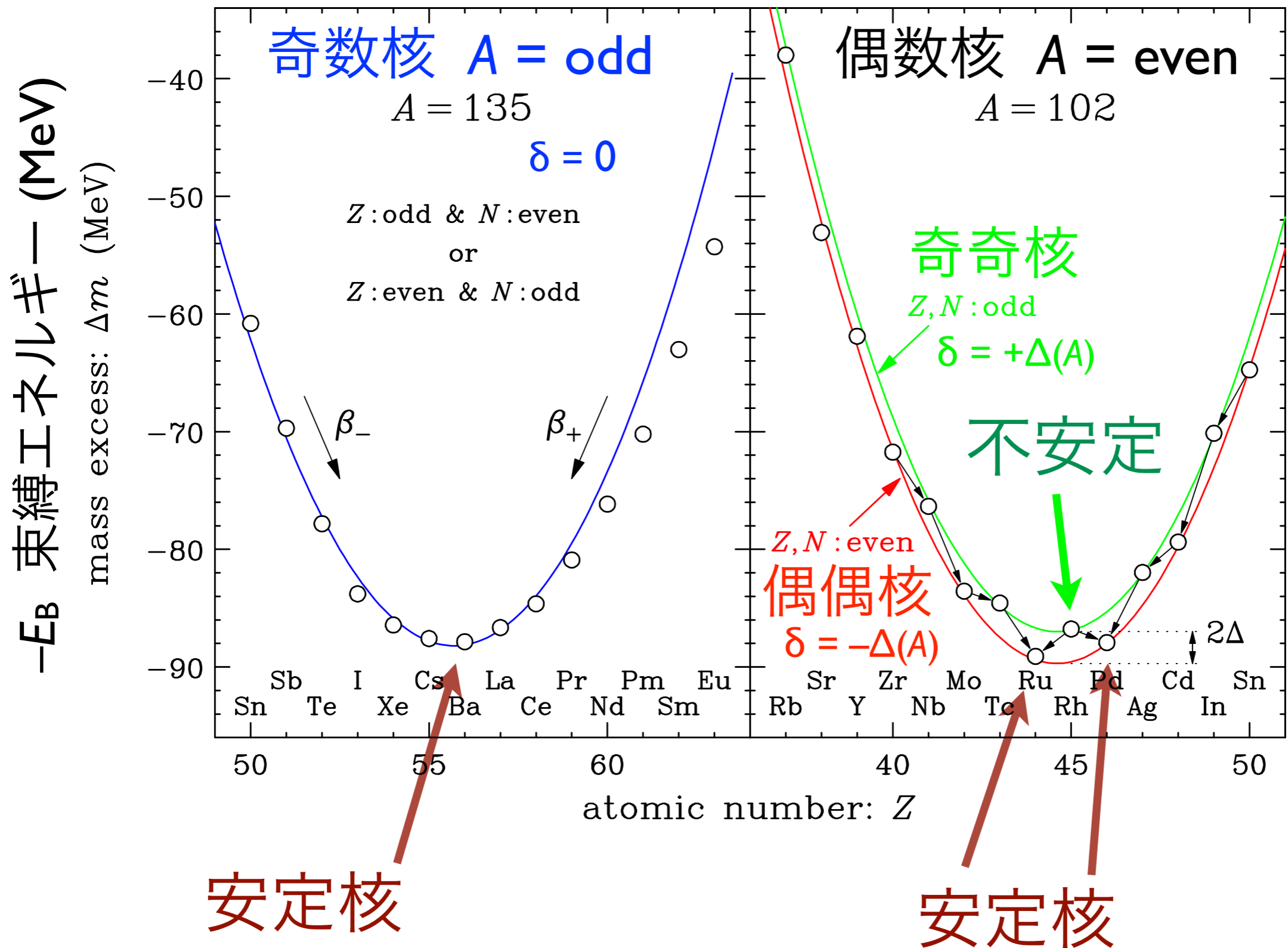
ルギーと言います。低い所にある原子核ほど失ったエネルギーが大きく壊れにくい、つまり安定になります。
*8 「RIBF」：RIビームファクトリー。理研仁科加速器研究センターの日本を代表する原子核研究施設の総称。



監修：理化学研究所 仁科加速器研究センター
URL：http://www.nishina.riken.jp/
この表は2012年7月現在のものです。
改訂版などの情報は上記サイトよりご確認ください。



原子核束縛エネルギーの偶奇依存性

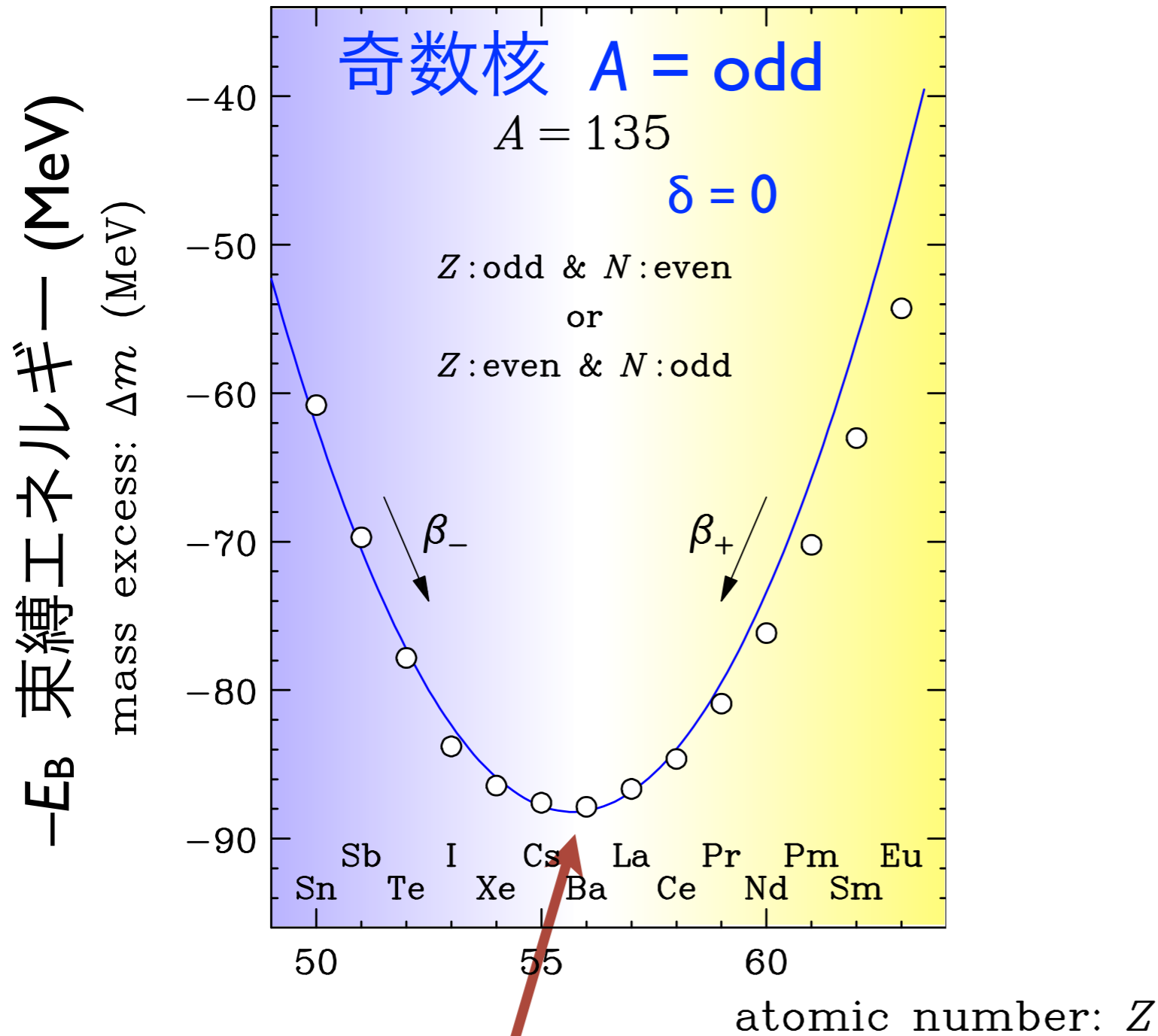


安定核

安定核

安定核の 60% は偶偶核。安定な奇奇核は 4 つのみ。 ${}^2_1\text{H}_1$ ${}^6_3\text{Li}_3$ ${}^{10}_5\text{Be}_5$ ${}^{14}_7\text{N}_7$

原子核束縛エネルギーの偶奇依存性

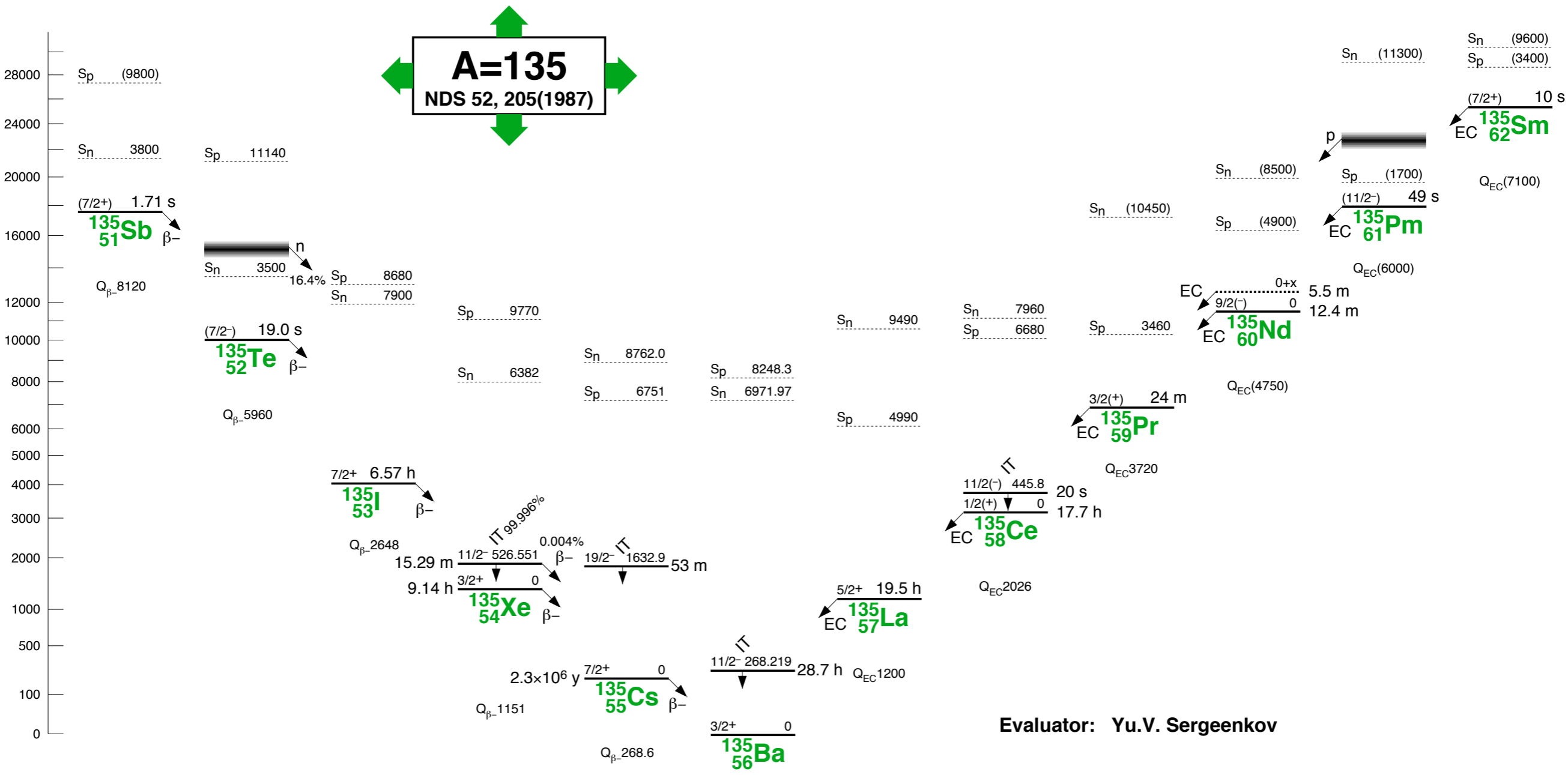


安定核



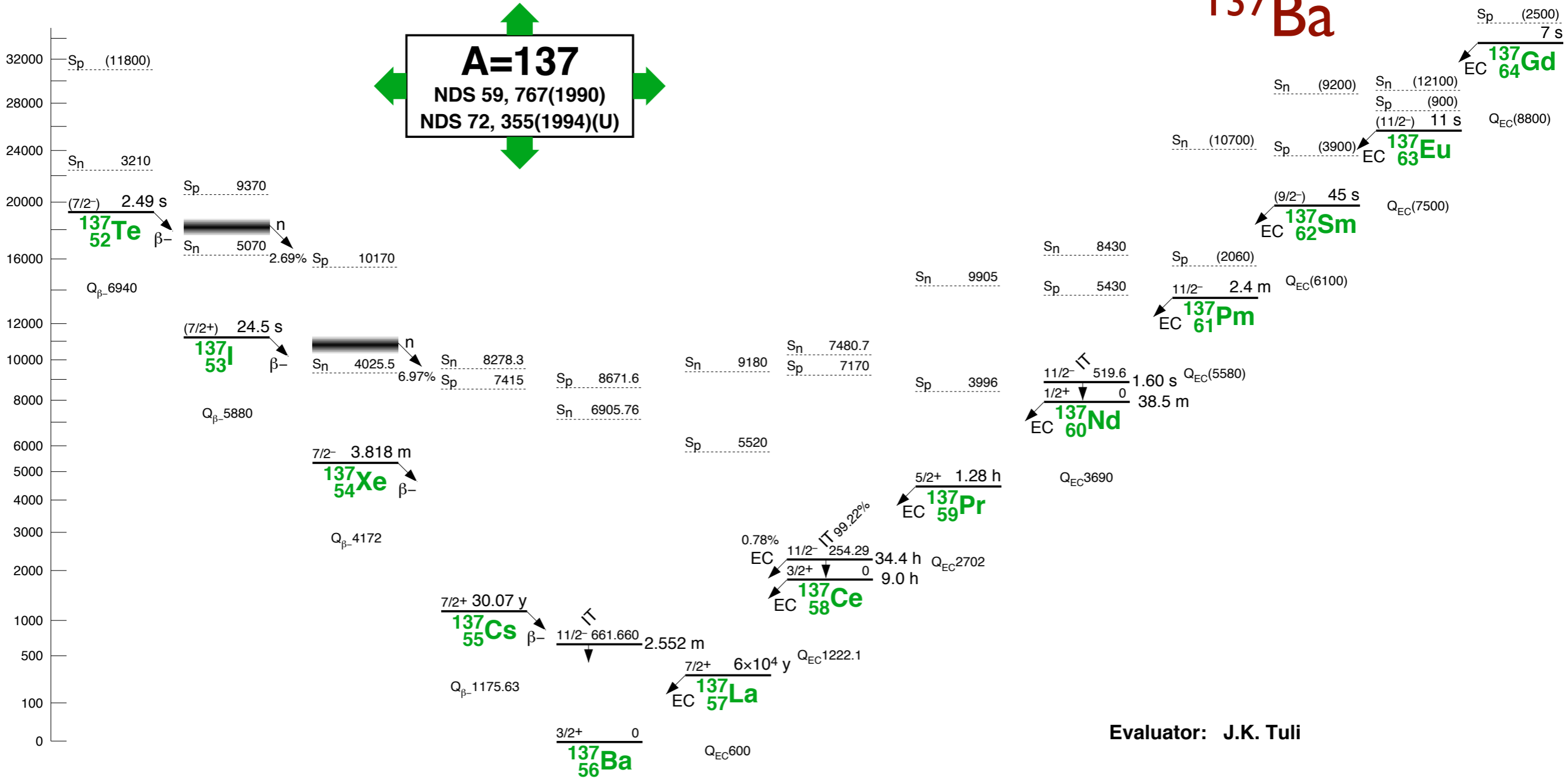
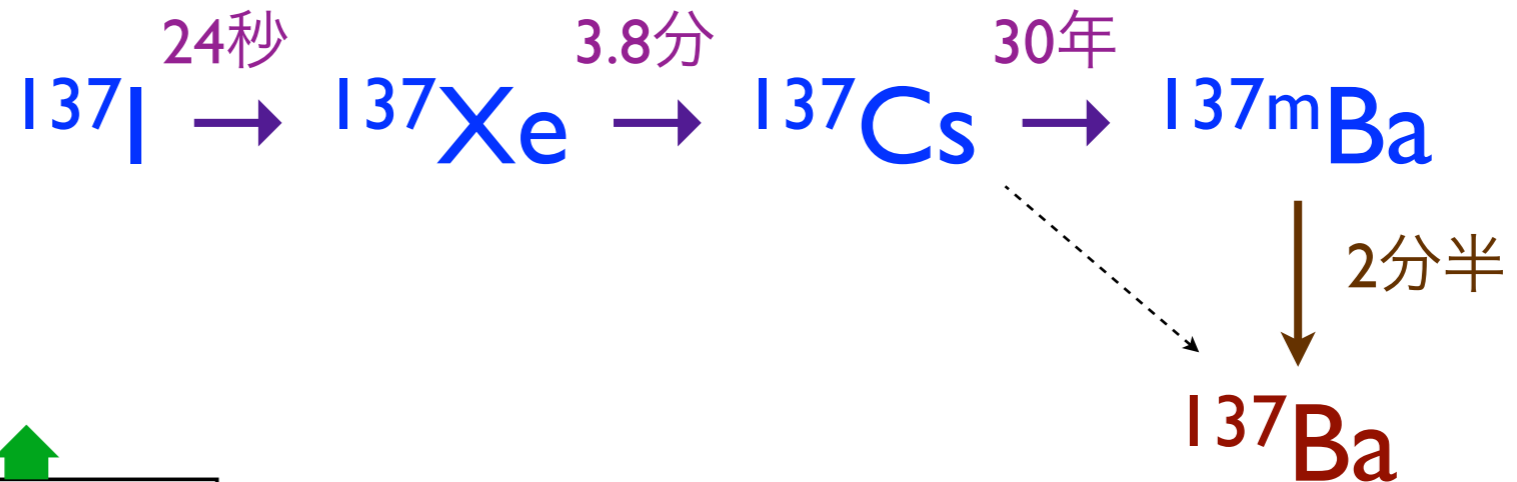
原子炉内では $^{135}\text{Xe} + n \rightarrow ^{136}\text{Xe}$ (中性子捕獲反応)

中性子過剰核は β^- 壊変 (崩壊) を繰り返しながら 安定核までたどり着く。

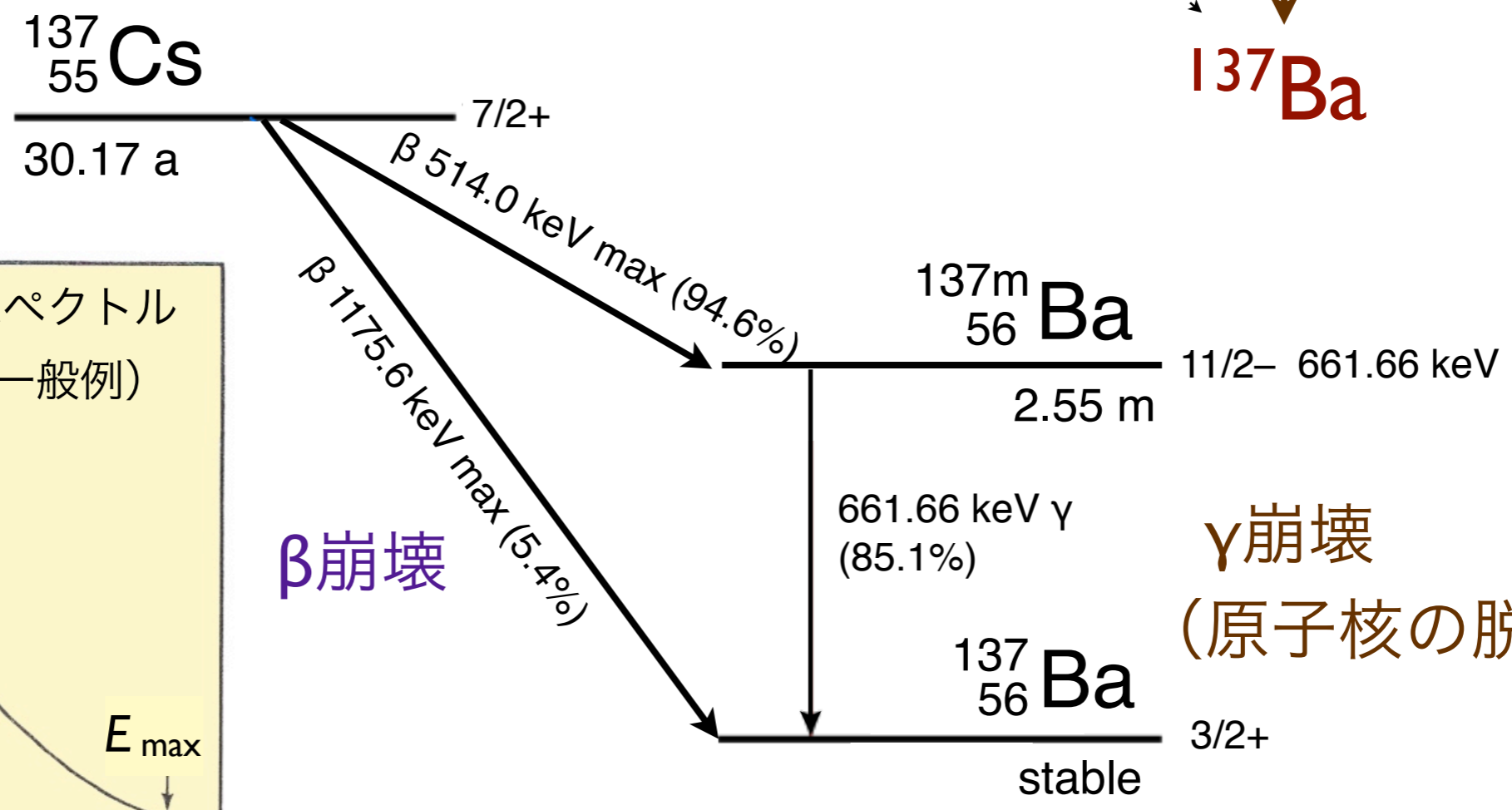


原子炉内では $^{135}\text{Xe} + n \rightarrow ^{136}\text{Xe}$ (中性子捕獲反応)

中性子過剰核は β^- 壊変 (崩壊) を繰り返しながら 安定核までたどり着く。

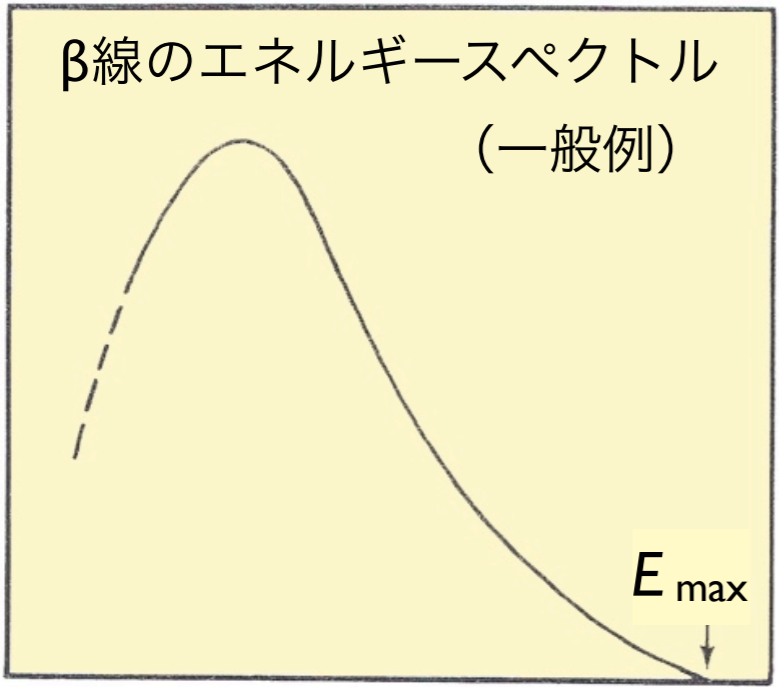


中性子過剰核は β^- 壊変 (崩壊) を繰り返しながら 安定核までたどり着く。



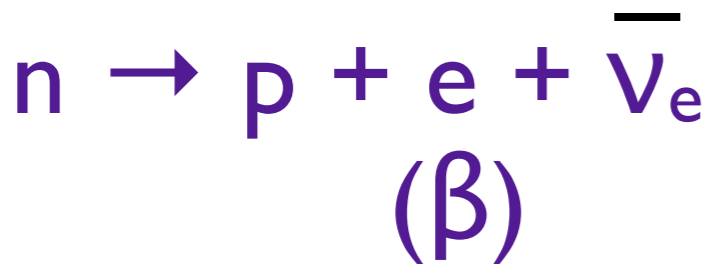
γ 崩壊
(原子核の脱励起)

粒子数の分布

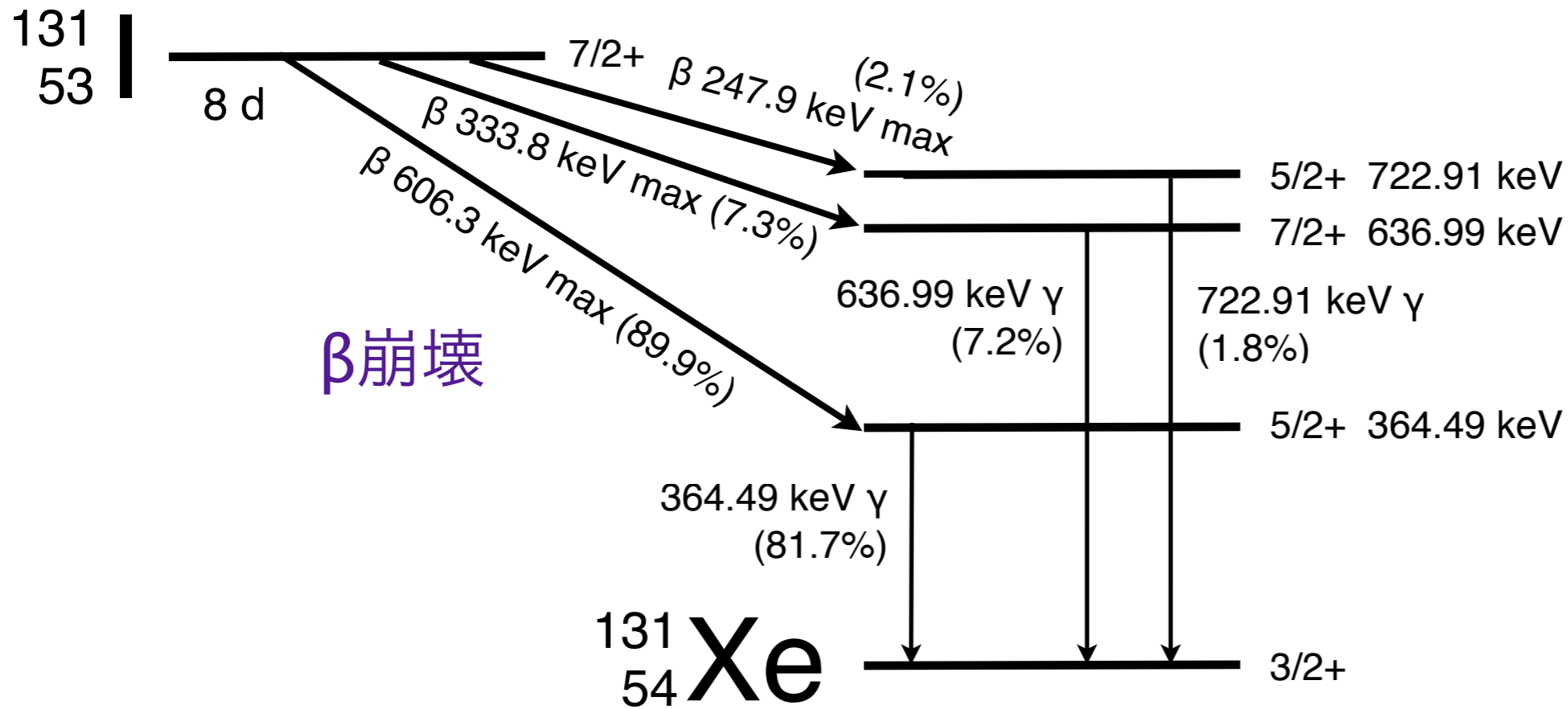
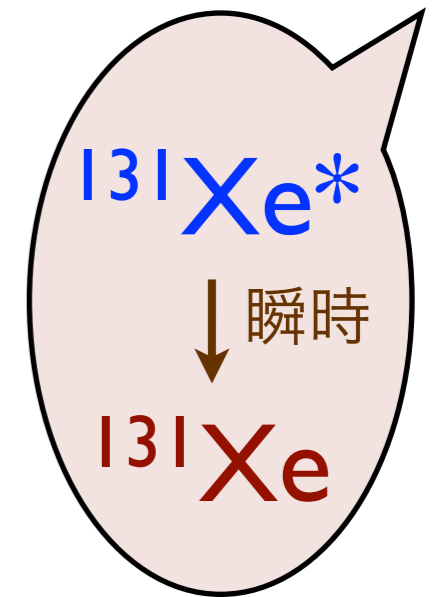
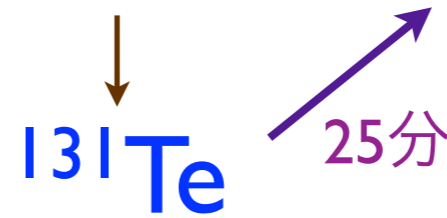


エネルギー E_{β}

β 線 (連続スペクトル)

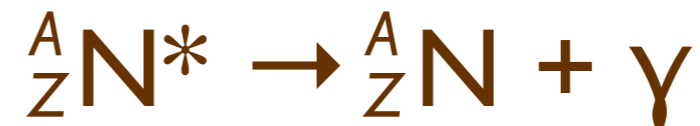


γ 線 (定まったエネルギー)



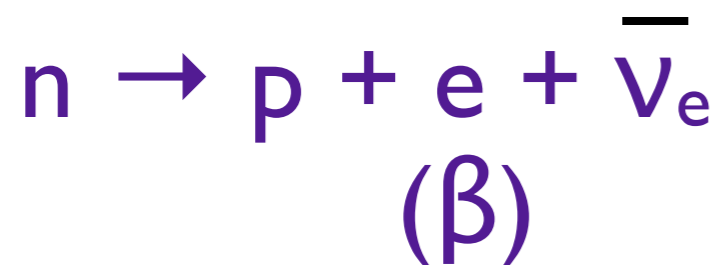
β崩壊

γ線：原子核の脱励起

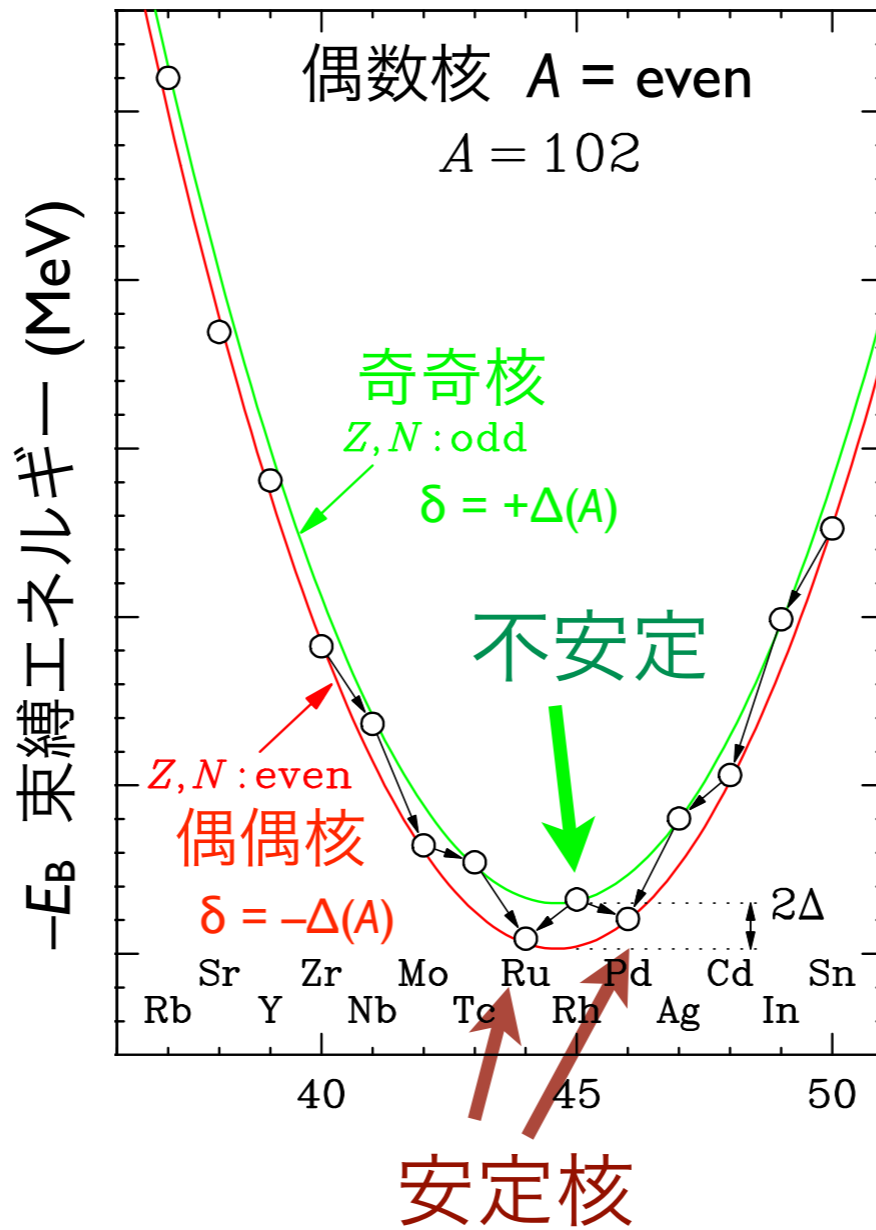
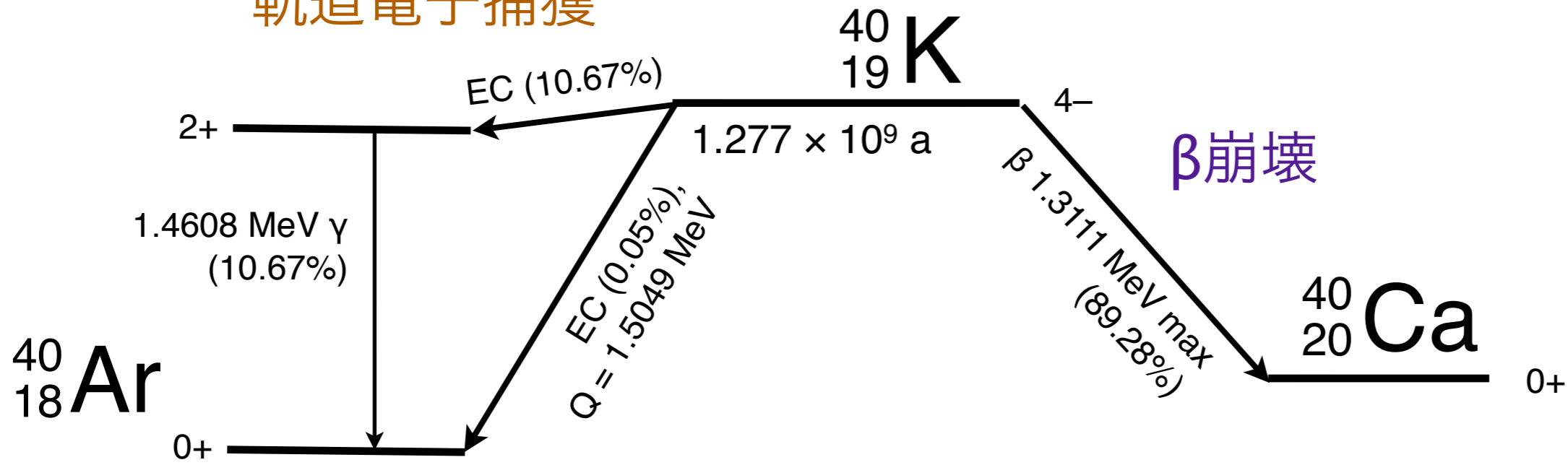


γ線（定まったエネルギー）

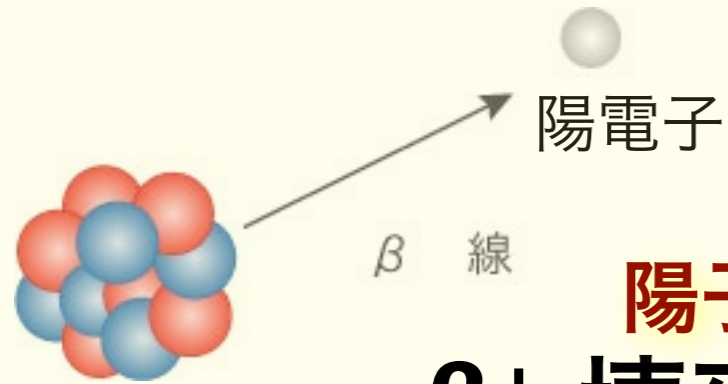
β線（連続スペクトル）



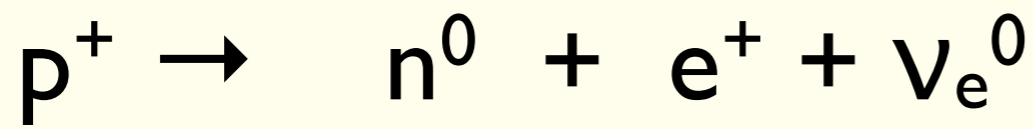
軌道電子捕獲



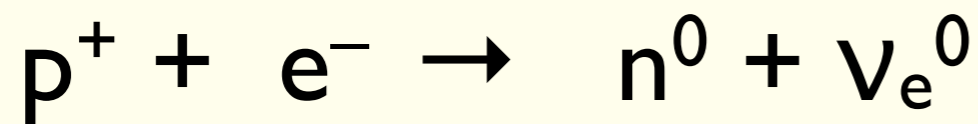
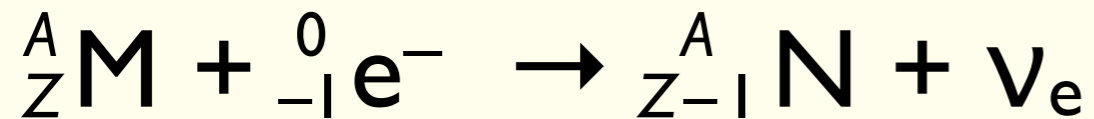
100 keV ~ MeV



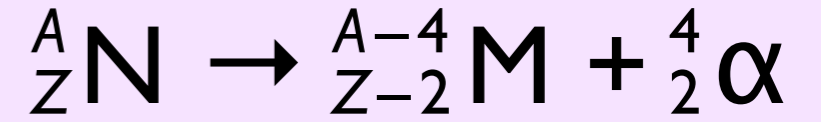
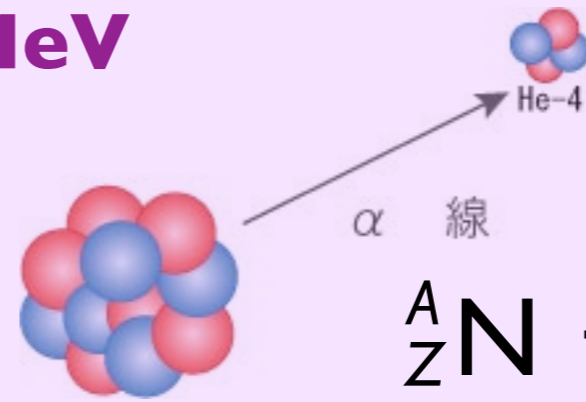
陽子過剩核
β⁺ 壞變 (崩壞)



軌道電子捕獲 (EC)

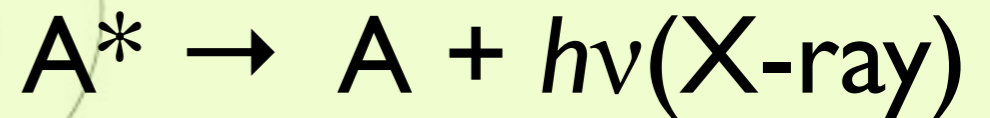
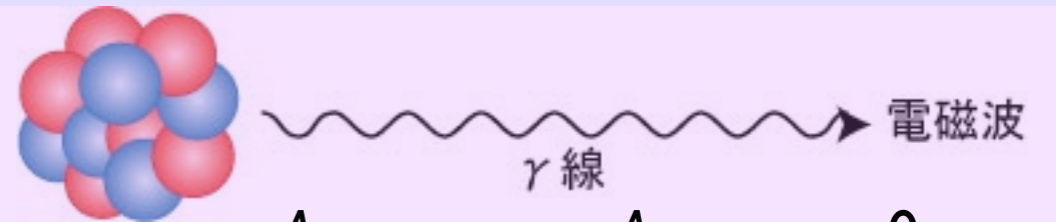
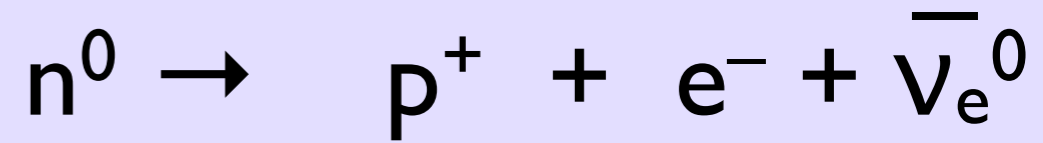
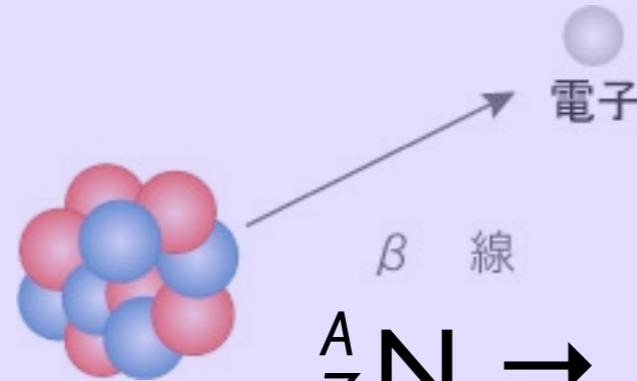


原子核 N



中性子過剩核

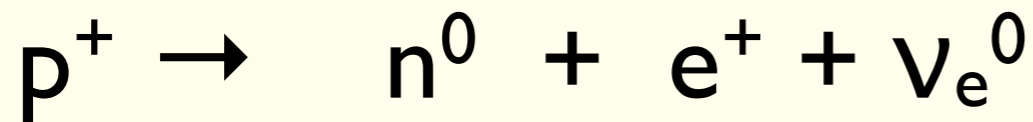
β⁻ 壞變 (崩壞)



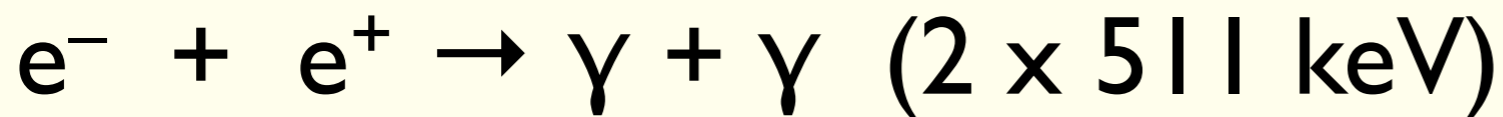
原子 A 10 ~ 100 keV

連続スペクトル
(エネルギー分布)

β^+ 壊変 (崩壊)

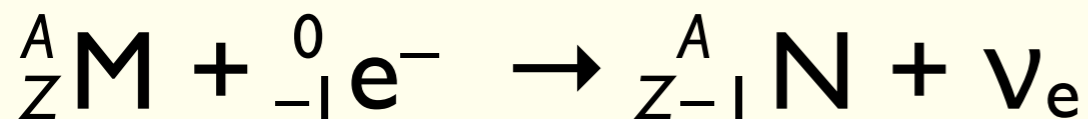


陽電子消滅

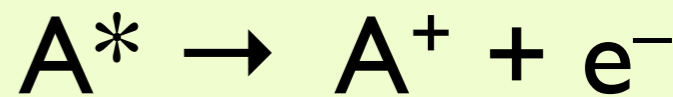
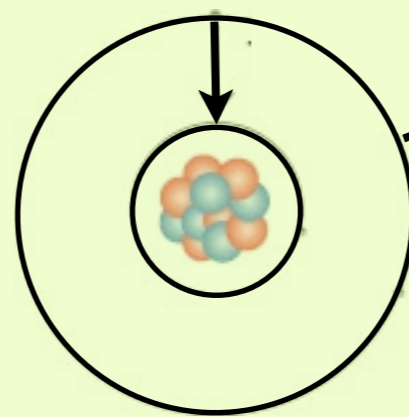
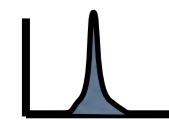
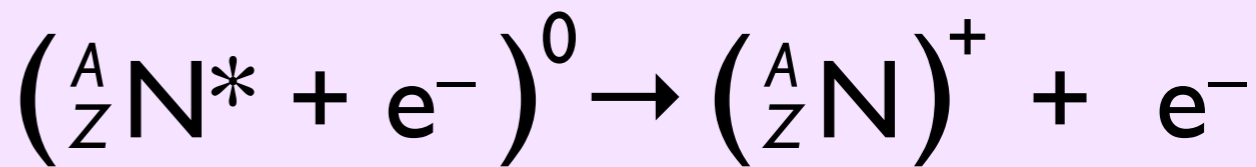
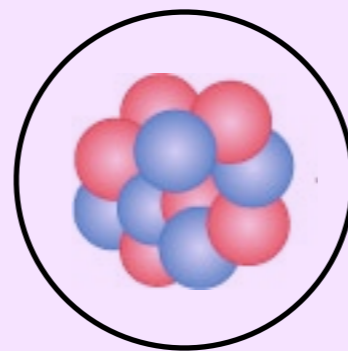


線スペクトル
(定まったエネルギー)

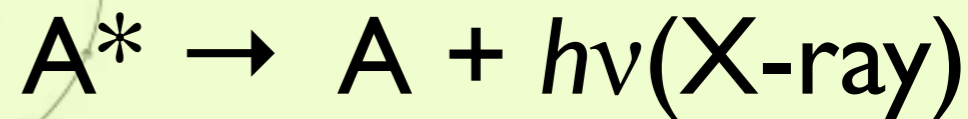
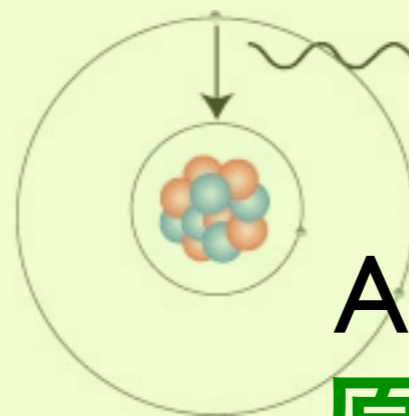
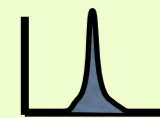
軌道電子捕獲 (EC)



内部転換 (IC)



Auger 電子

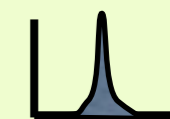


原子 A 10 ~ 100 keV

X線

電磁波

特性X線



PET (Positron Emission Tomography) 陽電子断層撮影法

組織の”はたらき”を知る

^{18}F -FDG (fluorodeoxy glucose), $^{15}\text{O}_2$, H_2^{15}O



放射線医療：診断

e^+



陽電子 positron

電子 electron



e^-

^{11}C , ^{13}N ,
 ^{15}O , ^{18}F

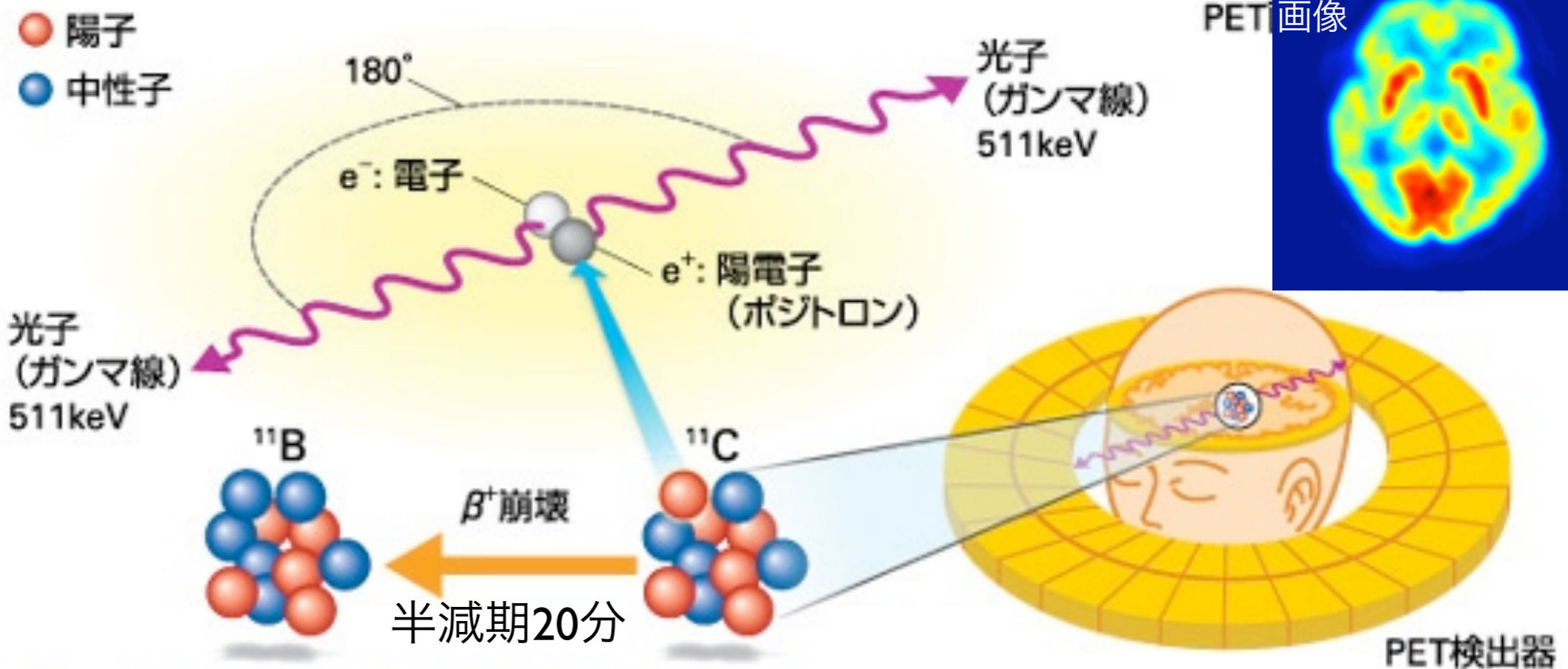
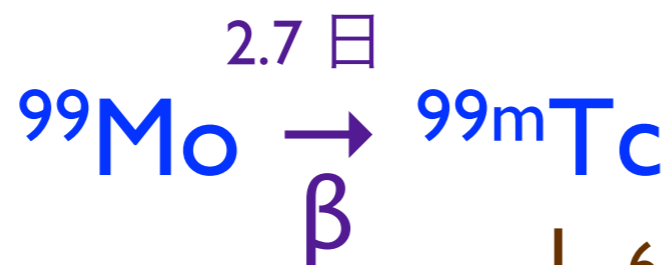


図1 PET (陽電子放射断層画像撮影法) の仕組み

調べたい分子に陽電子を放出する放射性核種を付け、静脈注射によって投与する。例えば、炭素11 (^{11}C) はホウ素11 (^{11}B) に崩壊するとき、陽電子を1個放出する。その陽電子が近くにある電子と衝突し、両方向にガンマ線が放出される。検出器がガンマ線をとらえることで断層画像が得られ、分子がどこに、どれだけ存在しているのかを知ることができる。

海外の研究用原子炉
で生成・空輸



核医学検査
(投与)



安定同位体が存在しない元素

幻のニッポニウム (小川正孝)
テクネチウム ${}_{43}\text{Tc}$
プロメチウム ${}_{61}\text{Pm}$

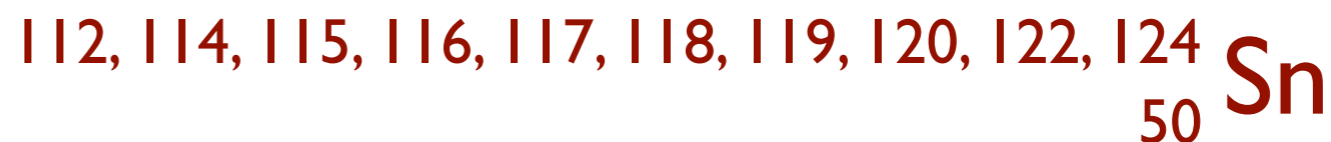
ビスマス ${}_{83}\text{Bi}$ 以上の原子番号の元素

安定同位体が 1 つだけの元素



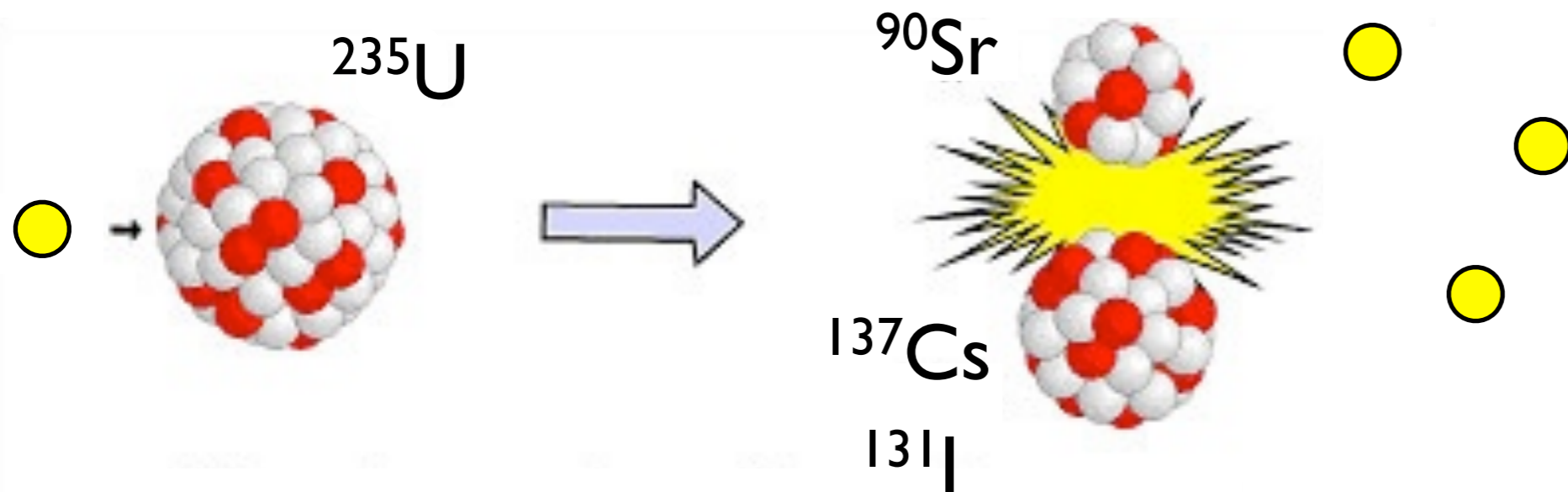
${}_{55}^{133}\text{Cs}$ ${}_{79}^{197}\text{Au}$ など 26 元素

安定同位体が多数



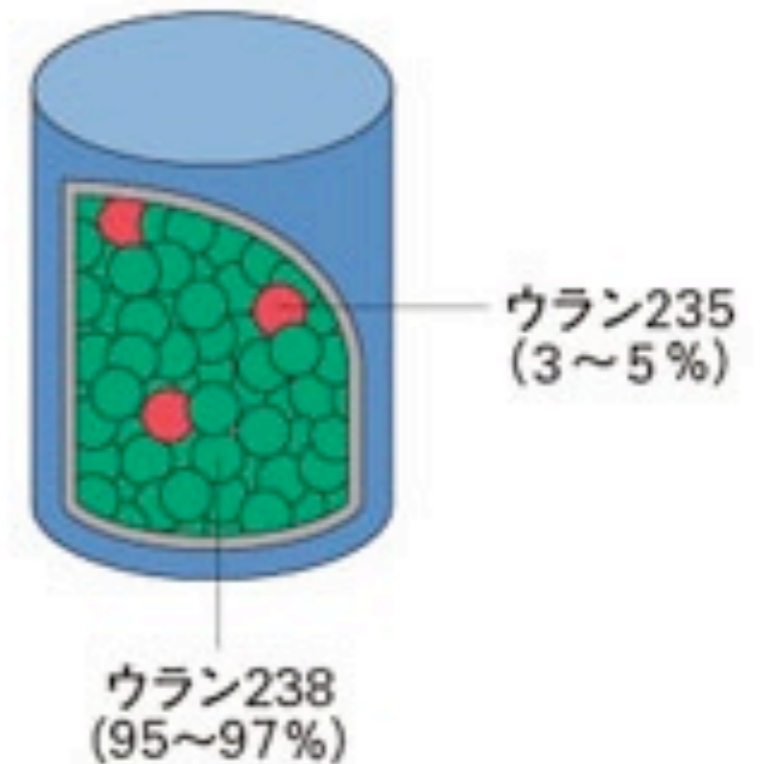
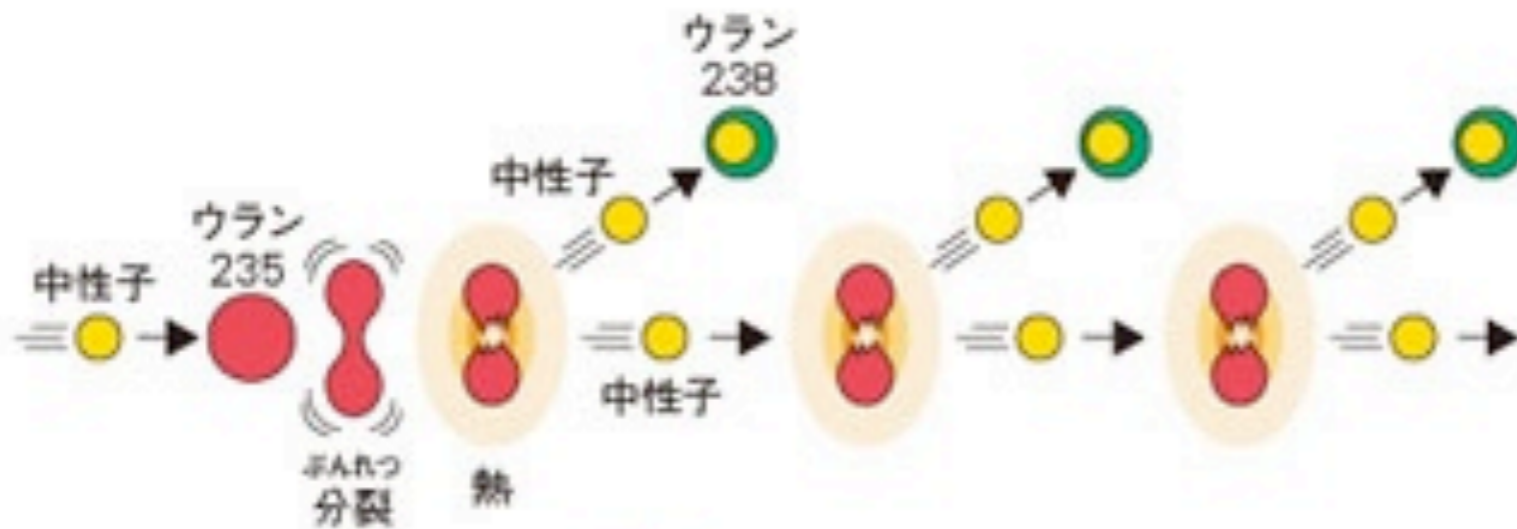
原子力工学

原子核分裂反応



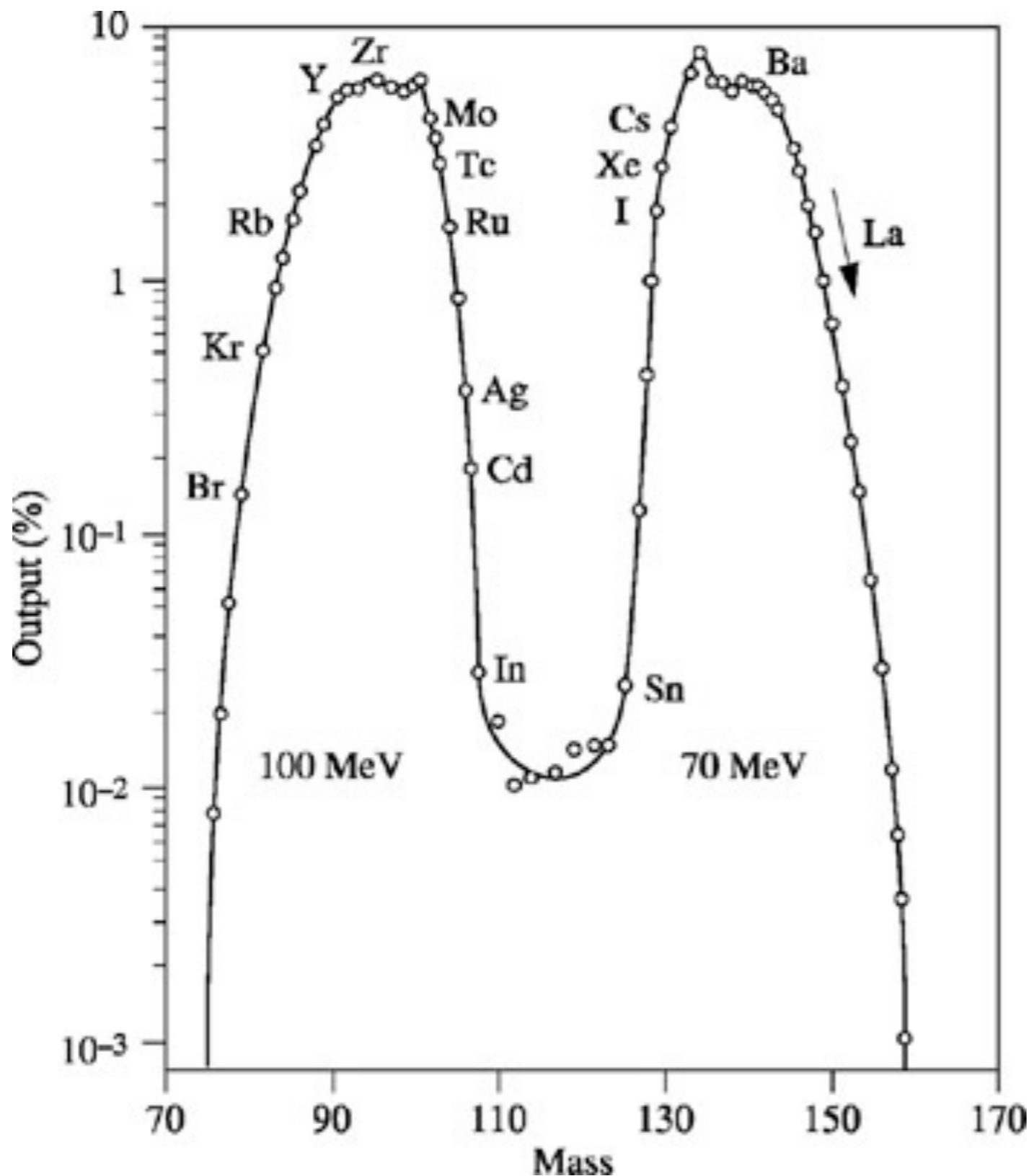
熱中性子

減速



中性子 + ウラン 235 / 238

生成率 [%] (対数目盛り)



核分裂生成物

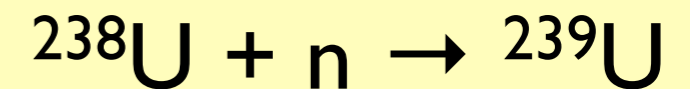
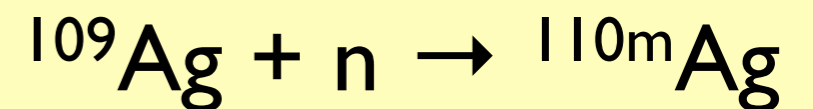
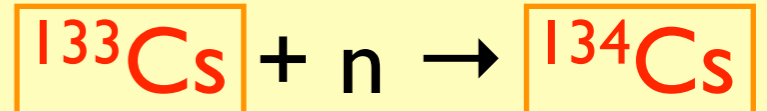
fission products

非対称分裂

放射化生成物

activation products

中性子捕獲反応



半減期が数日～数十年のものが特に問題。**揮発性・水溶性**のものほどより遠くまで運ばれる。稀ガスはあまり気にしないでいい(雲散霧消)。

核分裂生成物 **^{131}I , ^{137}Cs , ^{90}Sr** , ^{85}Kr , ^{135}Xe , ^{140}Ba , ^{95}Zr , ^{106}Ru , ^{99}Mo

ウランの核分裂

(中性子による) 誘起分裂

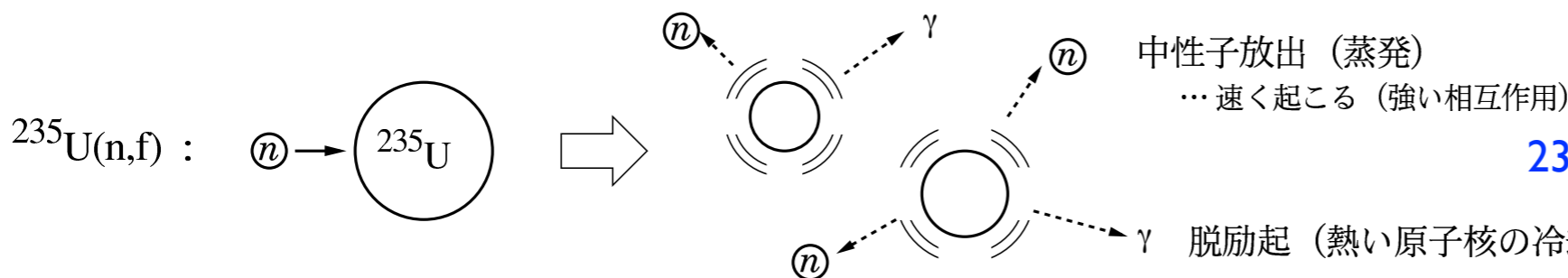
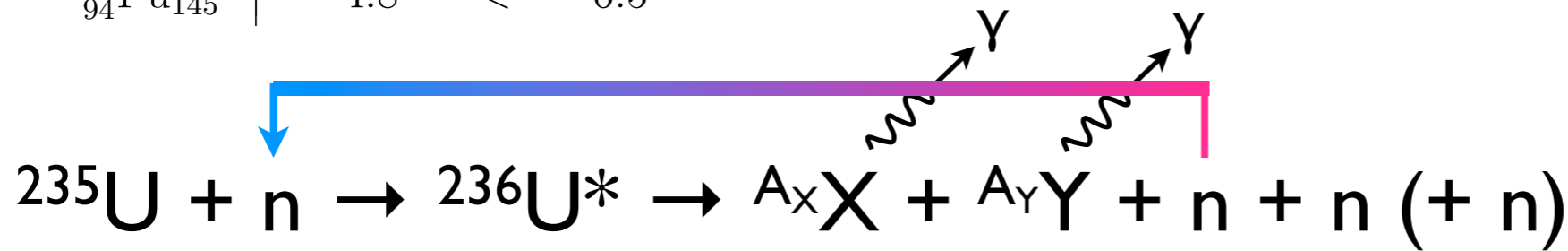
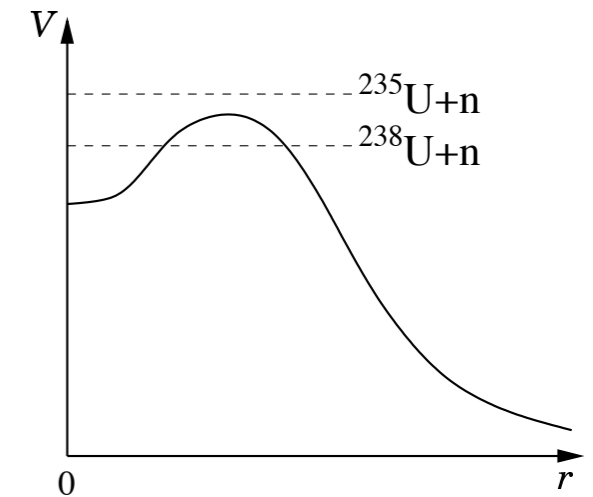
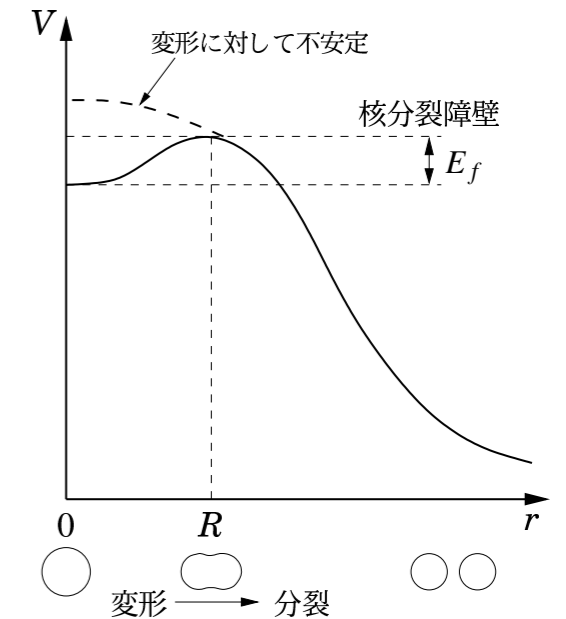
核分裂障壁 E_f を越えるエネルギーを ^{neutron capture} 中性子捕獲 によって供給。

例: $Q_n = (m[{}^{238}\text{U}] + m[n] - m[{}^{239}\text{U}])c^2 = 4.8 \text{ [MeV]} > 0 \dots$ 発熱反応

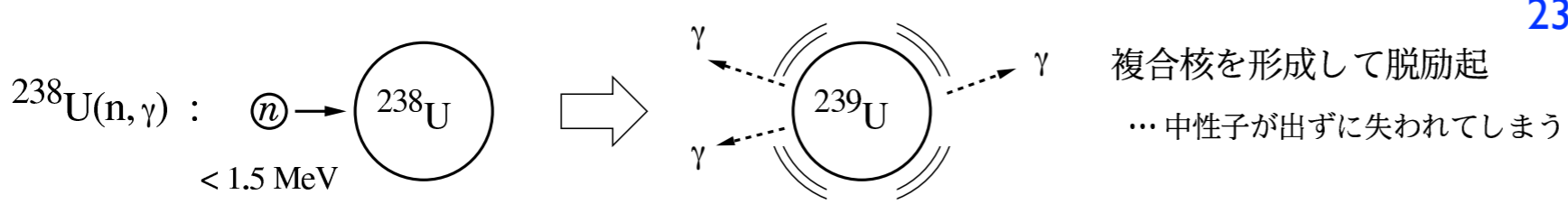
高次項まで含めて E_f を計算 ... Bohr & Wheeler

	E_f [MeV]	Q_n [MeV]	
${}^{238}_{92}\text{U}_{146}$ (99.275%)	6.3	> 4.8	... 1.5 MeV 以上の中性子が必要
${}^{235}_{92}\text{U}_{143}$ (0.72%)	5.8	< 6.5	... 0 エネルギー中性子でも分裂
${}^{239}_{94}\text{Pu}_{145}$	4.8	< 6.5	

対エネルギーの違い

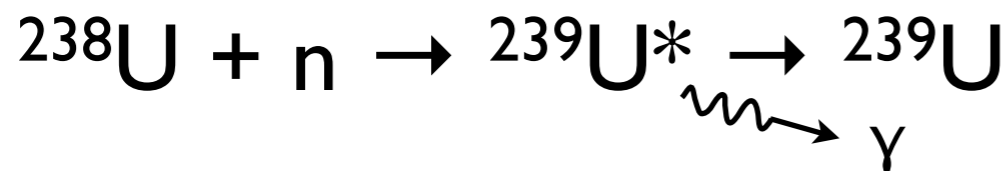


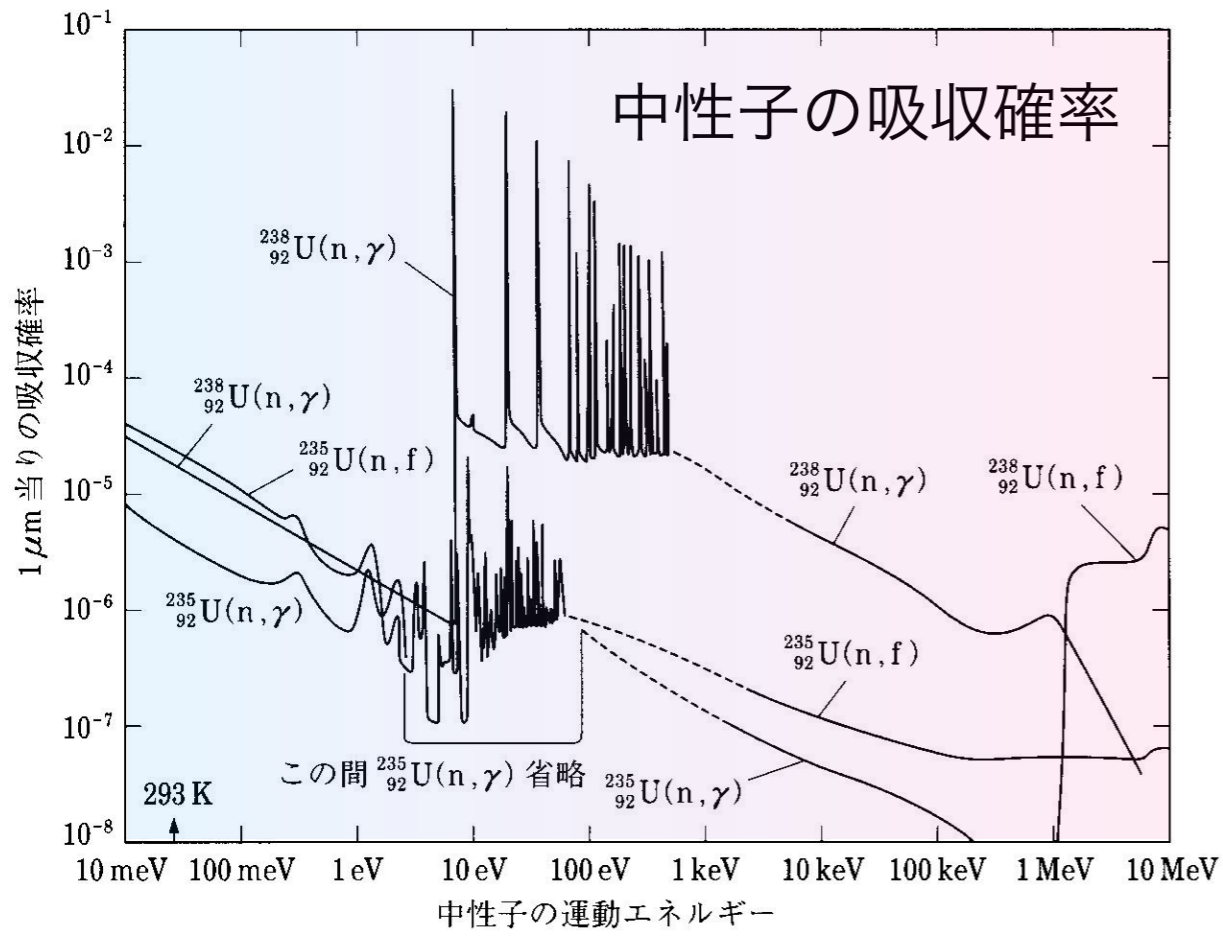
${}^{235}\text{U}$: 0.72%, 半減期 7.03億年



${}^{238}\text{U}$: 99.3%, 半減期 44.6億年

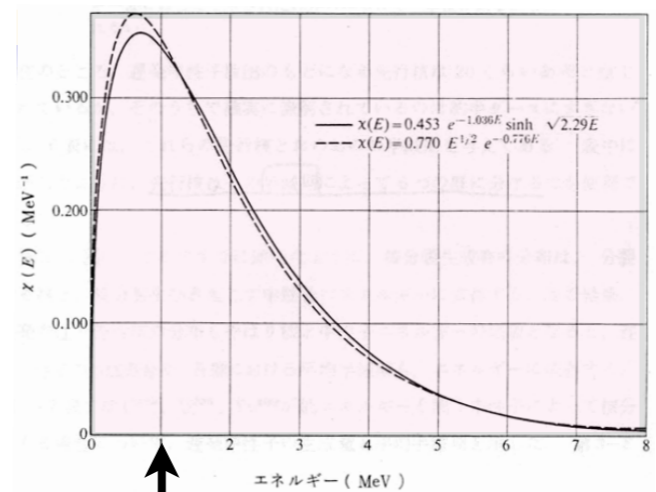
👉 ${}^{235}\text{U}$ 濃縮燃料を使う





$E_n < 1 \text{ eV}$ では
 $\sigma[{}^{235}\text{U}(n, f)] \propto \frac{1}{v_n}$
 ... 中性子が原子核内を
 ゆっくり通り過ぎると反
 応が起きやすい

即発中性子の エネルギースペクトル

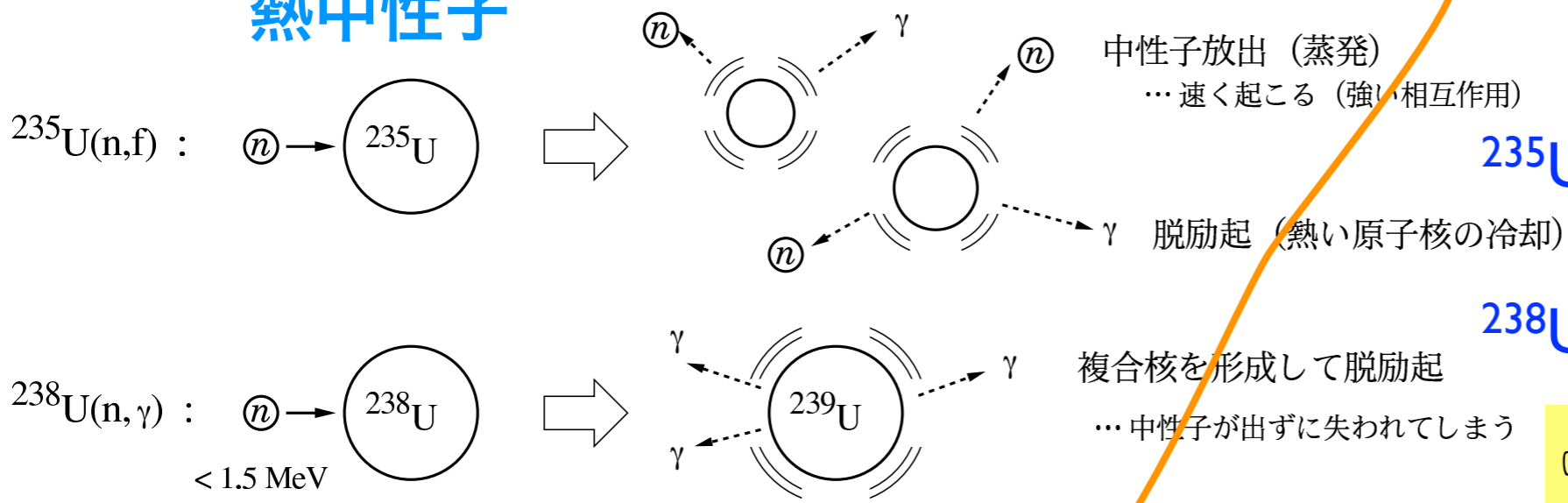


減速

loss



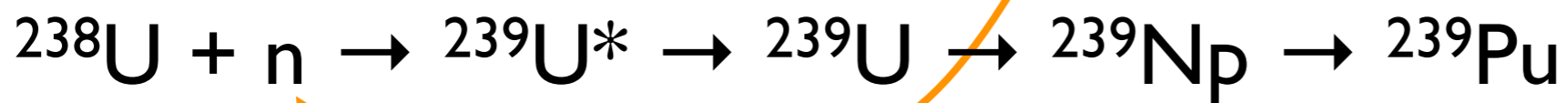
熱中性子



${}^{235}\text{U}$: 0.72%, 半減期 7.03億年

${}^{238}\text{U}$: 99.3%, 半減期 44.6億年

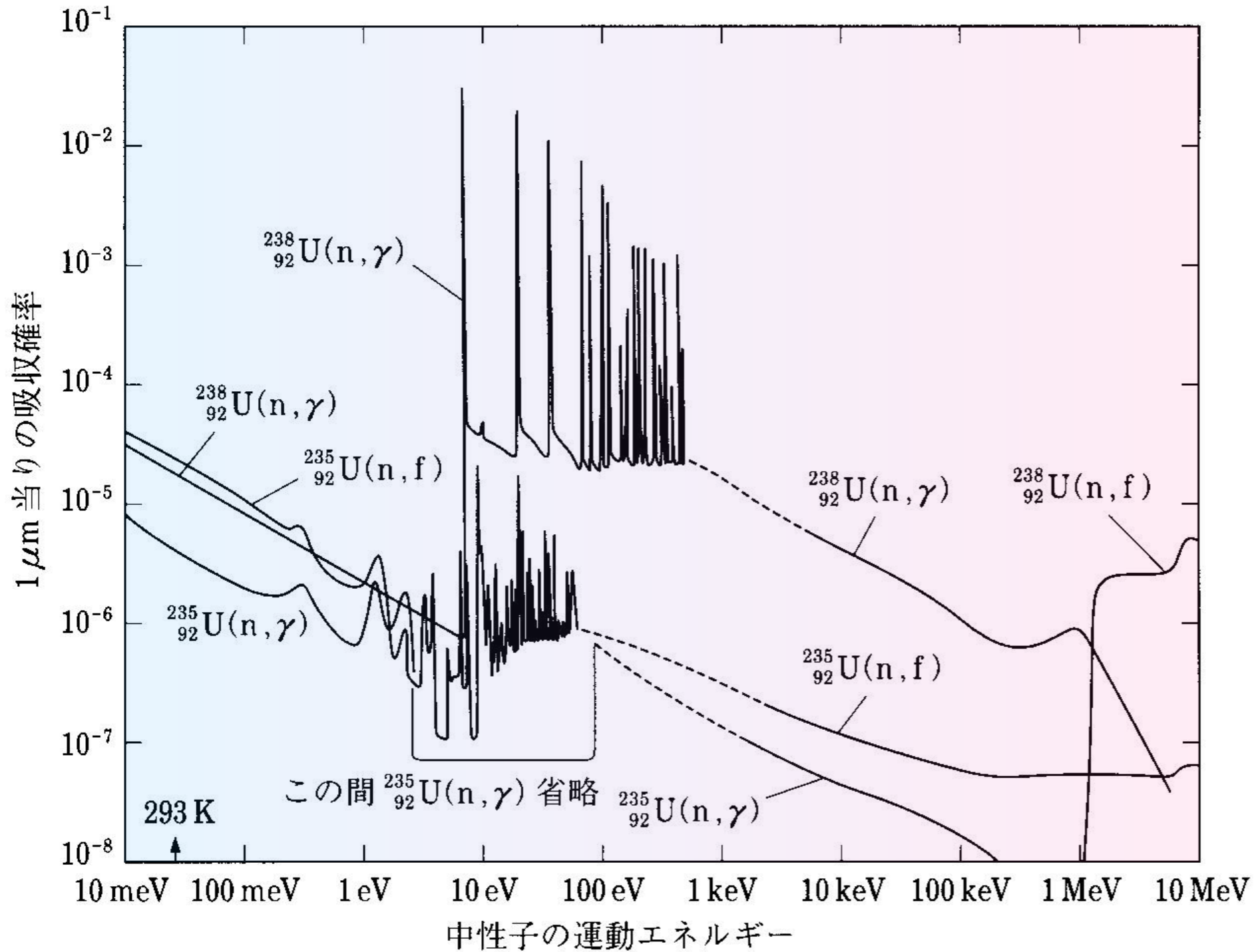
👉 ${}^{235}\text{U}$ 濃縮燃料を使う



(loss)

(大阪大学 故岡村弘之先生の講義資料より借用・改変)

中性子の吸収断面積 (吸収確率)



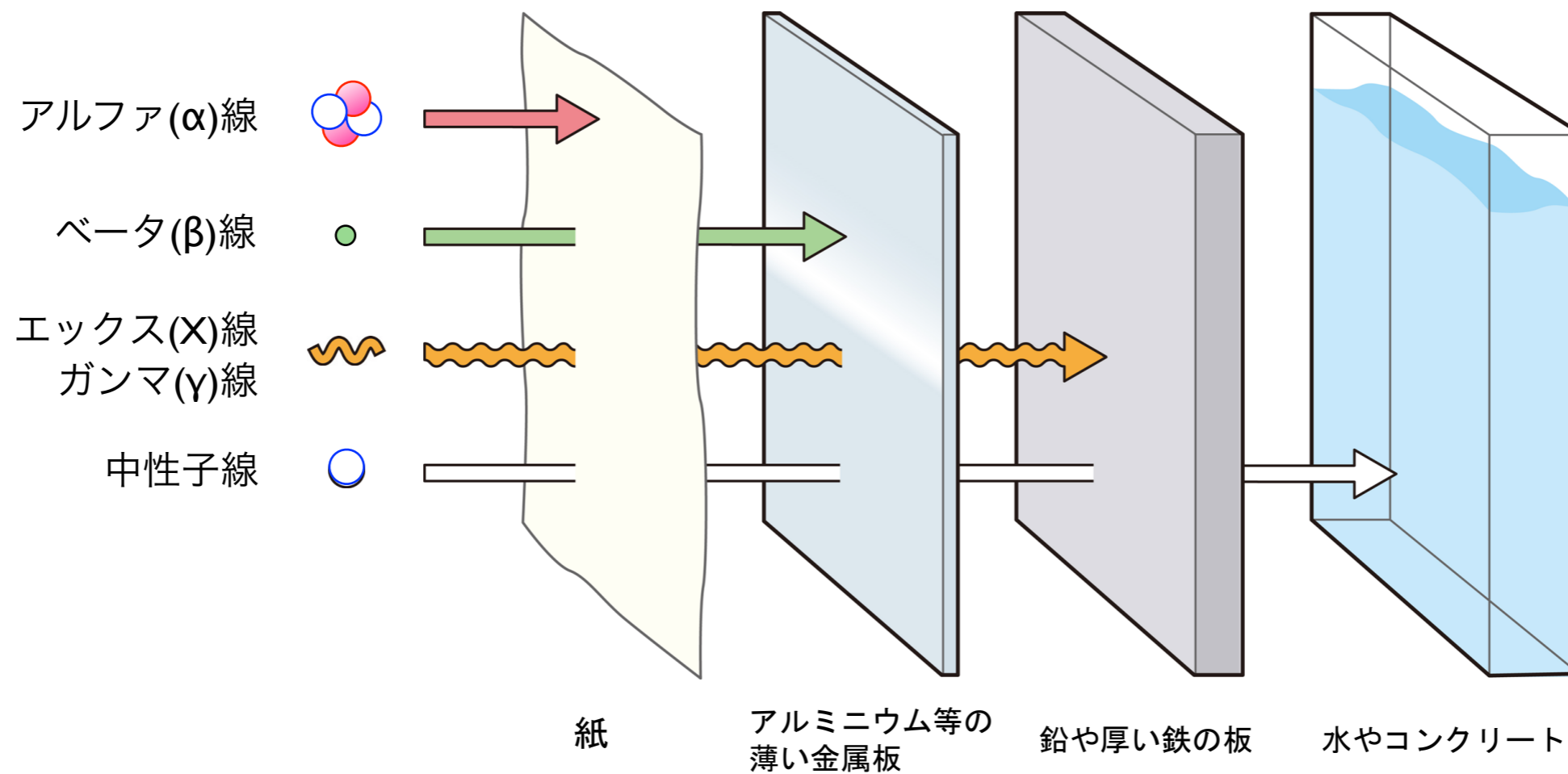
$E_n < 1 \text{ eV}$ では

$$\sigma \left[^{235}\text{U}(n, f) \right] \propto \frac{1}{v_n}$$

... 中性子が原子核内を
ゆっくり通り過ぎると反
応が起きやすい

1 eV ~ 1 keV での ^{238}U による吸収ピークを避けるため、燃料棒は格子状に入れ、間の減速材で一気に熱中性子まで冷えるように設計されているのだそう。

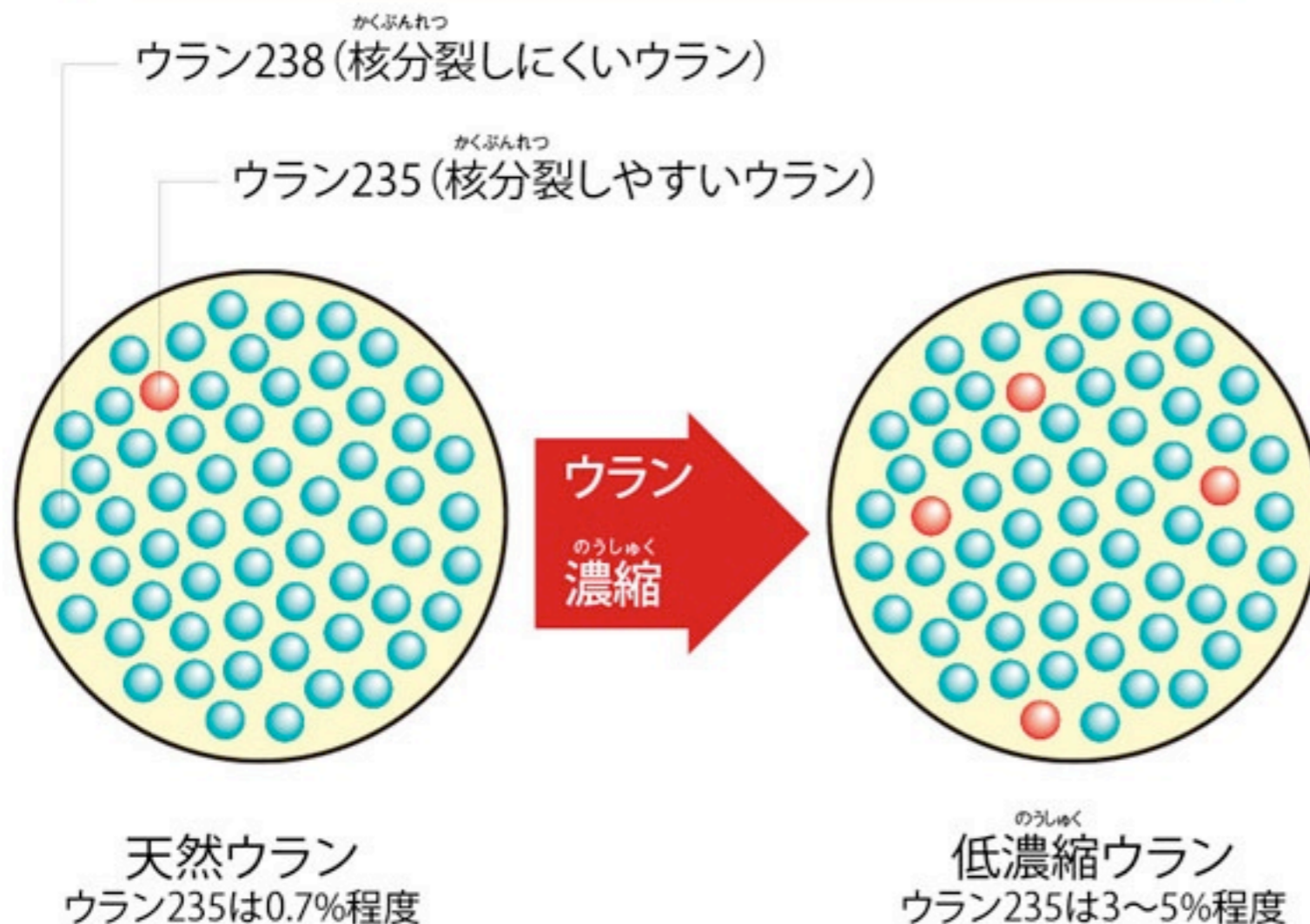
放射線の種類と透過力



《 ウランの濃縮 のうしゆく 》

天然のウラン鉱石にはウラン238が99.3%とウラン235が0.7%の割合でふくまれています。天然ウランのままでは、原子力発電所で使う燃料としてウラン235の割合が低すぎるので、これを3~5%程度になるよう濃度 のうど を高めます。これを「ウランの濃縮 のうしゆく」といいます。

天然ウランと低濃縮ウランのちがい のうしゆく



同位体分離技術

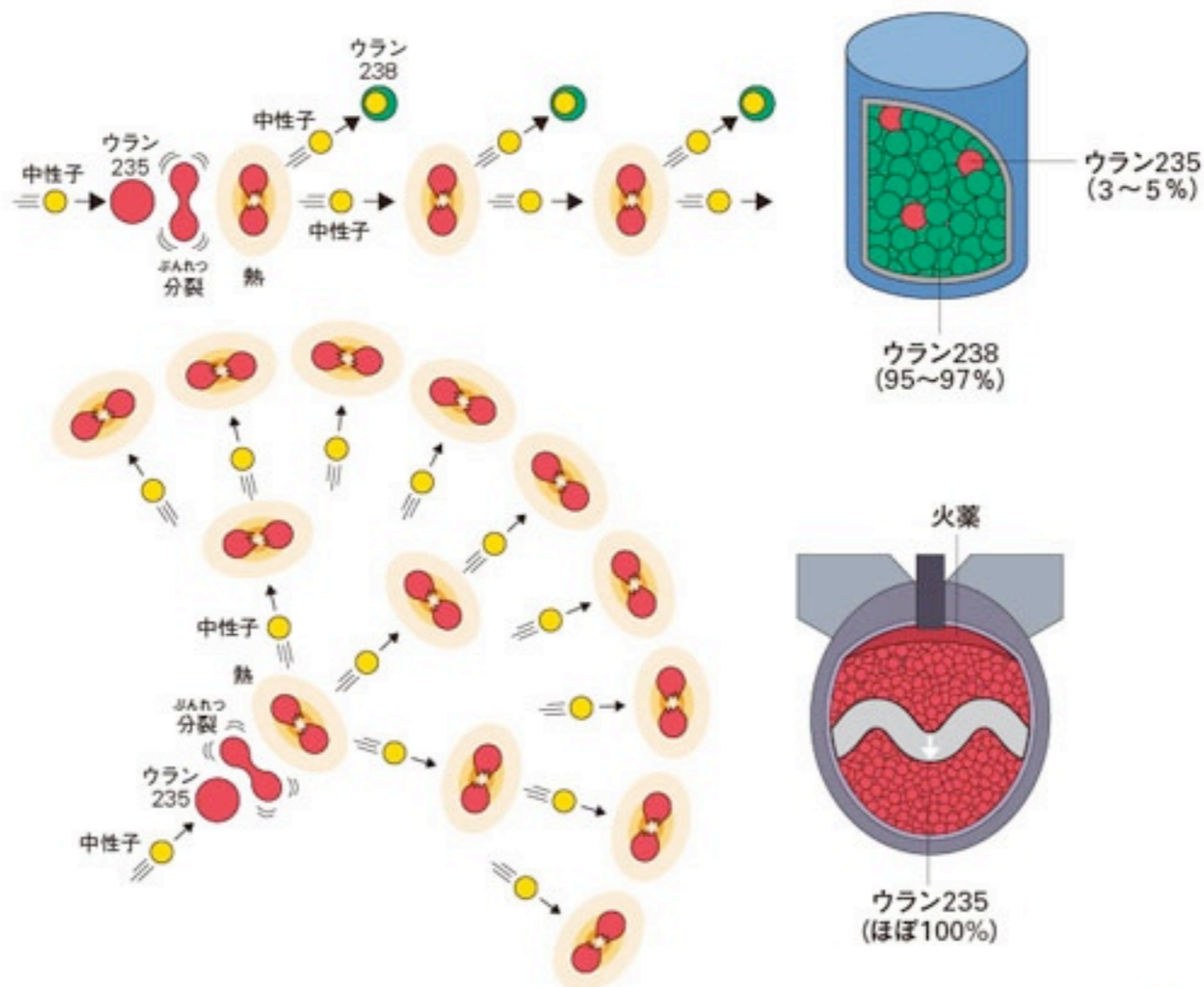
- ☀ ガス拡散法
 - ☀ 遠心分離
 - ☀ レーザー法
 - ☀ ノズル法、
 - ☀ 化学法 (イオン交換法)
- UF₆ (気体)

(原子力教育支援情報提供サイト「あとみん」より図表を借用。)

出所: チャレンジ! 原子力ワールド (以下のページも。)

《 原子力発電と原子爆弾の違い 》 ばくだん

原子力発電の場合



連鎖反応
臨界

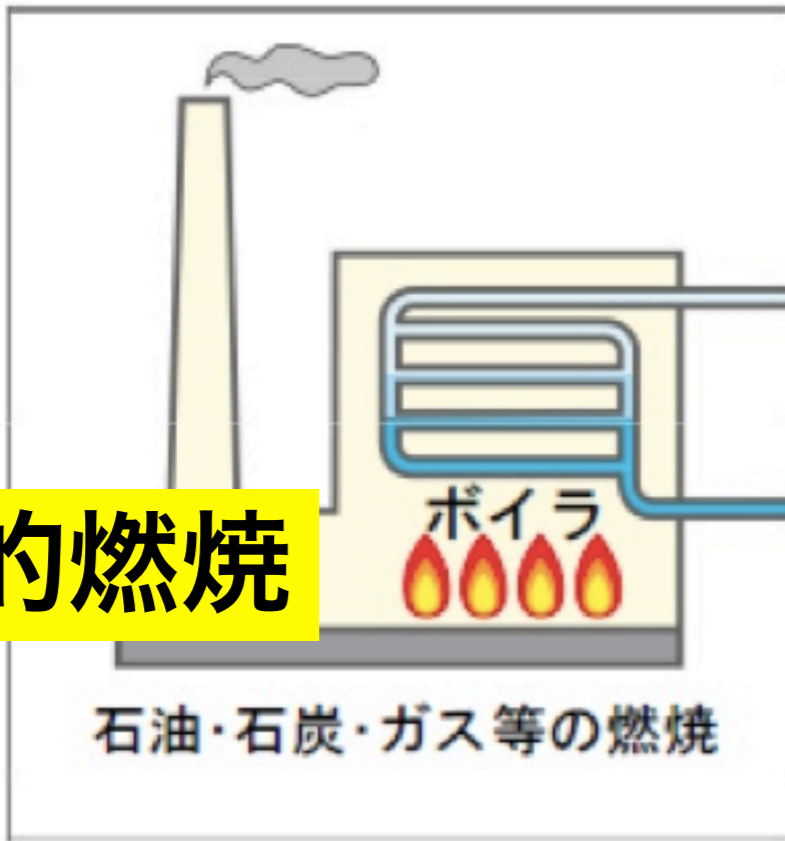
ばくだん
原子爆弾の場合

ちがう点	原子力発電	原子爆弾
ウラン235の割合	3~5%	ほぼ100%
かくふんれつ核分裂のしかた	ウランを少しずつ核分裂させます。	いっしゆん かくふんれつ 一瞬のうちにほとんどのウランを核分裂させます。
調節のしかた	せいぎよ かくふんれつへいさ 制御機能を持ち、安定した核分裂連鎖反応となるように調節します。	かくふんれつへいさ せいぎよ 核分裂連鎖反応を制御する装置がありません。

火力発電と原子力発電の違い

火力

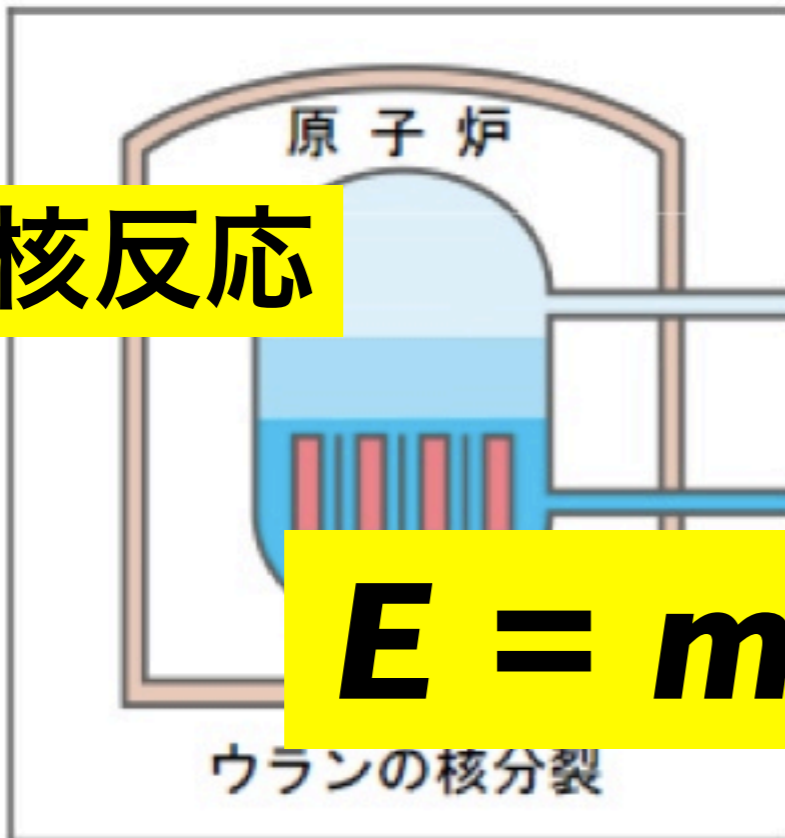
化学的燃焼



原子核反応

原子力

$$E = mc^2$$



蒸気

水

蒸気

給水ポンプ

タービン

復水器

循環水ポンプ

変圧器

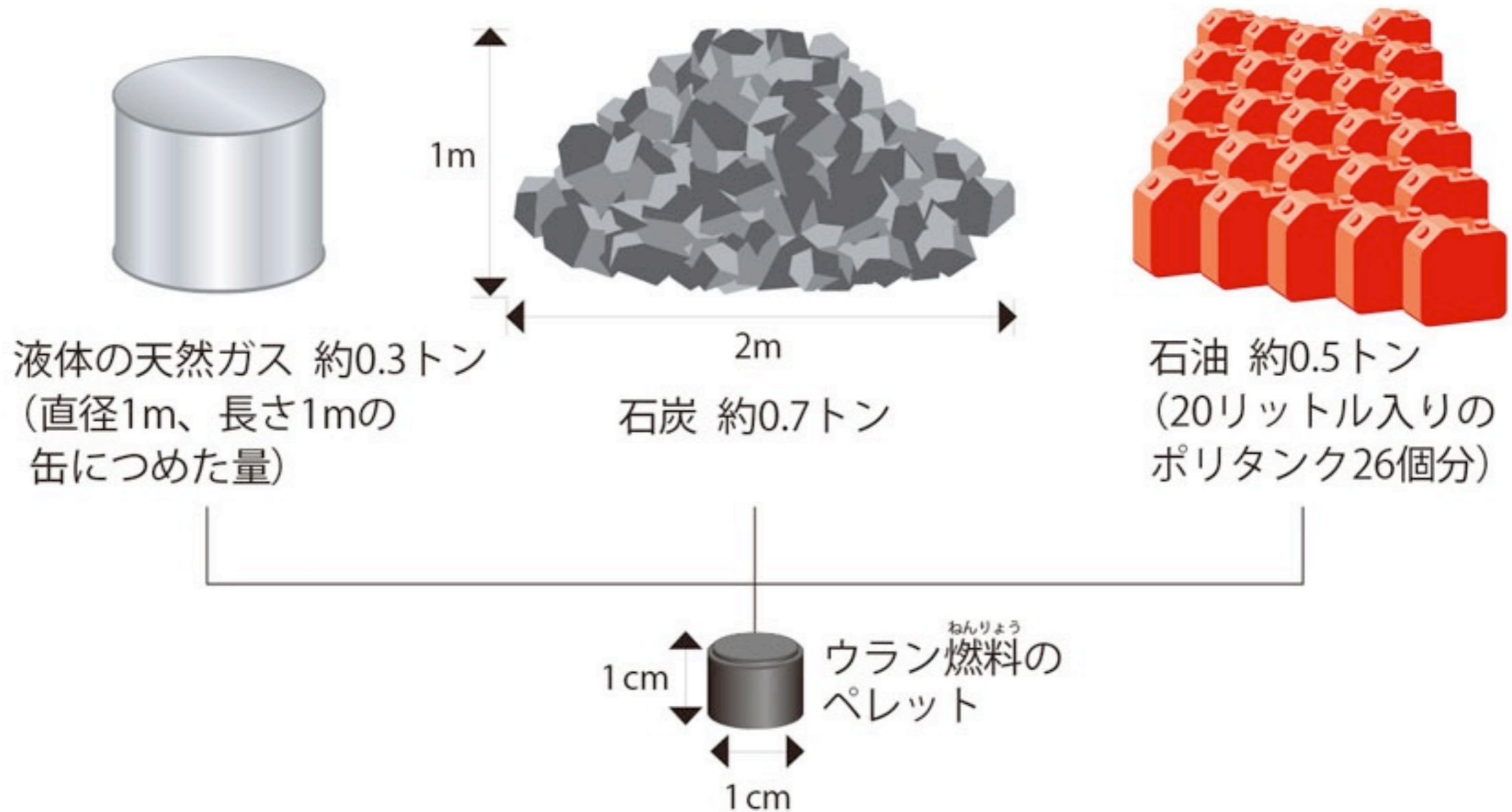
発電機

→ 放水路へ

← 冷却水(海水)



《 エネルギー源の比較(原子力発電と火力発電) 》



液体の天然ガス 約0.3トン
(直径1m、長さ1mの
缶につめた量)

1m

2m

石炭 約0.7トン

石油 約0.5トン
(20リットル入りの
ポリタンク26個分)

1cm

ウラン^{ねんりょう}燃料の
ペレット

1cm

原子力発電のエネルギー源であるウラン燃料は、直径1cm、高さ1cmのペレットに焼き固めて使います。このペレット1個で一般の家庭で使う8~9か月分の電力(2,600kWh)を発電できます。これは天然ガスで約0.3トン、石炭で約0.7トン、石油で約0.5トンを燃やして発電できる電力量に相当します。

原子炉	燃料	減速材*	冷却材*
軽水炉	濃縮ウラン	軽水 (H ₂ O)	軽水 (H ₂ O)
重水炉	天然ウラン 微濃縮ウラン プルトニウム	重水 (D ₂ O)	軽水 (H ₂ O) 重水 (D ₂ O)
黒鉛炉	濃縮ウラン	黒鉛 (グラファイト)	軽水 (H ₂ O)
ガス炉	天然ウラン 濃縮ウラン トリウム	黒鉛 (グラファイト)	二酸化炭素 ヘリウム

運転の制御：熱中性子を吸収する元素

制御棒* (炭化ホウ素、カドミウム合金)、ホウ酸水



(***放射化**しにくい物質)

原子炉	原子炉施設
軽水炉	日本の原子力発電所（沸騰水型／加圧水型）
重水炉	新型転換炉の原型炉「ふげん」 カナダの原子力発電所 CANDU
黒鉛炉	チェルノブイリ原発（РБМК (RBMK) 型）
ガス炉	日本初の実用原子炉「東海発電所」 発電のほかにも化学工業など

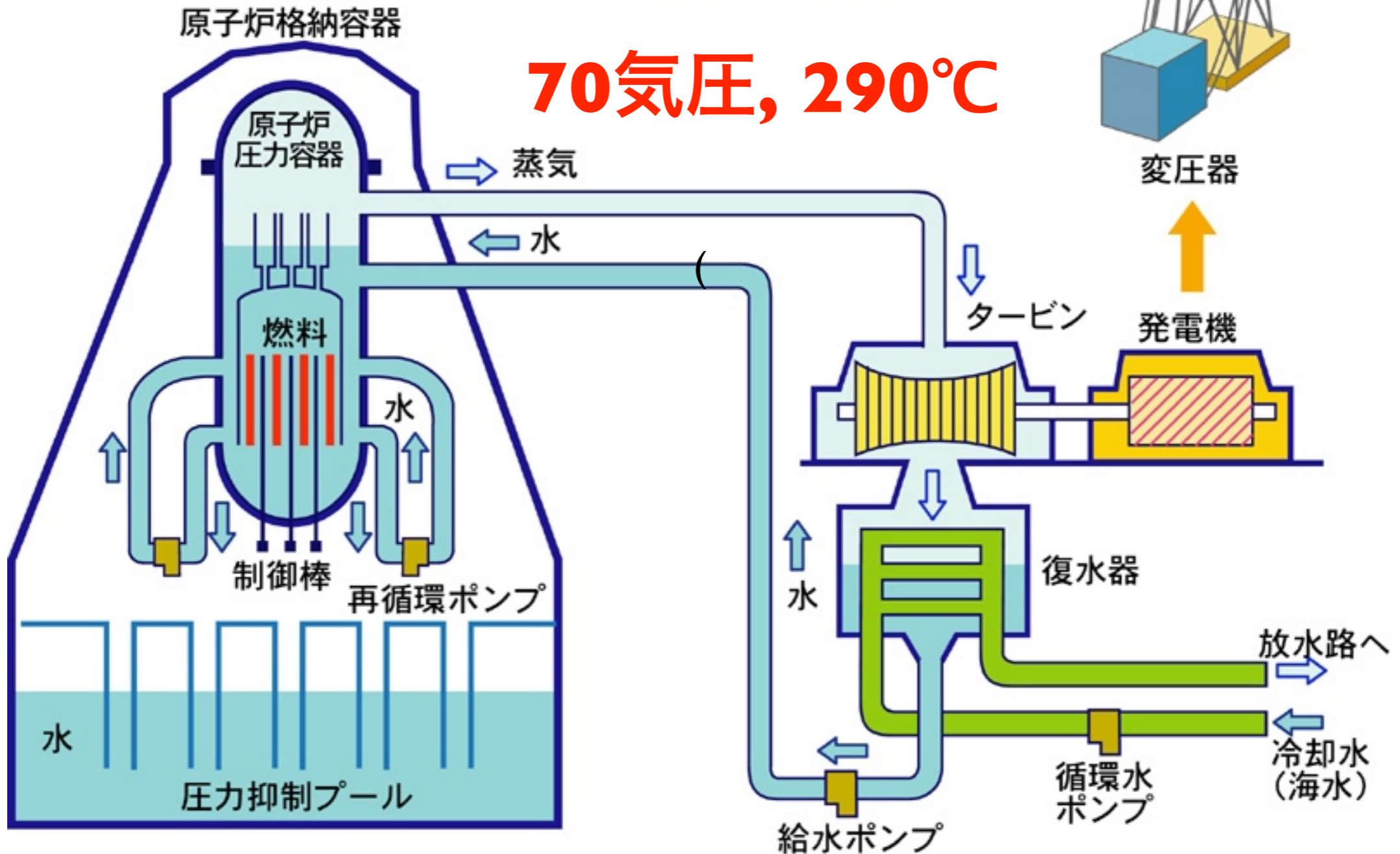
運転の制御：熱中性子を吸収する元素

制御棒（炭化ホウ素、カドミウム合金）、ホウ酸水



沸騰水型原子炉

BWR (Boiling Water Reactor)

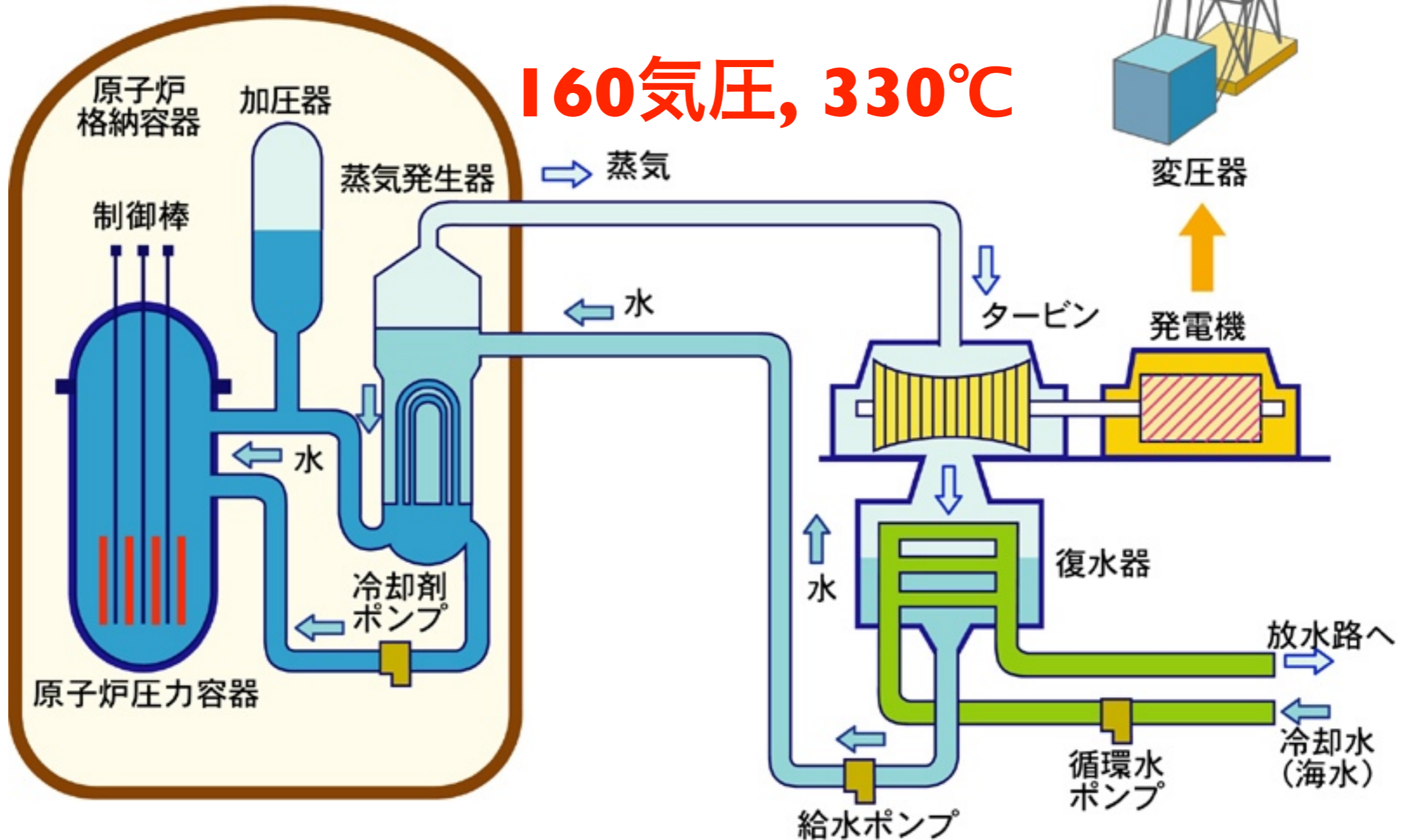


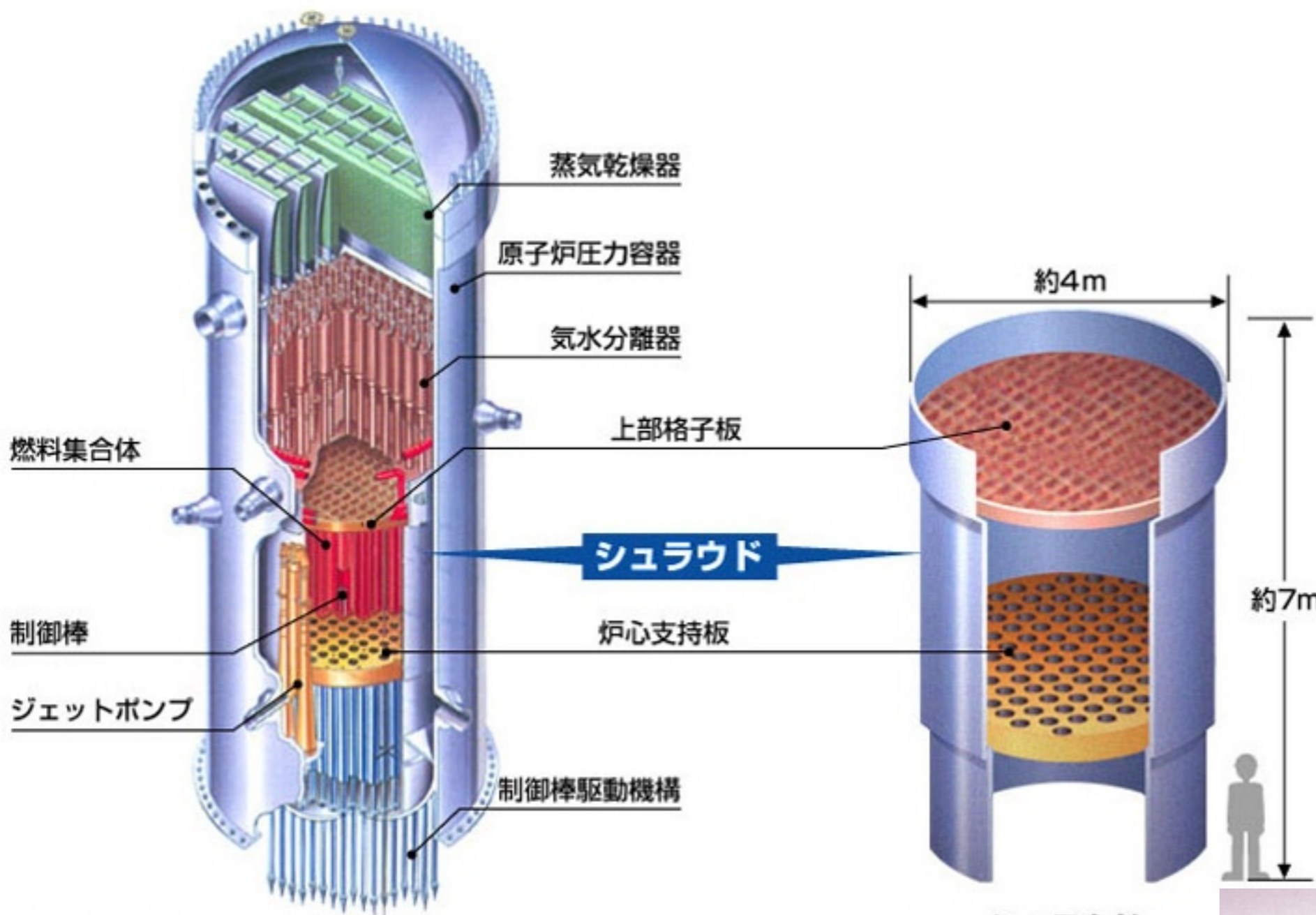
加圧水型原子炉

PWR (Pressurized Water Reactor)



160気圧, 330°C

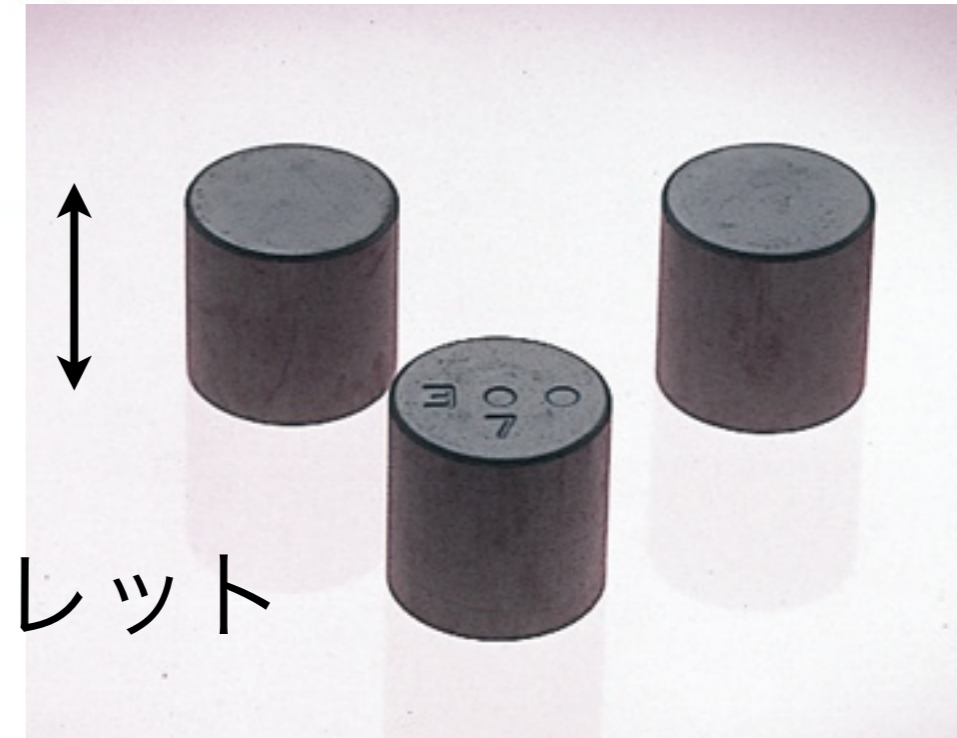




シュラウド

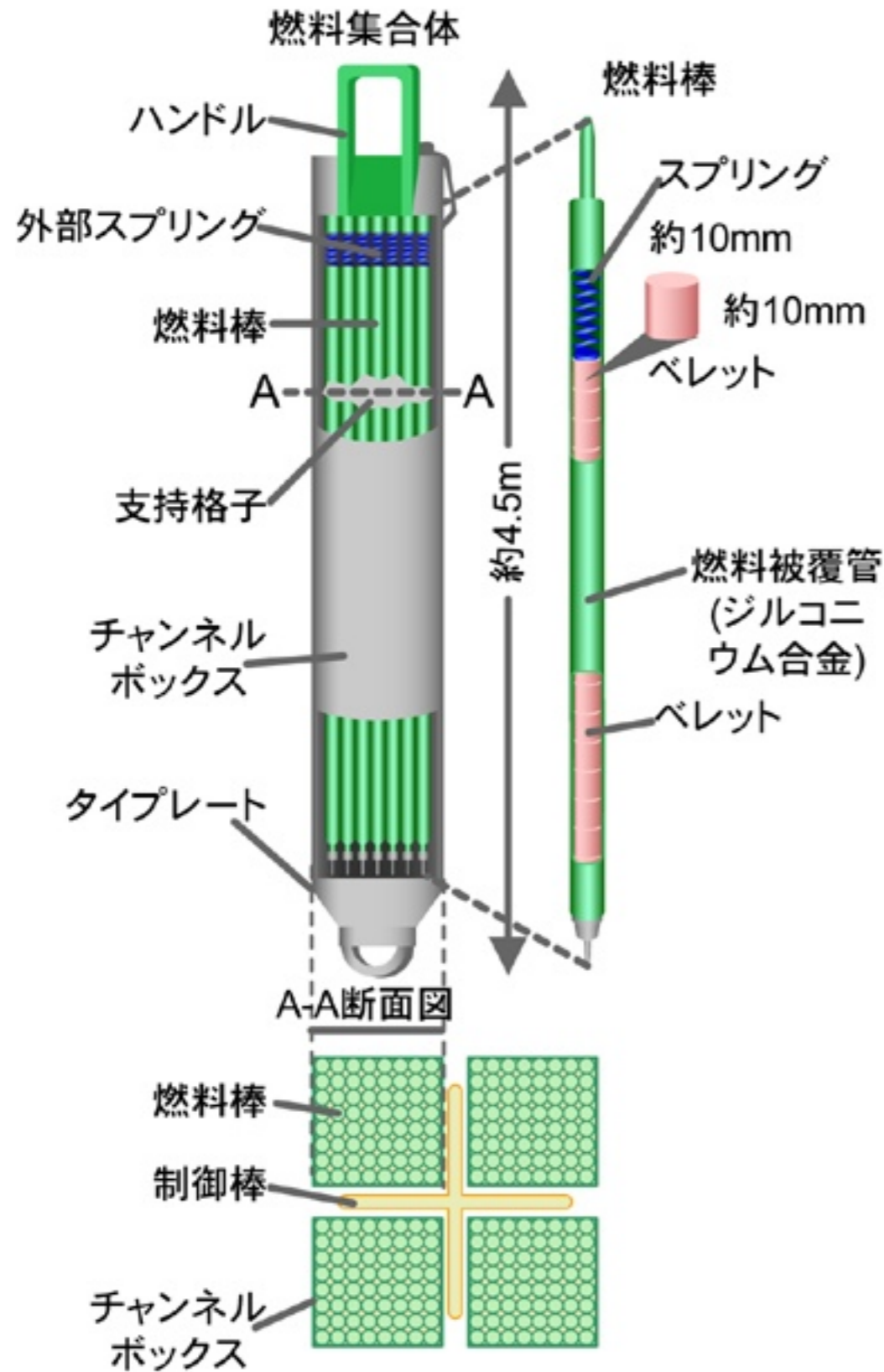
1 cm

UO₂ ペレット

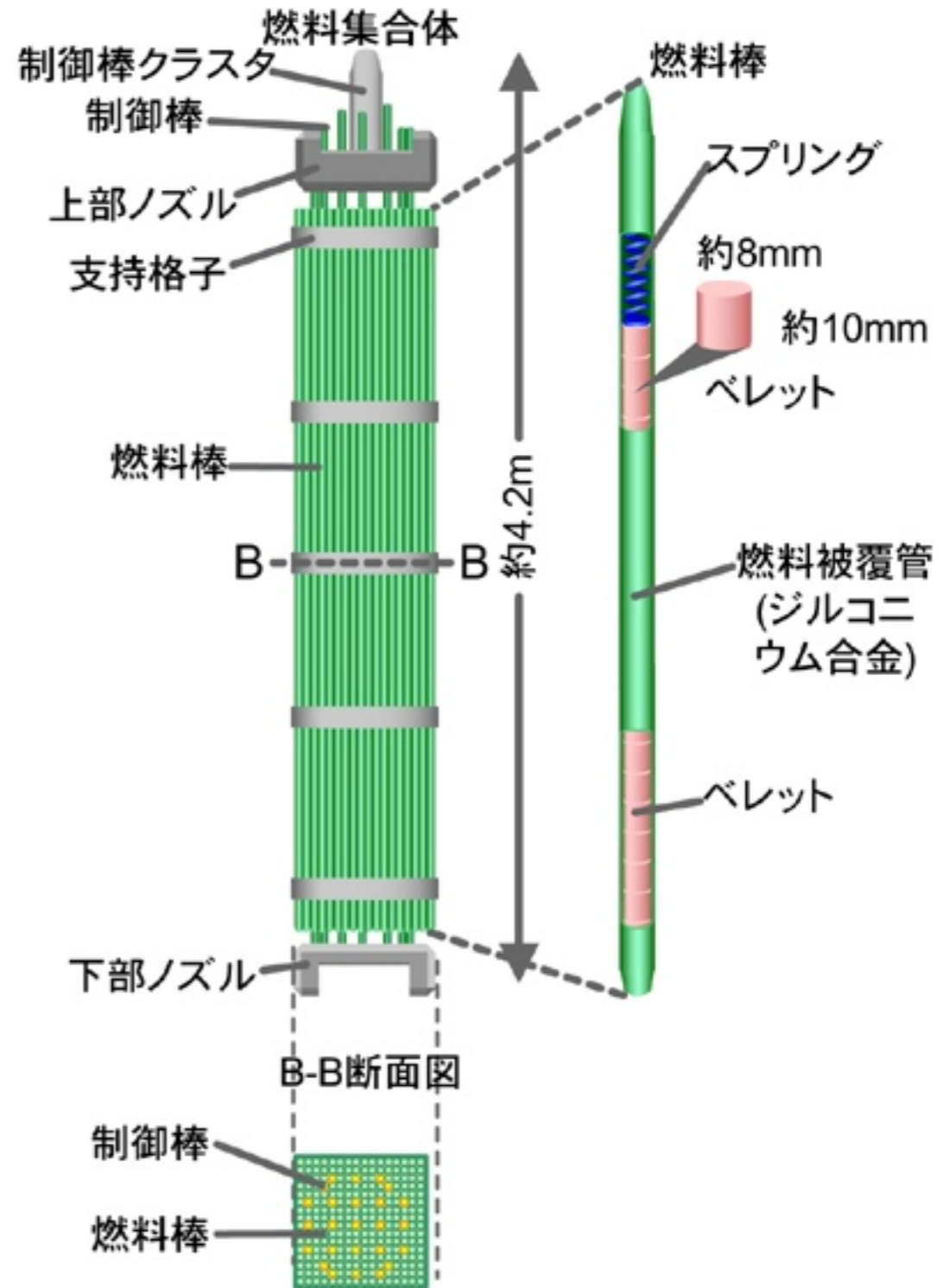


写真提供：東京電力株

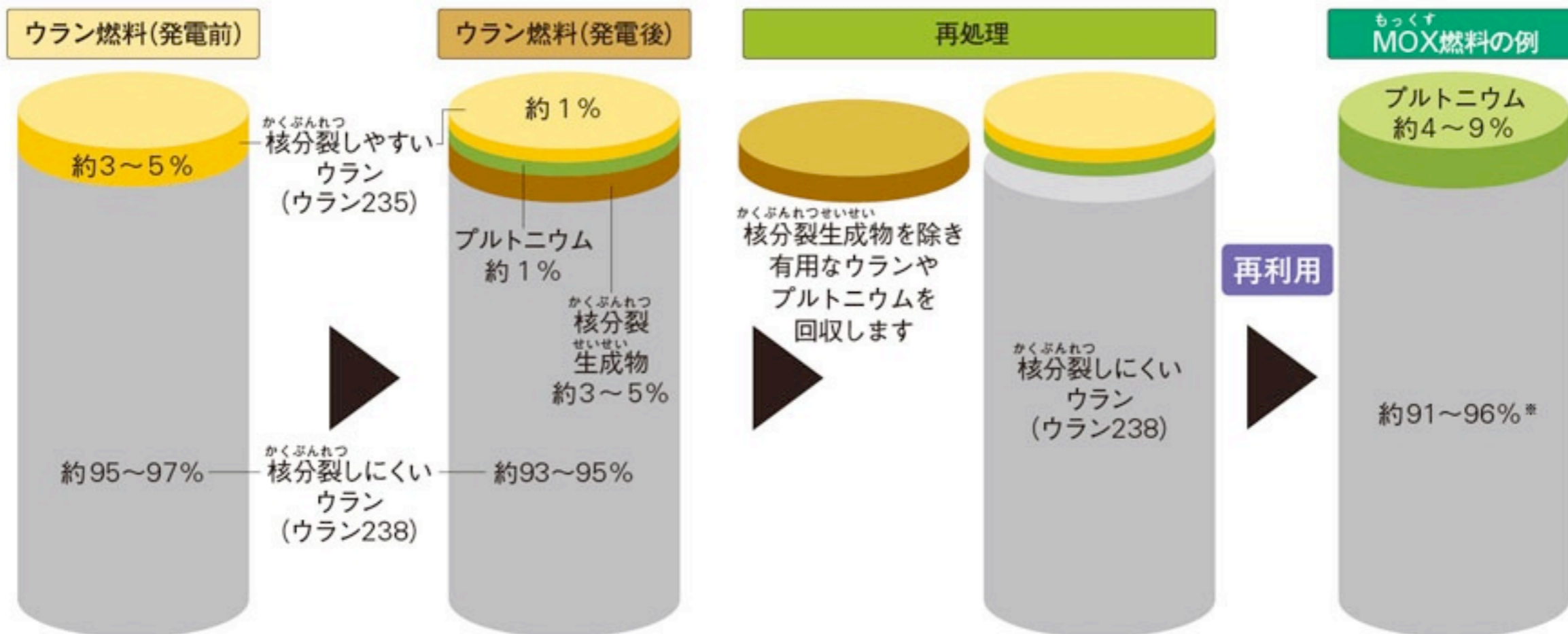
BWR



PWR

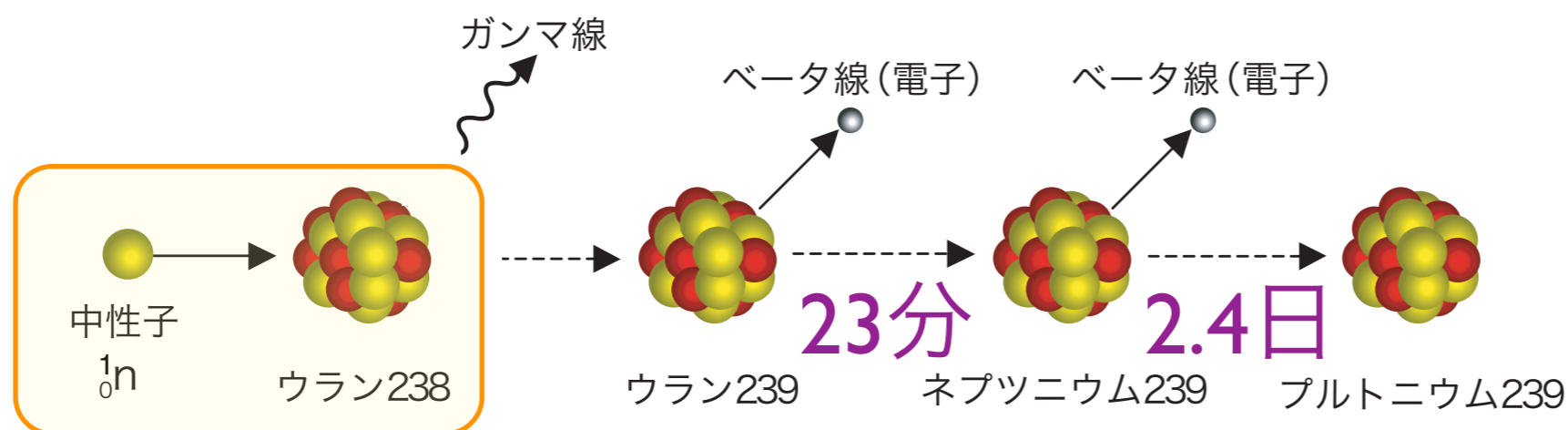


《 ウラン燃料とMOX燃料 》

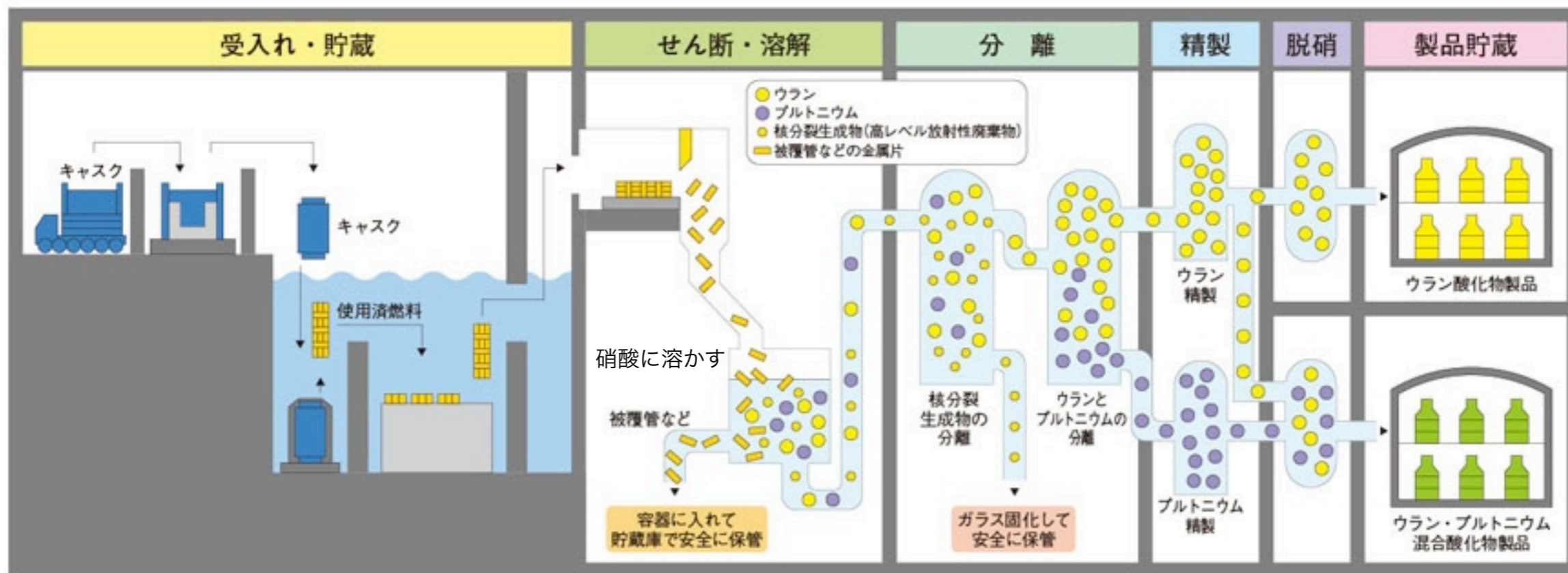


かくぶんれつ 核分裂生成物 非常に高いレベルの放射線を発生する元素がふくまれています。

もっくす MOX燃料 プルトニウムとウランの酸化物を混ぜて作った混合酸化物燃料です(※わずかにウラン235をふくみます)。

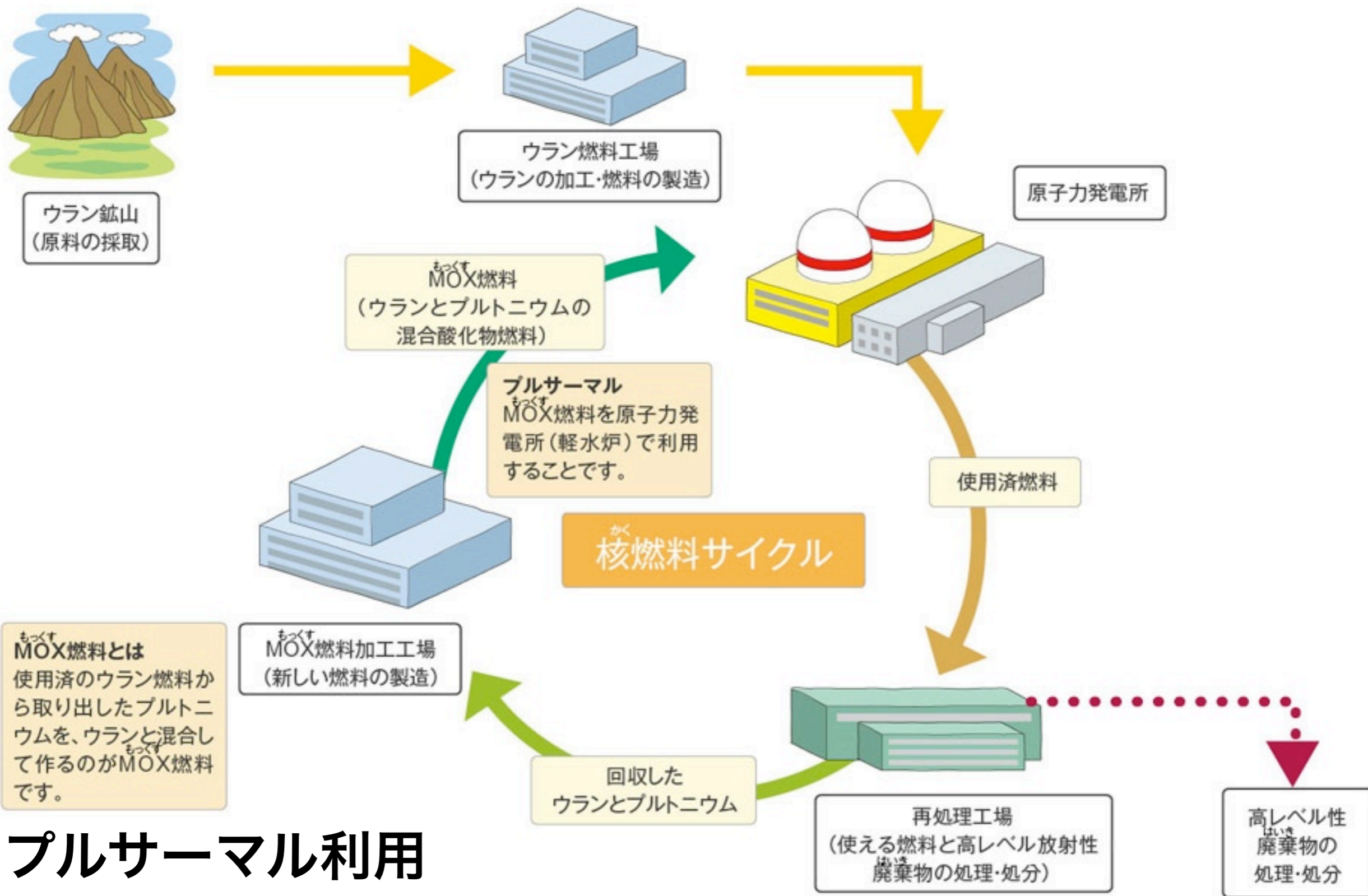


《 再処理の主な工程 》



原子炉の運転により燃料中に蓄積する核分裂生成物の中には、中性子の吸収断面積が莫大なものがあって (^{135}Xe など) 原子炉運転の妨害となる。その他の生成物もウラン燃料の性質を悪化させることになる。このため原子炉の燃料体は適当な時期に一部ずつ交換し、取り出した燃料棒に化学的処理を行って、核分裂生成物を分離するとともに、残っているウラン燃料および燃料内で生成したプルトニウムを回収する。これを核燃料再処理という。

《 核燃料サイクルの流れ 》



プルサーマル利用
MOX 燃料 ($UO_2 + PuO_2$)

軽水炉によるプルサーマル利用

長期運転すると ^{239}Pu 以外に Am など放射性の超ウラン元素が多種できてしまう。

高速増殖炉

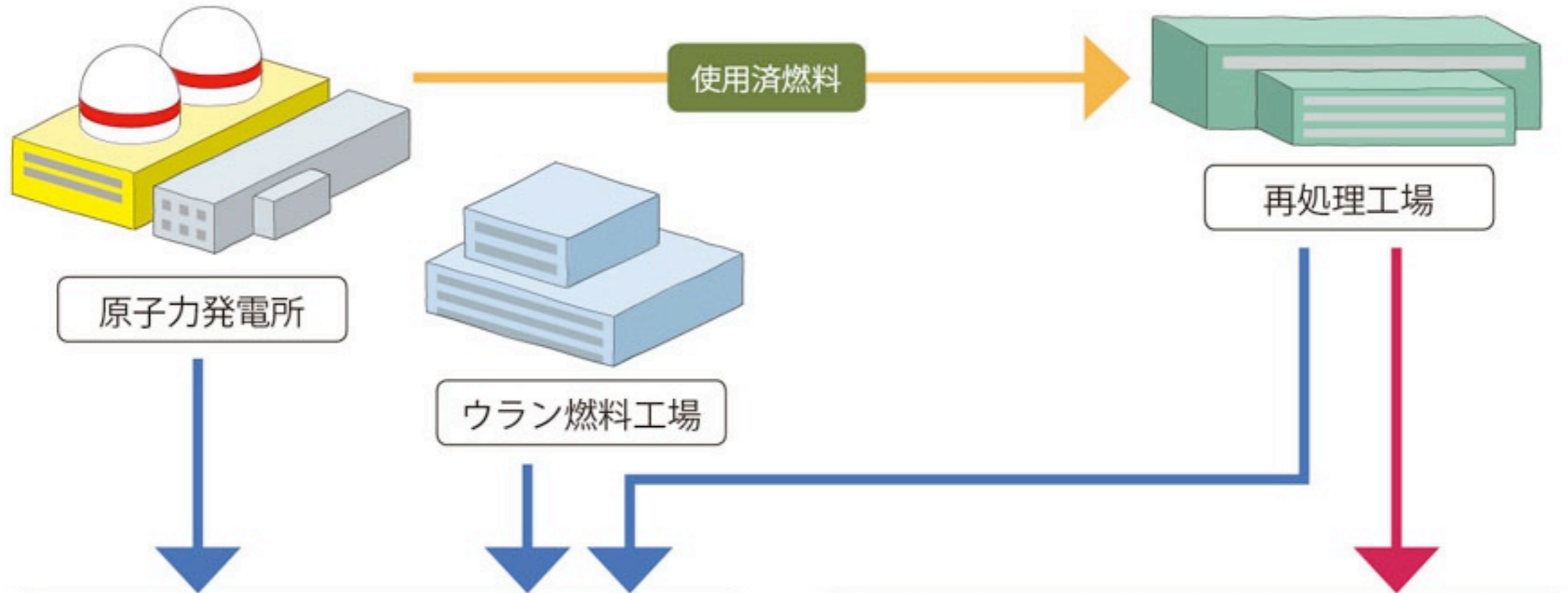
高速中性子により ^{238}U から ^{239}Pu を多数生成する計画。

放射性核種の**増殖**（使った以上の燃料の生成）。

^{239}Pu も中性子を吸収して核分裂を起こすので、大量の燃料を生み出せることを意味する。

「もんじゅ」の二次冷却系**液体ナトリウム**漏れ事故

《 放射性廃棄物 ^{はいき} 》



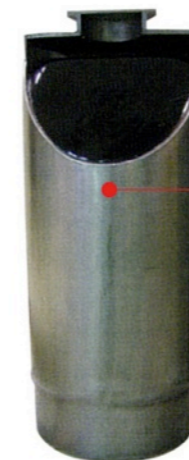
《 低レベル放射性廃棄物 ^{はいき} 》

低レベル放射性廃棄物^{はいき}は、原子力施設^{しせつ}の運転、点検、解体などにもなって発生するものです。コンクリート、金属、使用済みの消耗品^{しょうしょうひん}（ペーパータオル、作業用手袋、作業服）などです。これらは放射能レベルに応じて適切に処分されます。



《 高レベル放射性廃棄物 ^{はいき} 》

高レベル放射性廃棄物^{はいき}は、再処理工場^{さいしりこうじょう}で使用済燃料からまだ使えるウランやプルトニウムを回収した後に残る、放射能レベルの高い廃液^{はいえき}のことです。これをガラスと溶かし合わせて固化したものを「ガラス固化体」といい、30～50年間、地上で冷却した後、処分します。



ガラス固化体

高レベル放射性廃液をガラス原料とともに溶かし合わせて、ステンレス容器に入れて固めたもの。

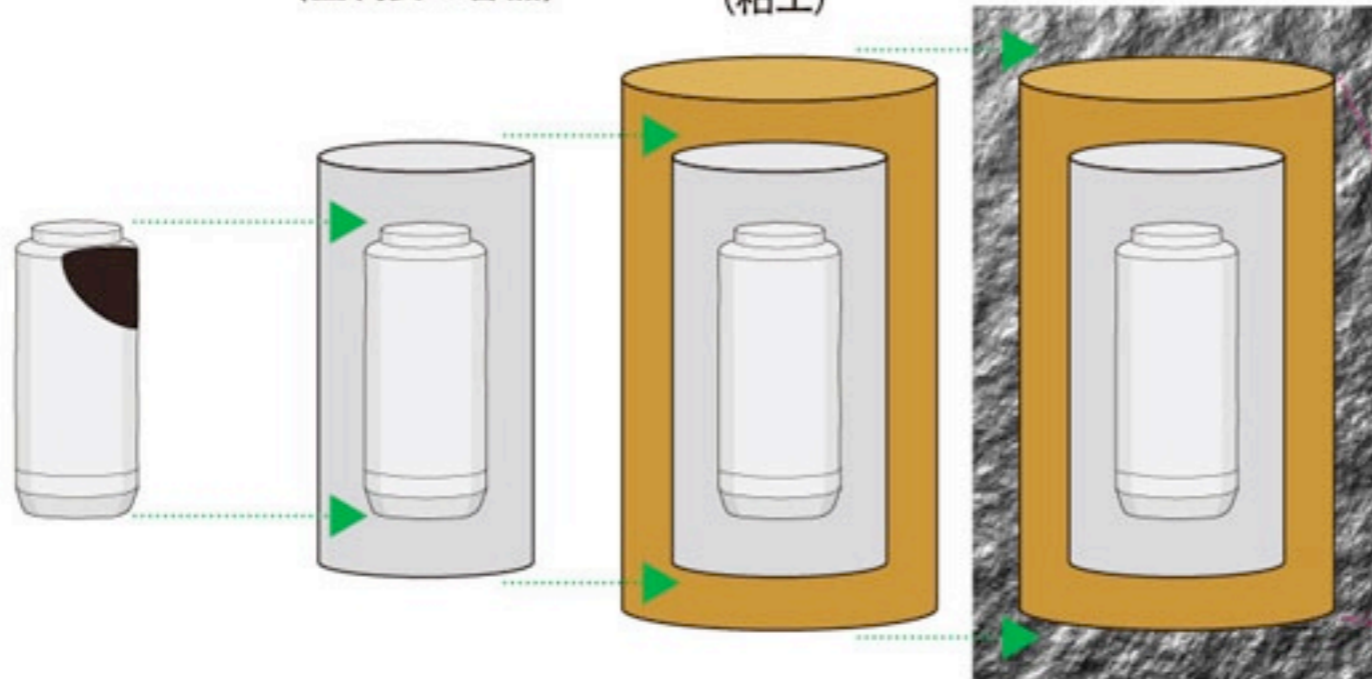
直径：約40cm
高さ：約130cm
総重量：約500kg

《 高レベル放射性廃棄物の処分方法 》

多重バリアシステム

人工バリア + 天然バリア

- | バリア 1 | バリア 2 | バリア 3 | バリア 4 |
|--------|---------------------|-------------|-------|
| ガラス固化体 | オーバーパック
(金属製の容器) | 緩衝材
(粘土) | 岩盤 |



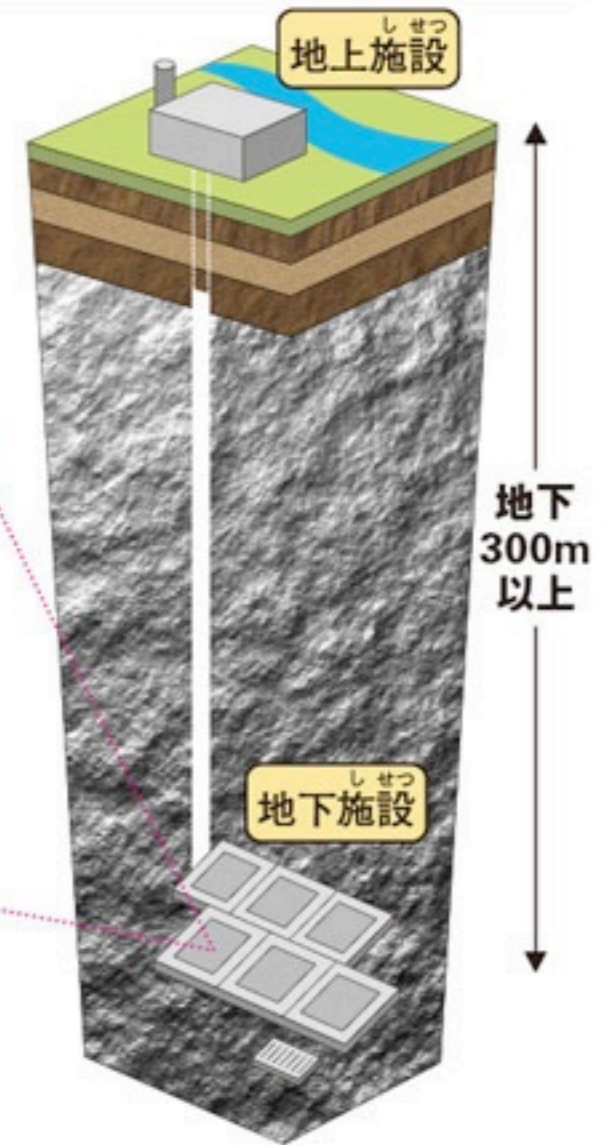
ガラスは放射性物質が地下水に溶け出しにくくします。

厚さ約20cmの金属製の容器。ガラスと地下水が接触するのを防ぎます。

オーバーパックをおお厚さ約70cmの粘土。粘土は水を通しにくく、地下水と放射性物質の移動をおそくします。

地下深くの安定した岩盤は、長期間、放射性物質を閉じ込める力を持っています。また酸素が少なく金属はさびにくくなります。

高レベル放射性廃棄物処分施設



《 日本の原子力発電所 》

日本の原子力発電所(2010年3月末現在)

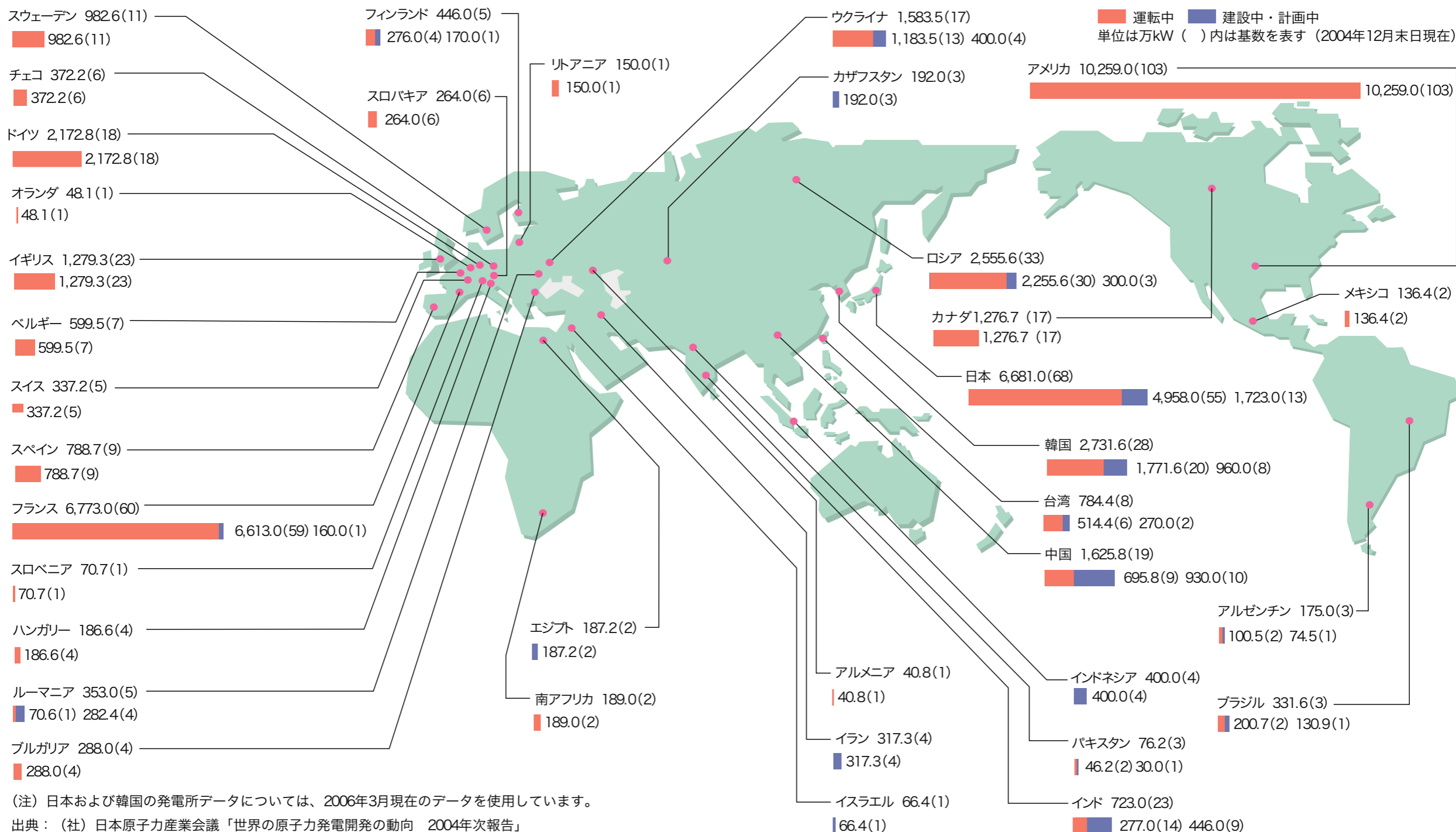
	基数	合計出力(万kW)
運転中	54基	4,884.7万kW
建設中	2基	275.6万kW
着工準備中	12基	1,655.2万kW
合計	68基	6,815.5万kW



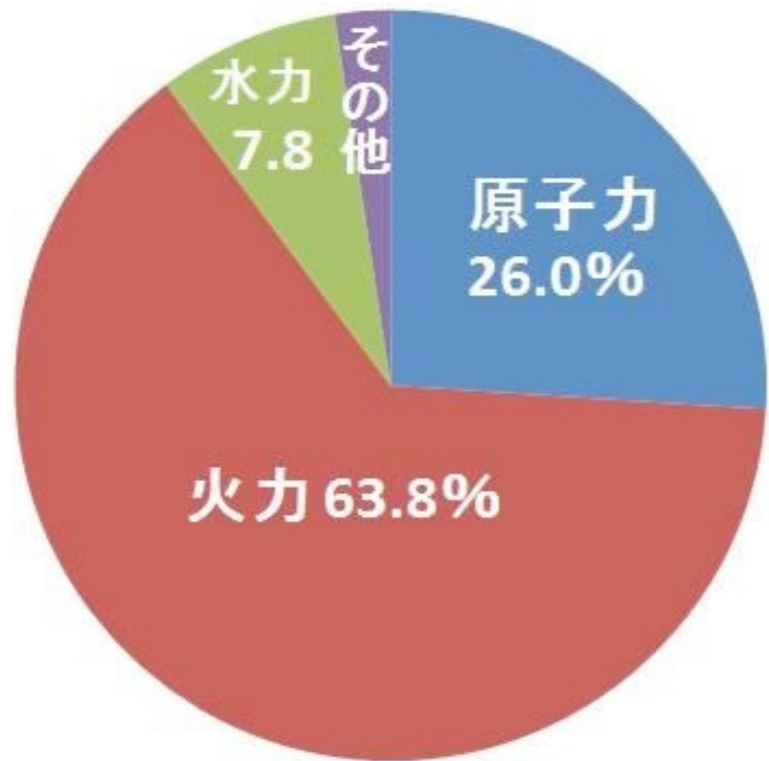
石油に代わるエネルギーとして、世界各国の原子力発電への期待は大きく、世界中で、2004年12月末現在、運転中の原子炉は434基3億7,920万キロワットにおよび、設備容量は、アメリカ、フランス、日本、ロシア、ドイツ、韓国

の順となっています。また、建設中・計画中のものは70基で、日本、中国、韓国、インド、ウクライナ、ルーマニア、インドネシア、イランなどとなっています。

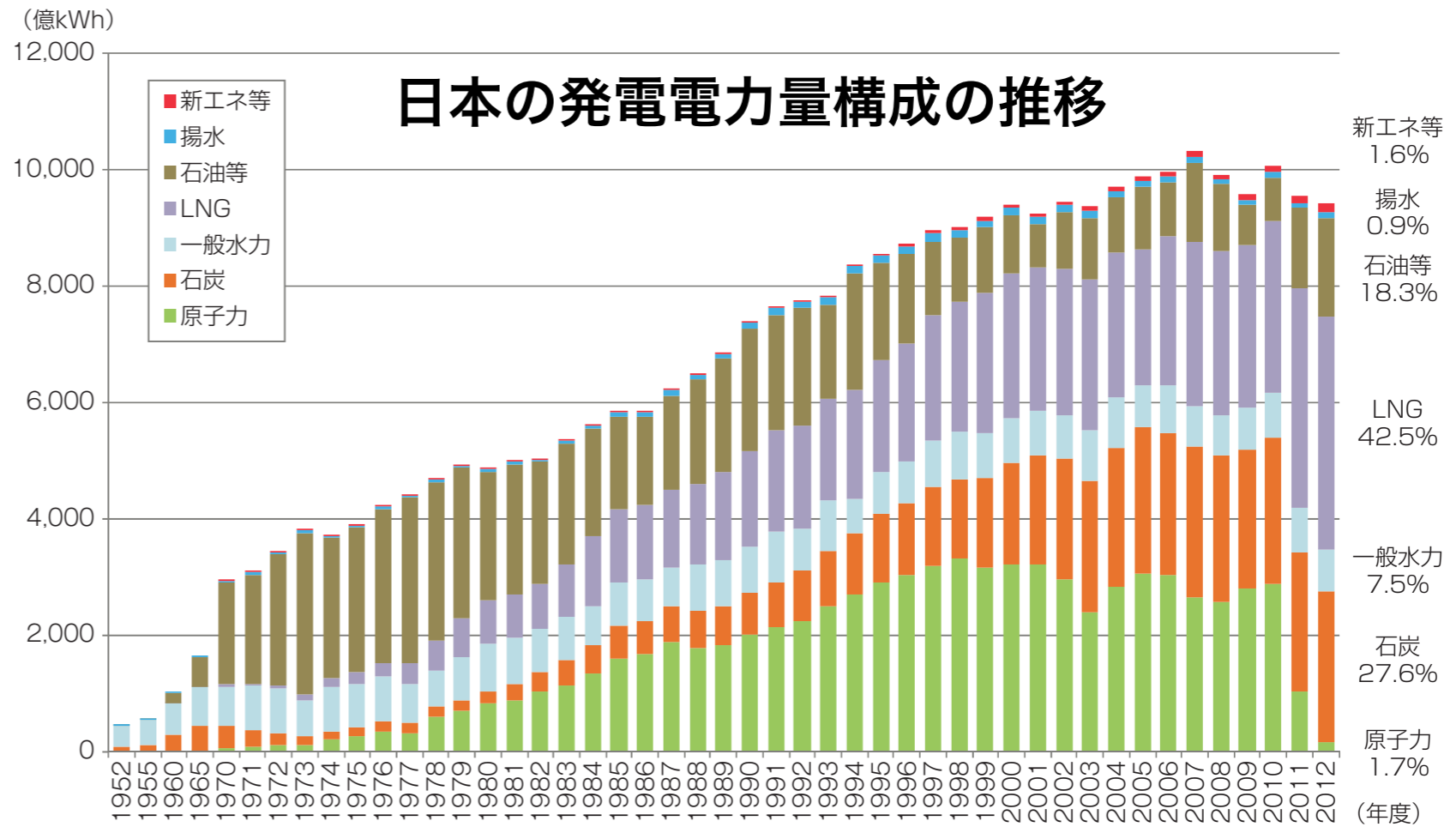
●世界の原子力発電の開発状況



日本の発電量の比率 2008



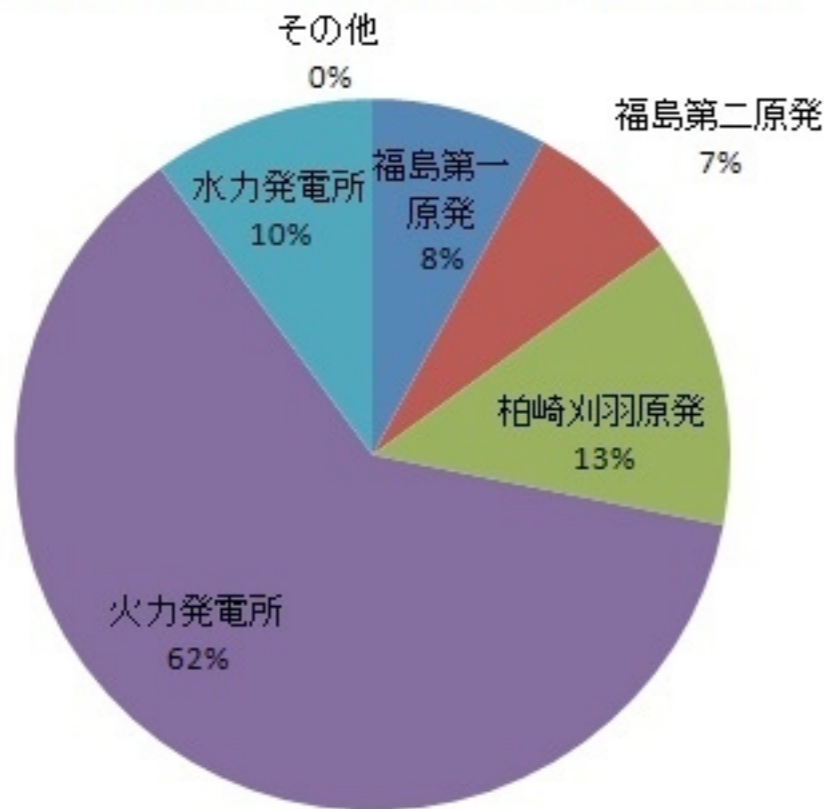
日本の発電電力量構成の推移



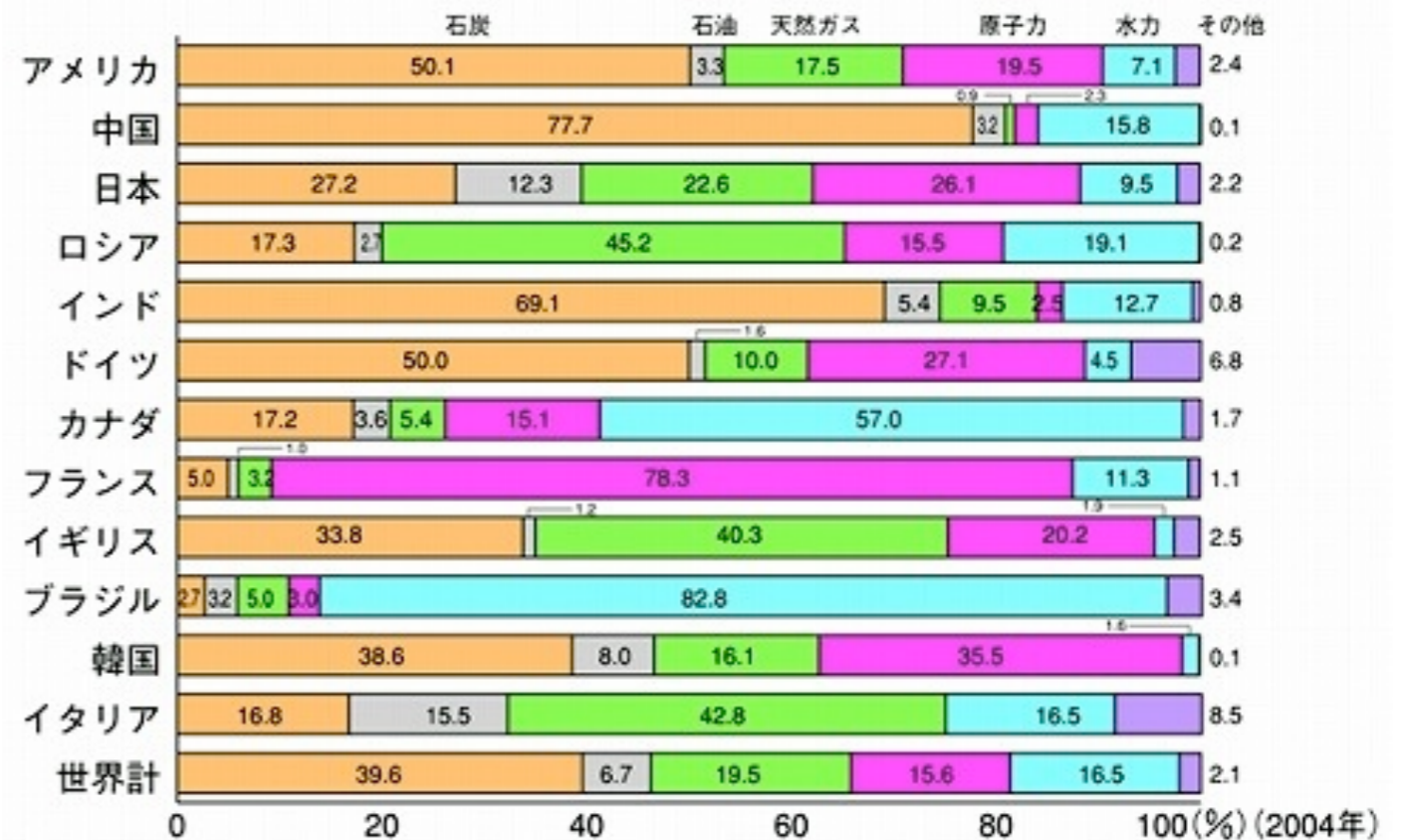
(注) 1971年度までは9電力会社計。

出典：資源エネルギー庁「電源開発の概要」、「電力供給計画の概要」を基に作成

東京電力の電力総出力の割合

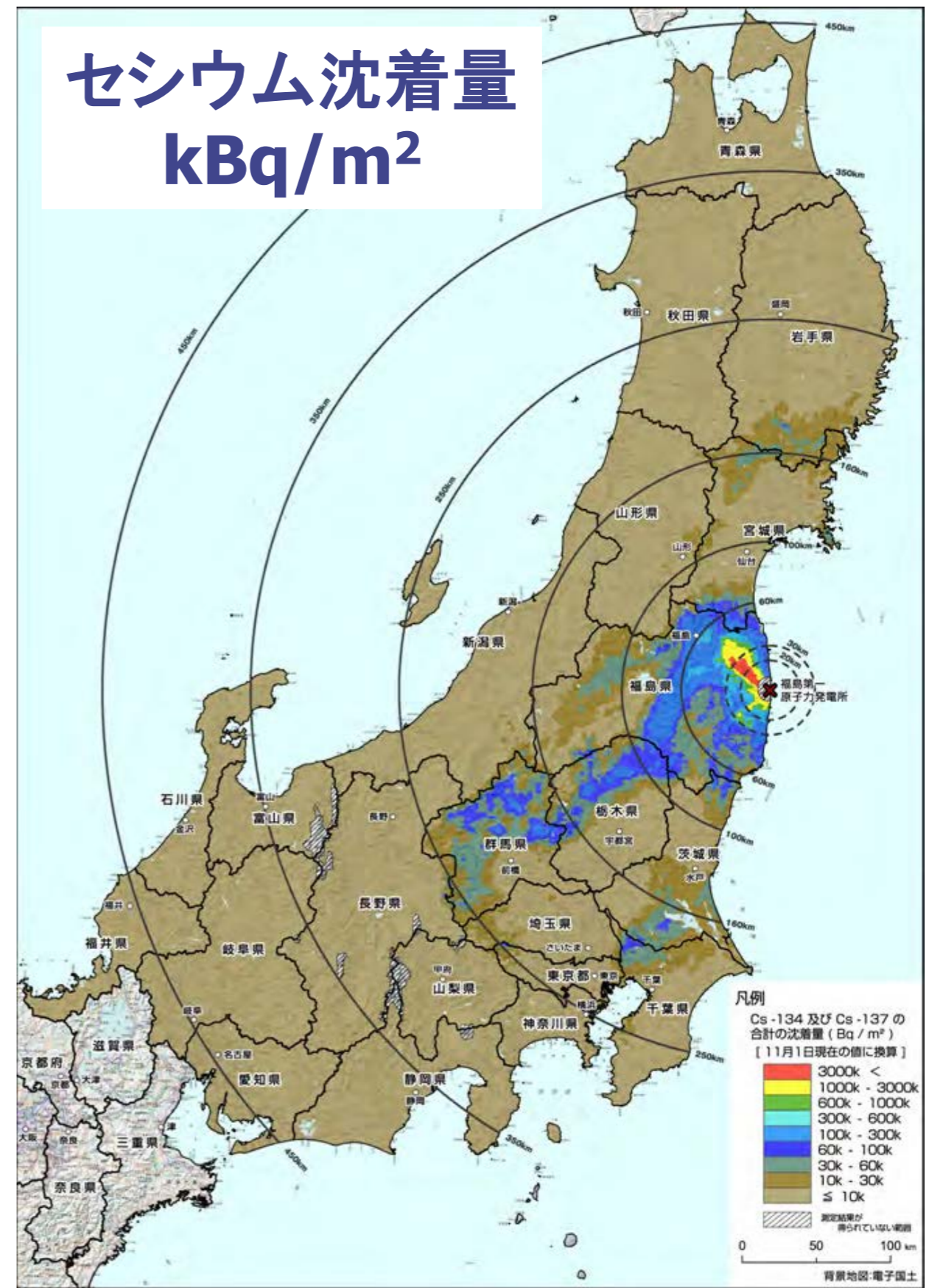
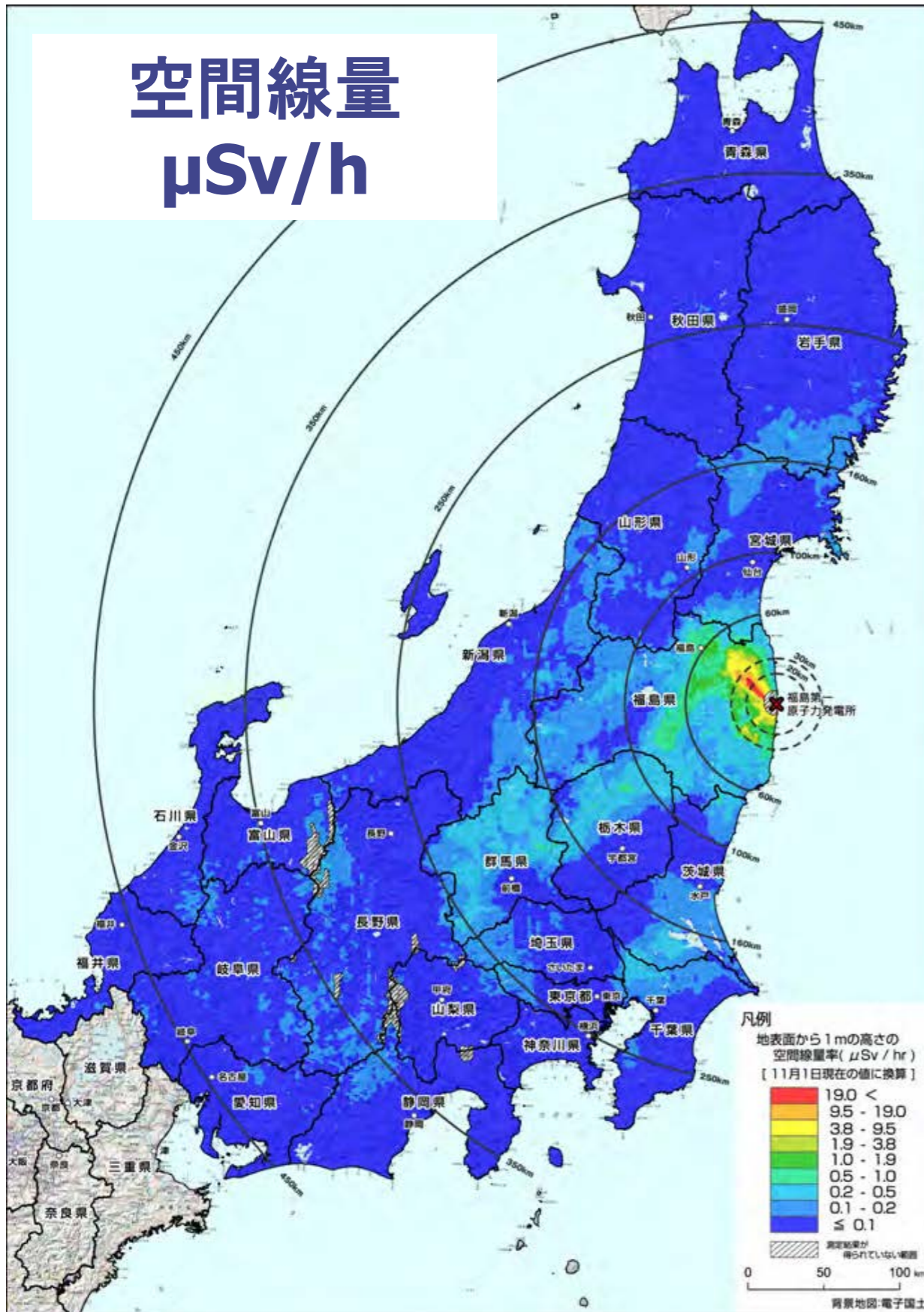


主要国の電源別発電電力量の構成比



福島第一原発事故

文部科学省の航空機モニタリングによる広域汚染マップ



原発北西方向の汚染と「ホットスポット」

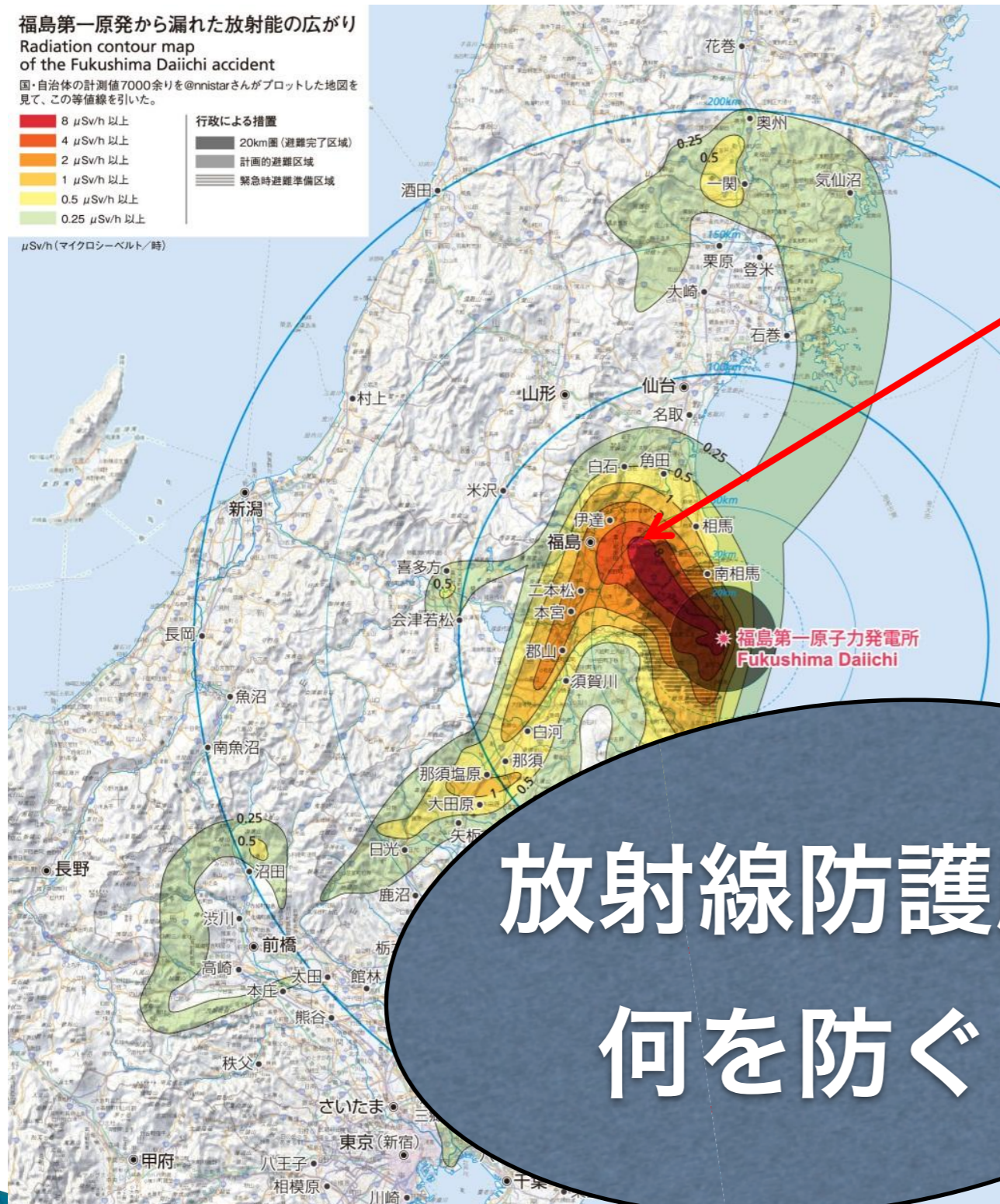
福島第一原発から漏れた放射能の広がり
Radiation contour map
of the Fukushima Daiichi accident

国・自治体の計測値7000余りを@nnistarさんがプロットした地図を見て、この等値線を引いた。

- 8 $\mu\text{Sv/h}$ 以上
- 4 $\mu\text{Sv/h}$ 以上
- 2 $\mu\text{Sv/h}$ 以上
- 1 $\mu\text{Sv/h}$ 以上
- 0.5 $\mu\text{Sv/h}$ 以上
- 0.25 $\mu\text{Sv/h}$ 以上

- 行政による措置
- 20km圏 (避難完了区域)
 - 計画的避難区域
 - 緊急時避難準備区域

$\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト/時)



放射線防護服は
何を防ぐ？



早川由紀夫教授(群馬大学)作成、7月26日版

三訂版7月26日(初版4月21日)
等値線作成: 早川由紀夫(群馬大学) (kipuka.blog70.fc2.com/
@nnistarさんの地図 (www.nnistar.com/gmap/fukushima.html)
Contour lines drawn by Yukio Hayakawa (Gunma Univ.),
Source: @nnistar
地図製図: 萩原佐知子
背景地図には電子国土ポータル(portal.cyberjapan.jp)の地図を使用しました。

原発北西方向の汚染と「ホットスポット」



放射線防護服は
何を防ぐ？

早川由紀夫教授(群馬大学)作成、7月26日版

三訂版7月26日(初版4月21日)
等値線作成: 早川由紀夫(群馬大学) (kipuka.blog70.fc2.com/
@nnistarさんの地図 (www.nnistar.com/gmap/fukushima.html)
Contour lines drawn by Yukio Hayakawa (Gunma Univ.),
Source: @nnistar
地図製図: 萩原佐知子
背景地図には電子国土ポータル (portal.cyberjapan.jp) の地図を使用しました。

除染

写真：福島大学キャンパスのモデルケース

セシウム元素：土壌表層

土壌の引き剥がし、天地返し

拭き取り、高圧洗浄

吸着剤（ゼオライト・プルシアンブルー・粃殻・稲藁）

除染物の保管
焼却処分

飯舘村



浪江町



大熊町



双葉町



富岡町

• **原子力の物理 課題** 以下のいずれかを選択

(A) 原子炉内で核分裂または放射化により生成する放射性核種について述べよ。 α 崩壊または β 崩壊の系列やエネルギーダイアグラムも示してほしい。

(B) 原子力エネルギーの利用について、科学的知見をもとに自分の考えを述べよ。

• **提出方法**

16号館 102号室の入口扉にある封筒内に提出する。

締切：12月12日（金）

講義スライド、講義予定

<http://radphys4.c.u-tokyo.ac.jp/~torii/lecture/>

東大教養 放射線 テーマ講義



検索

連絡先

torii-radio@radphys4.c.u-tokyo.ac.jp

担当教員:鳥居 寛之

Fine.

Grazie per la vostra attenzione.

Gratias ago pro audientia vestra.

Спасибо за внимание.

Merci de votre attention.

Vielen Dank für Ihre Aufmerksamkeit.

Thank you for your attention.

경청해 주셔서 감사합니다.

谢谢您的关注。

ご清聴ありがとうございました。

鳥居 寛之

Hiroyuki A. TORII